

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
平成25年度 業務実績評価書
参考資料 小項目評価

平成26年9月

神奈川県地方独立行政法人評価委員会

目

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実（小項目1～18）

- ア 足柄上病院（小項目1～4）・・・・・・・・・・・・・1
- イ こども医療センター（小項目5～8）・・・・・・・・・・・・・5
- ウ 精神医療センター 芹香病院（小項目9～11）・・・・・・・・・・・・・9
 - 精神医療センター せりがや病院（小項目12）・・・・・・・・・・・・・13
- エ がんセンター（小項目13～17）・・・・・・・・・・・・・15
- オ 循環器呼吸器病センター（小項目18～20）・・・・・・・・・・・・・22
- カ 医療機能を評価する指標（小項目21）・・・・・・・・・・・・・26

(2) 医療機器・施設整備の推進（小項目22～24）

- ア 医療機器整備の推進（小項目22）・・・・・・・・・・・・・32
- イ 施設整備の推進
 - (ア) がんセンター総合整備の推進（小項目23）・・・・・・・・・・・・・33
 - (イ) 精神医療センター総合整備の推進（小項目24）・・・・・・・・・・・・・35

(3) 地域医療連携の強化（小項目25）・・・・・・・・・・・・・36

(4) 臨床研究の推進（小項目26～29）

- ア 臨床研究（小項目26～27）・・・・・・・・・・・・・40
- イ 治験（小項目28～29）・・・・・・・・・・・・・44

2 安全で安心な医療の提供（小項目30～34）

- (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備（小項目30）・・・・・・・・・・・・・46
- (2) 医療安全対策の推進（小項目31）・・・・・・・・・・・・・48
- (3) 感染症対策の強化（小項目32）・・・・・・・・・・・・・51
- (4) 災害対策の推進（小項目33）・・・・・・・・・・・・・53
- (5) 情報セキュリティの強化（小項目34）・・・・・・・・・・・・・55

次

3 患者の視点に立った病院運営（小項目35～42）

- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供（小項目35～38）・・・・・・・・・・・・・56
- (2) 県民への病院・医療情報提供の充実（小項目39）・・・・・・・・・・・・・64
- (3) 患者の利便性の向上（小項目40～41）・・・・・・・・・・・・・66
- (4) ボランティア・NPOとの協働（小項目42）・・・・・・・・・・・・・70

4 医療人材の確保と育成（小項目43～46）

- (1) 医師の確保と育成（小項目43）・・・・・・・・・・・・・72
- (2) 看護師の確保と育成（小項目44）・・・・・・・・・・・・・74
- (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実（小項目45）・・・・・・・・・・・・・77
- (4) 勤務環境の改善（小項目46）・・・・・・・・・・・・・79

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立（小項目47）・・・・・・・・・・・・・80

2 効率的・効果的な業務運営と経営改善

(1) 効率的・効果的な業務運営（小項目48～53）

- ア 人事・予算の弾力的運用（小項目48～49）・・・・・・・・・・・・・82
- イ 事務職員の専門性の向上（小項目50）・・・・・・・・・・・・・84
- ウ 職員の経営参画意識の向上（小項目51）・・・・・・・・・・・・・85
- エ ITの活用による効率的な医療提供の推進（小項目52）・・・・・・・・・・・・・86
- オ 効率的な事務執行の推進（小項目53）・・・・・・・・・・・・・87

(2) 経営改善の取組（小項目54～58）

- ア 収益の確保（小項目54～56）・・・・・・・・・・・・・88
- イ 費用の削減（小項目57～58）・・・・・・・・・・・・・94

第7 その他業務運営に関する重要事項（小項目60）

- 人事に関する事項 (1)適切な職員配置 (2)的確な人事管理・・・・・・・・・・・・・98

第3 財務内容の改善に関する事項（小項目59）・・・・・・・・・・・・・96

小項目 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			自己点数	評価点数	コメント																												
<p>(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。 ・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (7) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。 	<p>(1) 医療機能の充実 ア 神奈川県立足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核的医療機関として期待される、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供する。 ・地域に潜在しているがん患者を早期に発見して治療するため、要精密検査の受入れと内視鏡検査・治療件数の増加を図る。 ・高齢者等の患者にやさしく負担がより少ない低侵襲な鏡視下手術（腹腔鏡、胸腔鏡）の件数増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加に対応するため在宅での療養生活を医療面から支援する訪問診療の実施に向けた取組や、患者の入院時から退院後までの生活を見据えて支援する入退院支援センターの設置に向けて準備を進めた。 ・内視鏡室の整備拡充（平成25年1月）により、平成25年度は内視鏡検査件数が目標値3,900件に対して4,017件（117件増）、治療件数が目標値850件に対して908件（58件増）と増加した。 <p>[内視鏡検査・治療件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th rowspan="2">平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査件数</td> <td>3,234件</td> <td>3,608件</td> <td>3,900件</td> <td>4,017件</td> </tr> <tr> <td>治療件数</td> <td>605件</td> <td>751件</td> <td>850件</td> <td>908件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は鏡視下手術の件数が目標値150件に対して225件（75件増）と増加した。 <p>[鏡視下手術件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th rowspan="2">平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>134件</td> <td>155件</td> <td>150件</td> <td>225件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		目標値	実績	検査件数	3,234件	3,608件	3,900件	4,017件	治療件数	605件	751件	850件	908件	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		目標値	実績	134件	155件	150件	225件	<p>実績に対する評価</p> <p>平成25年度は、内視鏡検査件数が4,017件、治療件数が908件で目標を達成するなど、内視鏡検査及び治療件数のニーズに対応した。</p> <p>また、鏡視下手術の件数についても225件で目標を達成するなど、侵襲の少ない手術件数の増加に努めた。</p>	A	A	
						区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度																								
目標値	実績																																
検査件数	3,234件	3,608件	3,900件	4,017件																													
治療件数	605件	751件	850件	908件																													
平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度																															
		目標値	実績																														
134件	155件	150件	225件																														
<p>課題</p> <p>高齢者の増加に対応するため、在宅医療と介護施設等の連携を図り、地域包括ケアの支援に取り組む。</p>																																	

小項目2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価										
			自己点数	評価点数	コメント										
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において足柄上病院が目指す医療</p> <p>・内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科において、一般病院として質の高い医療を提供するとともに、足柄上地域において高齢化が進んでいる状況に対応するために、高齢者に対する総合的な医療を推進する。</p> <p>・地域の中核的医療機関として、救急医療や産科医療を充実する。</p> <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組(7) 足柄上病院</p> <p>・「生活習慣病の予防」、「がんをはじめとする3大成人病の治療」、「生活機能障害に対するケア」などの「高齢者総合医療」を実施する。</p>	<p>・高齢者病棟（スマイル病棟）で培ってきた高齢者への専門的・個別的医療や看護のノウハウを全病棟で高齢者患者に適用し、「高齢者総合医療」を推進する。</p> <p>・高齢者の入院時及び退院時に実施するバーセルインデックスによる機能評価を活用し、生活機能のさらなる改善を目指す。</p> <p>・摂食機能障害患者一人ひとりに応じた計画を作成し、口腔ケアや食事前の体位調整、嚥下体操等の嚥下訓練及び摂食用具の選択を実施し、摂食・嚥下機能の向上に取り組む。</p>	<p>・スマイル病棟など全病棟で高齢者患者に対して入院時から生活機能の向上を目指して歩行・移動等10項目のバーセルインデックスを活用し、カンファレンス・個別の計画を実施した。その結果、歩行や移動動作などの項目が入院時と比べ退院時には上回った。</p> <p>・入院時から地域医療連携室が関わり、地域医療機関や家族と連絡をとり、共同指導や家族指導等を通じて退院支援を行っている。</p> <p>・摂食・嚥下診療計画書及び実施計画書、さらに看護援助のアセスメント表をより実践内容が反映できるよう見直したことにより、口腔ケアの実施等摂食機能療法の件数が増加し、摂食・嚥下機能の向上に繋がった。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・高齢患者のバーセルインデックスの評価について、退院時には全10項目とも入院時を上回った。</p> <p>・摂食機能障害者の診療実施計画書に基づき、摂食・嚥下訓練の実施を3病棟に拡大するなど、積極的に患者の機能向上を図った。</p>	S	S	<p>高齢者のバーセルインデックスについては、例えば、歩行の項目（0～15点）では入院時が平均1.97点から退院時には平均5.83点に機能が向上するなど、全ての項目において改善しており、また、摂食機能療案件数についても、目標を大幅に上回る実績を上げており、すばらしい結果である。</p>									
							課題								
							<p>高齢者の退院後の療養生活を支援するため、後方支援病床等の設置など在宅患者及び「かかりつけ医」に対する医療支援の充実を図る。</p>								
<p>[摂食機能療案件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th rowspan="2">平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,104件</td> <td>2,785件</td> <td>2,900件</td> <td>6,478件</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度		目標値	実績	1,104件	2,785件	2,900件	6,478件				
平成23年度実績	平成24年度実績			平成25年度											
		目標値	実績												
1,104件	2,785件	2,900件	6,478件												

小項目3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																														
・ICUの設置に向けた取組を行うとともに、消防本部との連携強化等により、救急医療を充実する。 (参考) 年間救急受入数実績 (平成20年度) 9,972件	・ICU施設基準取得に向けて、ICUの稼働状況を高め、重症患者に対する医療の充実に目指す。 ・消防本部との連携を強化するなど救急体制を充実し、救急要請による救急患者の受入れを拡大する。 [年間救急受入の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>11,808件</td> <td>12,000件</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入件数</td> <td>2,556件</td> <td>2,600件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	救急受入件数	11,808件	12,000件	うち救急車受入件数	2,556件	2,600件	・HCUに延754人の患者を受け入れ、重症患者の集中治療を行った。 ・小田原市消防本部の要請に基づき、救急隊救急救命士の再教育研修等を受け入れたほか、秦野市消防本部など近隣消防救急隊との研修会を実施するなど連携強化に努めた。 [年間救急受入の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急依頼件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>12,439件</td> <td>-</td> <td>12,281件</td> <td>-</td> <td>11,329件</td> </tr> <tr> <td>うち救急受入件数</td> <td>11,900件</td> <td>11,872件</td> <td>12,000件</td> <td>11,808件</td> <td>12,000件</td> <td>11,744件</td> <td>12,000件</td> <td>10,841件</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,556件</td> <td>-</td> <td>2,705件</td> <td>2,600件</td> <td>2,967件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,360人</td> <td>-</td> <td>2,619人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> ※救急依頼件数と救急受入件数の差分は受入できなかった件数 平成25年度488件（平成24年度537件）	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	救急依頼件数	-	-	-	12,439件	-	12,281件	-	11,329件	うち救急受入件数	11,900件	11,872件	12,000件	11,808件	12,000件	11,744件	12,000件	10,841件	うち救急車受入件数	-	-	-	2,556件	-	2,705件	2,600件	2,967件	うち入院患者数	-	-	-	2,360人	-	2,619人	-	-	実績に対する評価 ・HCUの患者に対して集中的治療の管理に努めた。 ・年間救急受入件数は目標値に達していないが、救急車の受入れ件数は小田原消防本部との連携に努めた結果、目標に対して367件上回った。	B	A	年間救急受入は、そもそも依頼がなければ生じないもので、病院機構が管理不能なものである。よって、目標値は、依頼件数ではなく、依頼件数に対する受入率にするなど、見直すべきである。その場合、受入率は、平成24・25年度ともに95%強であり、役割を十分に果たしている。また、救急隊救急救命士の再教育研修等の受入の実施などは、良い取組である。なお、救急受入ができなかった理由を把握し、その理由について改善できる余地があるのか、ということを検討することが必要である。
		区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																
救急受入件数	11,808件	12,000件																																																																		
うち救急車受入件数	2,556件	2,600件																																																																		
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																													
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																												
救急依頼件数	-	-	-	12,439件	-	12,281件	-	11,329件																																																												
うち救急受入件数	11,900件	11,872件	12,000件	11,808件	12,000件	11,744件	12,000件	10,841件																																																												
うち救急車受入件数	-	-	-	2,556件	-	2,705件	2,600件	2,967件																																																												
うち入院患者数	-	-	-	2,360人	-	2,619人	-	-																																																												
課題 地域の中核的な急性期病院として救急患者を積極的に受け入れるなど、救急医療機能の充実に努めていく。																																																																				

小項目 4 業務実績報告（自己評価）

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ア 足柄上病院
 地域の中核的医療機関として、内科、小児科、外科、産婦人科等の診療科における医療を提供するとともに、救急医療・産科医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																					
			自己点数	評価点数	コメント																																																					
<p>・地域で安心して出産ができるよう、産科医療体制を充実するとともに、助産師による院内助産の取組を進める。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>241件</td> <td>370件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>31件</td> <td>80件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	分べん件数	241件	370件	うち助産師分べん件数	31件	80件	<p>・地域で安心して出産ができるよう、産婦人科医師の確保を図るとともに、院内助産システムによる助産師の分べん等を実施する。</p> <p>[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>171件</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>154件</td> <td>200件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">[分べん件数（助産師分べん件数）の実績と目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>250件</td> <td>253件</td> <td>250件</td> <td>171件</td> <td>180件</td> <td>178件</td> <td>240件</td> <td>185件</td> </tr> <tr> <td>うち助産師分べん件数</td> <td>40件</td> <td>73件</td> <td>150件</td> <td>154件</td> <td>180件</td> <td>155件</td> <td>200件</td> <td>147件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	分べん件数	171件	240件	うち助産師分べん件数	154件	200件	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	分べん件数	250件	253件	250件	171件	180件	178件	240件	185件	うち助産師分べん件数	40件	73件	150件	154件	180件	155件	200件	147件	<p>産婦人科医師の負担軽減を図るため、院内助産システムにより助産師主導の分べんを実施するとともに、引き続き産婦人科医師の必要数の確保に向けて取り組んだ。</p> <p>また、助産師は週3回助産師外来で妊婦健診や保健指導を行うとともに、週1回の母乳育児外来で育児相談等の業務を行うなど、妊婦・分娩・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけた。</p> <p>さらに、退院後も母乳育児を行っている親子をサポートするための集いを定期的に年2回開催した。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>平成25年度の分べん件数は185件で、前年度より7件上回ったものの、目標には達していない。</p> <p style="text-align: center;">C</p>	<p style="text-align: center;">C</p>	<p>産婦人科医師について、2名体制は厳しく、最低でも3名は必要である。C評価は止むを得ないが、産婦人科の取組の難しさは良く分かるので、引き続き、産婦人科医師の確保に努めるとともに、助産師による正常分娩に取り組むようにしてもらいたい。</p>
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																								
分べん件数	241件	370件																																																								
うち助産師分べん件数	31件	80件																																																								
区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																								
分べん件数	171件	240件																																																								
うち助産師分べん件数	154件	200件																																																								
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																			
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																		
分べん件数	250件	253件	250件	171件	180件	178件	240件	185件																																																		
うち助産師分べん件数	40件	73件	150件	154件	180件	155件	200件	147件																																																		
			課題																																																							
					<p>足柄上地域で唯一の分娩対応医療機関として、産婦人科医師の確保に努め、産科医療体制を整備していく必要がある。</p>																																																					

小項目5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター
 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてこども医療センターが目指す医療 ・小児の難治性疾患等に対する医療など高度・専門医療を充実する。 ・医療ニーズの変化に合わせた周産期救急及び小児の三次救急医療を充実する。	(1) 医療機能の充実 イ 神奈川県立こども医療センター ・県内唯一の小児がん拠点病院として、新たに緩和ケア外来や外来化学療法室を開設するなど小児がん患者に質の高い医療を提供するほか、小児がん相談支援室や退院・在宅医療支援室を設置するなど地域の医療機関や患者・家族への相談支援の充実に取り組む。	・全国で小児がんの新規発症患者数が年間2,000人から2,500人と言われる中、59人の小児がん患者を新規に入院で受け入れた。また、平成25年11月に緩和ケア外来室、平成26年3月に外来化学療法室を開設したほか、平成26年2月に小児がん経験者内分泌外来を実施するなど、在宅の小児がん患者の増加に対応し、外来診療をより充実させることで患者の「生活の質」の向上を図った。 緩和ケア外来件数 56件 外来化学療法件数 4件 その他、栄養支援の強化を図るため、化学療法や放射線治療などで食欲低下や粘膜障害を起こしやすい小児がん患者とその家族を対象に新たに小児がん栄養サロンを3回開催し、20人が参加した。 ・平成25年4月に小児がん相談支援室及び退院・在宅医療支援室を設置し、医療・教育機関や患者・家族への相談支援、セミナー実施などに取り組んだ。 相談対応件数 827件 小児がん相談支援室セミナー 1回開催 59人参加 小児がん支援者研修 1回開催 14人参加 ・小児の抗がん剤の治験については、新規1件を含む2件を受託しており、小児がん患者の治療に貢献している。	実績に対する評価	S	S	こども医療センターの取組は、先進的であり、県内唯一の小児がん拠点病院としての役割を十分に果たしている。 特に、新規の小児がん患者（入院者）の県内の半分以上を受け入れている点は評価できる。
			課題			
			県内唯一の小児がん拠点病院であることを踏まえ、今後も小児がん治療の牽引役として、引き続き小児がん診療の質の向上に取り組んでいく必要がある。			

小項目6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>
 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標 イ こども医療センター
 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																														
			自己点数	評価点数	コメント																																																														
イ 中期目標期間内の具体的な取組 (イ) こども医療センター ・心臓血管外科手術をはじめとする、手術の実施体制を充実する。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1"> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>3,895件</td> <td>4,030件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	3,895件	4,030件	・小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設として、心臓血管外科手術や難易度の高い手術等に対応するとともに、身体的負担の少ない内視鏡手術等を推進する。 [手術件数の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,584件</td> <td>3,800件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術件数</td> <td>404件</td> <td>350件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td>143件</td> <td>150件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>112件</td> <td>110件</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡手術件数</td> <td>105件</td> <td>120件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	手術件数	3,584件	3,800件	うち心臓血管外科手術件数	404件	350件	うち新生児手術件数	143件	150件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	112件	110件	うち内視鏡手術件数	105件	120件	・前年度の課題であった循環器内科の医師の欠員は解消し、手術件数は前年度比102件増の3,670件となり、目標値3,800件に対し96.6%の達成率となった。 また、新生児手術件数も154件となり、目標値の150件を上回った。 一方で、心臓血管外科手術件数は2歳までに平均3回の手術を要する単心室症例の患者が減少傾向にあることなどで、目標値350件に対し、329件に留まった。 また、乳児外科施設基準対象手術件数も、対象に心臓血管外科手術関係が多いことから、同様の理由で、目標値110件に対し、64件に留まった。 ・内視鏡手術に積極的に取り組み、目標値120件に対し、139件を実施した。	実績に対する評価 前年度の課題であった循環器内科の医師の欠員は解消し、手術件数は102件増加し、ほぼ目標値を達成した。 また、難易度の高い新生児手術件数、内視鏡手術についても、目標値を上回ることができた。 以上のことから小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設としての役割を果たしたといえる。	A	A	小児の高度・専門性を活かした取組ができています。 手術件数を目標値とすることについては、単純に件数だけで捉えられない部分もあるので、どのように考えるべきか、引き続き検討（議論）を行って欲しい。																																							
	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																																	
	3,895件	4,030件																																																																	
区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																	
手術件数	3,584件	3,800件																																																																	
うち心臓血管外科手術件数	404件	350件																																																																	
うち新生児手術件数	143件	150件																																																																	
うち乳児外科施設基準対象手術件数	112件	110件																																																																	
うち内視鏡手術件数	105件	120件																																																																	
			課題 県内の医療ニーズに適切に対応するため、引き続き必要な医師及び医療機器を確保することで、手術の実施体制を充実していく必要がある。																																																																
[手術件数の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,770件</td> <td>3,684件</td> <td>3,800件</td> <td>3,584件</td> <td>3,800件</td> <td>3,568件</td> <td>3,800件</td> <td>3,670件</td> </tr> <tr> <td>うち心臓血管外科手術</td> <td>—</td> <td>376件</td> <td>—</td> <td>404件</td> <td>400件</td> <td>332件</td> <td>350件</td> <td>329件</td> </tr> <tr> <td>うち新生児手術件数</td> <td>135件</td> <td>229件</td> <td>130件</td> <td>143件</td> <td>160件</td> <td>128件</td> <td>150件</td> <td>154件</td> </tr> <tr> <td>うち乳児外科施設基準対象手術件数</td> <td>—</td> <td>86件</td> <td>40件</td> <td>112件</td> <td>105件</td> <td>77件</td> <td>110件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>うち内視鏡手術件数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>105件</td> <td>—</td> <td>120件</td> <td>120件</td> <td>139件</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	手術件数	3,770件	3,684件	3,800件	3,584件	3,800件	3,568件	3,800件	3,670件	うち心臓血管外科手術	—	376件	—	404件	400件	332件	350件	329件	うち新生児手術件数	135件	229件	130件	143件	160件	128件	150件	154件	うち乳児外科施設基準対象手術件数	—	86件	40件	112件	105件	77件	110件	64件	うち内視鏡手術件数	—	—	—	105件	—	120件	120件	139件			
区分	平成22年度			平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																											
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																											
手術件数	3,770件	3,684件	3,800件	3,584件	3,800件	3,568件	3,800件	3,670件																																																											
うち心臓血管外科手術	—	376件	—	404件	400件	332件	350件	329件																																																											
うち新生児手術件数	135件	229件	130件	143件	160件	128件	150件	154件																																																											
うち乳児外科施設基準対象手術件数	—	86件	40件	112件	105件	77件	110件	64件																																																											
うち内視鏡手術件数	—	—	—	105件	—	120件	120件	139件																																																											

小項目7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター

県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>・小児医療における総合的な緩和ケアを推進するための体制を整備する。</p>	<p>・小児専門の緩和ケアチームを国内で最初に設立した医療機関として、スタッフの専任化を図り、「緩和ケア普及室」を設置することで、緩和ケアチームの体制を強化し、より良質な緩和ケアの提供を目指す。</p> <p>・入院患者のみならず、地域に暮らす小児患者とその家族の生活の質の向上を図るため「緩和ケア外来」を開設する。</p> <p>・小児緩和医療の普及啓発を図るため、地域の医療機関を対象にセミナーを3回程度開催する。</p> <p>・疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに手術後も含めた疼痛の緩和を行うアキュートペインサービスを推進する。また、アキュートペインサービスの普及・啓発を図るため、主に院内職員を対象にセミナーを2回程度開催する。</p>	<p>・平成25年4月に専従の医師、専従の看護師、薬剤師、臨床心理士、保健師及び医療ソーシャルワーカーからなる「緩和ケア普及室」を設置し、8月から緩和ケア診療加算、外来緩和ケア管理料の算定が可能となった。さらに、緩和ケアチームにファシリテッドッグ及びそのハンドラーを加えることで、その体制の強化を図った。</p> <p>・緩和ケア外来を30件の目標に対し、56件を実施し、また、平成25年11月に緩和ケア外来室を開設し、体制の充実を図り、地域に暮らす小児患者とその家族の生活の質の向上を図った。</p> <p>・地域の医療機関等を対象に小児緩和ケアセミナー、学術集談会などセミナーを5回開催し、小児緩和医療の普及啓発を図った。</p> <p>・静脈麻酔、全身麻酔を手術室内外で提供するといったアキュートペインサービスを実施し、疼痛を伴う処置及び検査に対する不安並びに手術後も含めた疼痛の緩和を図った。 また、主に病院職員を対象とするアキュートペインサービスに関するセミナーを3回開催し、その普及・啓発を図った。</p> <p>・周産期総合医療施設の特性を活かし、従来から提供されてきた周産期緩和ケア、グリーンケアのさらなる普及と推進を図ることを目的に、周産期緩和ケアワーキンググループを立ち上げた。</p>	実績に対する評価	S	S	<p>ファシリテッドッグやアキュートペインサービスは、非常に良い取組である。</p> <p>以上のことから、県内唯一の小児の専門病院として、小児医療における総合的な緩和ケアを推進したと言える。</p>	
			課題				
			引き続き、小児医療において、質の高い緩和ケアを提供する必要がある。				

〔緩和ケアに関する取組の目標値〕

区分	平成25年度目標値
緩和ケア外来患者数	30人
アキュートペインサービス	
侵襲の強い処置に対する全身麻酔提供	25件
PCAポンプを用いた症状緩和	20件
手術後の疼痛緩和	150件

〔緩和ケアに関する取組の実績と目標値〕

区分	平成24年度実績	平成25年度	
		目標値	実績
緩和ケア外来患者数	—	30人	56人
アキュートペインサービス			
侵襲の強い処置に対する全身麻酔提供	12件	25件	24件
PCAポンプを用いた症状緩和	17件	20件	19件
手術後の疼痛緩和	139件	150件	130件

小項目8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標

イ こども医療センター
 県内唯一のこどもの専門病院として、心疾患、がん治療、障害児医療、思春期医療、稀少疾患医療等の高度・専門医療及び小児の緩和ケアの充実に努めること。
 また、周産期救急医療及び小児の三次救急医療の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																												
<p>・周産期救急及び小児の三次救急を充実するための体制を整備する。</p> <p>(参考) 周産期救急・小児三次救急実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>512人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>6,142件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	N I C U 受入実患者数	512人	救急受入件数	6,142件	<p>・本県の周産期救急医療システムを効果的に運用するために、周産期救急の基幹病院として、他の医療機関では治療が困難な患者を中心に受入れを行うとともに、小児三次救急とあわせ、地域医療機関との連携・調整の役割を引き続き担う。</p> <p>[周産期救急の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>581人</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児入院件数</td> <td>42件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数</td> <td>17件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数</td> <td>78人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[周産期救急の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N I C U 受入実患者数</td> <td>600人</td> <td>543人</td> <td>600人</td> <td>581人</td> <td>600人</td> <td>653人</td> <td>600人</td> <td>601人</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児入院件数</td> <td>—</td> <td>56件</td> <td>55件</td> <td>42件</td> <td>55件</td> <td>33件</td> <td>55件</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数</td> <td>—</td> <td>23件</td> <td>25件</td> <td>17件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数</td> <td>—</td> <td>88人</td> <td>100人</td> <td>78人</td> <td>100人</td> <td>93人</td> <td>100人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>—</td> <td>5,112件</td> <td>—</td> <td>5,214件</td> <td>—</td> <td>4,898件</td> <td>—</td> <td>5,071件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>—</td> <td>1,385人</td> <td>—</td> <td>1,394人</td> <td>—</td> <td>1,457人</td> <td>—</td> <td>1,416人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	N I C U 受入実患者数	581人	600人	超低出生体重児入院件数	42件	55件	依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数	17件	25件	N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	78人	100人	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	N I C U 受入実患者数	600人	543人	600人	581人	600人	653人	600人	601人	超低出生体重児入院件数	—	56件	55件	42件	55件	33件	55件	45件	依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数	—	23件	25件	17件	25件	25件	25件	25件	N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	—	88人	100人	78人	100人	93人	100人	52人	救急受入件数	—	5,112件	—	5,214件	—	4,898件	—	5,071件	うち入院患者数	—	1,385人	—	1,394人	—	1,457人	—	1,416人	<p>・全国的なN I C U不足の中、N I C U病床21床に対し、1日平均20.7人を受け入れており、常時満床に近い状態にある。 また、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者も毎年200人前後受け入れている。 こうした中、N I C Uの受入実患者数は、新生児病棟における適切な病床管理の取組などの効果で、目標値の600人に対し、601人となったほか、N I C Uの計画的運用を図ったことにより、算定期間に上限のある新生児集中治療室管理料算定患者数が1日あたり17.7人と、平成23年度の14.9人、前年度の15.4人から改善した。</p> <p>・新たに設けた退院・在宅医療支援室に退院調整専従の看護師を配置し、地域医療機関との連携・調整の役割を担った。</p> <p>・N I C Uから他医療機関への転院時に医師が同乗する搬送(戻り搬送)件数は、N I C Uの計画的運用を図っていることなどで52人に留まった。</p> <p>・救急受入件数は、全体で平成24年度対比173件増の5,071件に達し、三次救急医療機関としての役割を果たしている。</p>	S	S	<p>N I C Uは常に満床に近い状態で、取組体制も工夫しており、よく努力している。 退院・在宅医療支援室に退院調整専従の看護師を配置したことは評価できる。</p>
	区分	平成20年度																																																																																															
	N I C U 受入実患者数	512人																																																																																															
救急受入件数	6,142件																																																																																																
区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																															
N I C U 受入実患者数	581人	600人																																																																																															
超低出生体重児入院件数	42件	55件																																																																																															
依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数	17件	25件																																																																																															
N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	78人	100人																																																																																															
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																																																										
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																																									
N I C U 受入実患者数	600人	543人	600人	581人	600人	653人	600人	601人																																																																																									
超低出生体重児入院件数	—	56件	55件	42件	55件	33件	55件	45件																																																																																									
依頼医療機関から幹線医療機関への新生児搬送件数	—	23件	25件	17件	25件	25件	25件	25件																																																																																									
N I C U から他医療機関への転院(戻り搬送)患者数	—	88人	100人	78人	100人	93人	100人	52人																																																																																									
救急受入件数	—	5,112件	—	5,214件	—	4,898件	—	5,071件																																																																																									
うち入院患者数	—	1,385人	—	1,394人	—	1,457人	—	1,416人																																																																																									
実績に対する評価																																																																																																	
課 題																																																																																																	
		<p>引き続き、後方病床や地域医療機関との連携の一層の緊密化を図り、N I C Uの運用効率の向上を図る必要がある。</p>																																																																																															

小項目9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																																				
<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ア 中期目標期間内において精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）が目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急の基幹病院としての医療、自殺対策の一環としてのストレスケア医療、医療観察法に基づく医療、思春期医療及びアルコール・薬物依存症に関する専門的治療を実施し、県の精神科医療の中核病院としての役割を果たす。 新たな精神科医療への対応や療養環境の改善のために精神医療センター総合整備を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組</p> <p>(ウ) 精神医療センター芹香病院（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センター等関係機関との連携を図ることにより、精神科24時間救急を基幹病院として実施し、措置入院患者の受入れのみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者の受入れを拡大する。 <p>（参考）精神科救急件数実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>40件</td> </tr> </table>	区分	平成20年度	措置入院患者	93件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件	<p>(1) 医療機能の充実</p> <p>ウ 神奈川県立精神医療センター芹香病院（芹香病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科救急システムの実施主体である4県市主管課や精神科救急医療情報窓口である神奈川県精神保健福祉センターとの密接な連携の下、措置入院患者のみでなく、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者についても県の精神科の基幹病院として積極的な受入れを行う。 <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>108件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>46件</td> <td>50件</td> </tr> </table> <p>[精神科救急件数の実績と目標値]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>措置入院患者</td> <td>100件</td> <td>109件</td> <td>100件</td> <td>108件</td> <td>100件</td> <td>138件</td> <td>100件</td> <td>137件</td> </tr> <tr> <td>急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者</td> <td>50件</td> <td>43件</td> <td>50件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td>37件</td> </tr> </table>	区分	平成23年度	平成25年度	実績	目標値	措置入院患者	108件	100件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	50件	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	措置入院患者	100件	109件	100件	108件	100件	138件	100件	137件	急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	50件	43件	50件	46件	50件	46件	50件	37件	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県精神保健福祉センター及び4県市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）により構築された精神科救急医療システムにおいて、休日・夜間・深夜の受入を行う「精神科24時間救急の病床」を確保する基幹病院は7病院あり、芹香病院は最多の16床を確保するとともに、精神科救急医療調整会議などを通して密接な連携を図っている。 院内でベッドコントロールを実施することにより受入体制を整え、措置入院患者137件、急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者37件、全体で174件の患者を受入れた。 	<p>実績に対する評価</p> <p>精神科救急件数の実績については、全体として目標値を大幅に上回り、精神科救急医療システムにおける基幹病院としての役割を果たした。</p> <p style="text-align: center;">S</p>	<p style="text-align: center;">S</p>	<p>精神科救急件数について、目標150件に対して実績174件は、精神科救急医療システムにおける基幹病院としての役割を果たしていると評価できる。</p>
	区分	平成20年度																																																							
措置入院患者	93件																																																								
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	40件																																																								
区分	平成23年度	平成25年度																																																							
	実績	目標値																																																							
措置入院患者	108件	100件																																																							
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	46件	50件																																																							
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																		
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																	
措置入院患者	100件	109件	100件	108件	100件	138件	100件	137件																																																	
急激な精神症状の悪化が見られ入院が必要な患者	50件	43件	50件	46件	50件	46件	50件	37件																																																	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も措置入院患者の受け入れを継続的に実施していくため、引き続き4県市主管課等と密接な連携を図っていく。 新棟整備による救急病棟の病床数増に対応し、円滑な受入体制を整備する必要がある。 																																																									

小項目10 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

- ウ 精神医療センター芹香病院・せりがや病院
- 芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・救急・急性期医療において、早期退院が困難な患者に対し、集中的なリハビリテーションを行い、円滑な退院促進・社会復帰を図る。</p> <p>・ストレスケア医療や、精神障害が多発する思春期を対象とした精神科医療等を実施する。</p>	<p>・難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激法）の開発、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組むとともに、県民に対してうつ病の予防に関する普及啓発に取り組む。</p> <p>・難治患者に対して、麻酔科医が必要な修正型電気けいれん療法（m-ECT）や副作用への対応の問題から特定の医療機関でしか実施できないクロザピンによる治療など高度医療の実施について、今後、充実を図っていく。</p> <p>・うつ病・うつ状態で休職中又は離職中で就労意欲のある者を対象として、医師、臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士がチームとなって関わる質の高いリワークプログラムを実施し、その復職を支援する。</p>	<p>・反復性経頭蓋磁気刺激法※の開発については、平成25年度は10人（平成24年度以前との合計92人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証するため、実証実験を行うなど先進医療の認定に向けて研究を進めた。</p> <p>※反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）</p> <p>8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。</p> <p>・高度医療については、修正型電気けいれん療法について135件実施したほか、クロザピン運営委員会を設置し、治療を開始した。</p> <p>・うつ病、うつ状態による休職者や離職者の職場復帰を目的とした通所によるリハビリテーションプログラム（復職支援プログラム）については、毎年、1グループ定員12人程度、4ヶ月間を1クールとして、年4回の受入れを行っている。</p> <p>平成25年度については、他の医療機関においてもプログラムが始まった影響などにより、年4回の受入れのうち1回が実施できなかったため、延患者数が874件となった。このため、これまでの休職者を中心とした受入基準を見直し、離職者やせりがや病院からの患者受入拡大に取り組んだ。</p> <p>プログラム実施を転機として離職者も含めたプログラム修了者12人中7人が復職又は就職することができた。</p>	実績に対する評価	B	A	<p>リワークプログラムの実施延べ患者数の減少は、近隣の病院が取り組んだ影響等ということであれば、それは、必ずしもマイナスに捉える必要はないのではないかと。県立病院の役割を踏まえた目標の設定方法を検討する視点も必要である。</p>

平成23年度実績	平成25年度目標値
1,321人	1,330人

・新棟整備にあわせ、思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、こども医療センターとの連携や役割分担を踏まえて、提供する医療内容や運営体制について検討を進める。

【リワークプログラム実施延べ患者数の実績】

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
			目標値	実績
1,559人	1,321人	1,245人	1,330人	874人

・クリニック等を訪問し、ストレスケア病棟の紹介を行うとともに、うつ病についての講演会やストレスケア病棟の見学会を2回実施した。

・うつ病予防のための県民向けの公開講座を次のとおり実施した。

期 日 平成26年1月25日（土）
 テーマ 「職場結合性うつ病-病態と予防」
 「非定型うつ病の理解と対処」
 受講者 195人

・思春期を対象とした精神科医療の実施に向け、提供する医療内容や運営体制について検討を進めた。

課題

・反復性経頭蓋磁気刺激法の開発に向けて引き続き臨床研究に取り組み、できるだけ早期に先進医療の認定または薬事承認を得られるようにする。

・リワークプログラムの実施方法を検討していく。

・県民に対するうつ病予防に関する普及啓発に引き続き取り組む。

・思春期病棟開棟に向け、治療方針やプログラム（入院・外来）など病棟運営に関する具体的な体制を整備していく。

小項目 1 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 質の高い医療の提供	
(1) 医療機能の充実	

中期目標	ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院
	芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価					
			自己点数	評価点数	コメント					
<p>・医療観察法に基づき既に指定を受けている指定通院医療機関及び鑑定入院医療機関としての医療機能に加えて、入院治療を実施する30床規模の専門病棟の整備を推進する。</p>	<p>・「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）」に基づく指定通院医療機関として、通院対象者の症状に応じた適切な医療を提供できるよう、他の指定通院医療機関との役割分担等について保護観察所と協議しつつ、個別診療計画に沿って、多職種チームによる手厚い医療を実施する。</p> <p>【医療観察法指定通院医療の延べ患者数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>1,315人</td> <td>1,090人</td> </tr> </table> <p>・医療観察法に基づく指定入院医療機関として、国からの入院要請に原則として全て対応して、複雑な背景を持った患者に対し、専門治療プログラムに沿った医療を多職種チームにより実施する。</p> <p>・医療観察法に基づく医療の質の向上及び均てん化を図るため、芹香病院の多職種チームが指定入院医療機関を訪問するとともに、他の指定入院医療機関からも職員を受け入れ、医療体制等に係る評価や課題への助言等の技術交流を行う。</p>	平成23年度実績	平成25年度目標値	1,315人	1,090人	<p>・指定通院医療機関として、多職種チーム（医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士等）を3チーム編成して、関東信越厚生局の要請に応じ、837人の通院患者を受け入れ、患者の症状に対応した個別治療計画を策定し、手厚い医療を積極的に実施した。</p> <p>・医療観察法に基づく医療提供を円滑に実施するため、かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を主宰し、県内の指定医療機関や保護観察所及び社会福祉施設等との連携を図った。</p> <p>・平成24年11月に開棟した専門病棟（33床）については、関東信越厚生局の要請に応じて計画的に入院患者を受け入れ、ほぼ満床となった。また、専門治療プログラムの提供や退院準備室等を利用した外出、外泊を実施し、地域関係機関との連携により、退院に結びつけた。</p> <p>・医療観察法に基づく医療の質の向上及び均てん化を図るため、芹香病院の多職種チームの職員3名が指定医療機関を訪問するとともに、他の指定医療機関からも3名の職員を受け入れ、医療体制等に係る評価や課題への助言等の技術交流を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>関東信越厚生局の要請に応じて患者を積極的に受け入れ、多職種チームによる手厚い医療を実施したほか、平成24年11月に開棟した専門病棟において、満床に近い入院患者を受け入れ、計画的に退院に結びつけるなど医療観察法制度の実施に大きく貢献した。</p>	A	A	<p>医療観察法指定通院医療の延べ患者数は、平成24年度に比して平成25年度は減っているものの、満床に近い入院患者を受入れており、県内における役割は果たしているといえる。</p>
		平成23年度実績	平成25年度目標値							
1,315人	1,090人									
<p>課題</p> <p>・通院対象者の症状に対応した適切な医療が提供できるよう、他の指定通院医療機関と役割分担等について協議する。</p> <p>・計画的かつ速やかな入院を進めて効率的な運営を行うとともに、専門治療プログラムや外出、外泊の内容を評価して向上を目指し、通院医療機関などの関係機関との連携体制強化を図りながら、対象者に応じた退院を進めていく。</p>										

小項目 1 2 業務実績報告（自己評価）

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

ウ 精神医療センター・芹香病院・せりがや病院

芹香病院においては、精神科24時間救急の基幹病院として、精神科救急医療を実施するとともに、せりがや病院においては、アルコール・薬物依存症専門病院としての医療を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																			
<p>イ 中期目標期間内の具体的な取組（せりがや病院）</p> <p>アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害を対象とした専門治療プログラムによる依存症医療を実施する。</p>	<p>（せりがや病院）</p> <p>・依存症医療の専門病院として、アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症と中毒性精神障害の患者を対象とした外来診療のほか、集団精神療法や作業療法、家族教室などに取り組む。また、地域医療機関では治療が困難な患者の受入れや県市の保健所等の行政機関への情報提供を強化し、新たな外来患者の受入れに努める。</p> <p style="text-align: center;">[新患者数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">507人</td> <td style="text-align: center;">510人</td> </tr> </table> <p>・せりがや病院が覚醒剤等の薬物依存の患者に対して開発した再乱用防止認知行動療法（SMARPP：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）のプログラムを処方薬・市販薬への依存症にも活用して、通院の継続を図る。また、脱法ハーブなど新たな課題にも積極的に対応し、県内唯一の薬物依存症専門病院としての役割を担う。</p> <p style="text-align: center;">[SMARPP実施患者数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td>実患者数97人（延790人）</td> <td>実患者数100人（延800人）</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成25年度目標値	507人	510人	平成23年度実績	平成25年度目標値	実患者数97人（延790人）	実患者数100人（延800人）	<p>・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、ミーティング等を取り入れた治療プログラムや家族教室を実施したほか、受診の前日に電話連絡するなどきめ細やかな患者対応に努め、外来患者の受入れに取り組んだ。</p> <p>また、緊急時の対応について医師と協議し、受診が必要と考えられる患者に対し初診枠を超えても受診できるようにするとともに、依存症医療における地域との連携・協力を進めて新患者の増加に努め、518件の新患者を受け入れた。</p> <p>アルコール家族教室 年間21回 第1・第3木曜日</p> <p>薬物家族教室 年間24回</p> <p style="text-align: center;">[新患者数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">507人</td> <td style="text-align: center;">559人</td> <td style="text-align: center;">510人</td> <td style="text-align: center;">518人</td> </tr> </table> <p>・SMARPPの内容を充実させるため、依存物質（処方薬、覚醒剤等）によりグループを細分化したほか、女性に限定したグループを立ち上げた。また、これらのグループに適応できない患者に対しては個別にSMARPPを実施した。この結果、患者数が増加した。</p> <p>※SMARPP（Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）とは、海外で有効性が確認されている覚せい剤依存症に対する総合的外来治療プログラムを我が国の実情に沿った形で、せりがや病院で修正したものである。</p> <p style="text-align: center;">[SMARPP実施患者数の実績と目標値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>実績</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>実患者数100人（延700人）</td> <td>実患者数97人（延790人）</td> <td>実患者数138人（延1,110人）</td> <td>実患者数100人（延800人）</td> <td>実患者数157人（延1,265人）</td> </tr> </table>	平成23年度	平成24年度	平成25年度		実績	実績	目標値	実績	507人	559人	510人	518人	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		実績	実績	実績	目標値	実績	実患者数100人（延700人）	実患者数97人（延790人）	実患者数138人（延1,110人）	実患者数100人（延800人）	実患者数157人（延1,265人）	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">S</p>	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">S</p>	<p>平成25年度から、目標設定を新患者数としたのは適切であり、また、依存症医療の専門病院としての役割を果たしている。</p> <p>SMARPPの実績が伸びているのは評価できる。</p>
平成23年度実績	平成25年度目標値																																							
507人	510人																																							
平成23年度実績	平成25年度目標値																																							
実患者数97人（延790人）	実患者数100人（延800人）																																							
平成23年度	平成24年度	平成25年度																																						
実績	実績	目標値	実績																																					
507人	559人	510人	518人																																					
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																					
実績	実績	実績	目標値	実績																																				
実患者数100人（延700人）	実患者数97人（延790人）	実患者数138人（延1,110人）	実患者数100人（延800人）	実患者数157人（延1,265人）																																				

	<p>・脱法ハーブなど深刻化する青少年の薬物乱用を防止するため、県と連携して学校の「薬物乱用防止教室」に職員を派遣し、専門病院としての臨床経験を踏まえたロールプレイなどを活用した啓発活動を行う。</p>	<p>・県と連携して、県内の中学校、高校等で開催される薬物乱用防止教室に職員を派遣し、啓発活動を行った（実績 延34施設8,036人）。社会的問題となっている「脱法ハーブ」関連の依頼も多く、実情について講演し、専門病院としての臨床経験を踏まえた啓発活動を行った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・診療のキャンセルが多いという患者特性があるが、前日に電話で受診を促すなどして初診キャンセルの減少に努めるとともに、広報や地域の医療機関との連携を通して、新患者の確保を図る。</p> <p>・引き続き専門治療プログラムによる依存症医療を着実に実施していく。</p> <p>・処方薬による薬物依存や脱法ハーブへの対応にも積極的に取り組む。</p>			
--	---	---	--	--	--	--

小項目 1 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 質の高い医療の提供 (1) 医療機能の充実
-----------------------	--

中期目標	エ がんセンター 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																															
<p>(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内においてがんセンターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法や放射線治療などがんに関する高度・専門医療を実施する。 ・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため人材育成を推進する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (エ) がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療待ち、手術待ちの患者が多数いる状況を改善するため、外来診療及び手術実施体制の整備、充実を図る。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <caption>[手術件数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成20年度実績</td> <td>平成26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,471件</td> <td style="text-align: center;">3,900件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	2,471件	3,900件	<p>(1) 医療機能の充実 エ 神奈川県立がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年11月に診療を開始する新病院では、5つの整備方針を掲げ、がん治療の3本柱である外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法のそれぞれの分野の充実、拡大を図り、神奈川県のがん医療の中心的役割を果たしていく。 ①手術待機患者等の縮減 ②高度、最新のがん医療の推進 ③療養環境の改善 ④都道府県がん診療拠点病院の規範となる病院 ⑤患者に優しく質の高い医療の提供 <p>・手術の待機患者等の縮減に向けて、外来診察室（32室から56室）、手術室（6室から12室）等を拡充するとともに、医師、看護師等の手術実施体制の充実に段階的に取り組む。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <caption>[手術件数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,564件</td> <td style="text-align: center;">2,610件</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成25年度目標値	2,564件	2,610件	<p>移転により、手術室が6室から全12室となったことから、手術室の効率的な運用が可能となり、目標値を上回る実績となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <caption>[手術件数の実績と目標値]</caption> <tr> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2,700件</td> <td>2,565件</td> <td>2,700件</td> <td>2,564件</td> <td>2,700件</td> <td>2,738件</td> <td>2,610件</td> <td>2,685件</td> </tr> </table>	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	2,700件	2,565件	2,700件	2,564件	2,700件	2,738件	2,610件	2,685件	<p>実績に対する評価</p> <p>手術室の数を拡大したことにより、手術枠の増加及び手術室の効率的な運用を行い、目標を達成した。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">A</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">A</p>	<p>がんセンターでは、移転に伴い、手術件数の目標値を前年度から下げたことは止むを得ないものであり、スタッフを増員することなく目標を達成したことは評価できるが、中期計画で定めた目標値の手術件数3900件に向けた努力が必要である。</p>
平成20年度実績	平成26年度目標値																																				
2,471件	3,900件																																				
平成23年度実績	平成25年度目標値																																				
2,564件	2,610件																																				
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																															
目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																														
2,700件	2,565件	2,700件	2,564件	2,700件	2,738件	2,610件	2,685件																														
			課題																																		
			<p>新病院において、手術室のより効率的な運用を図るなど、体制を整備していく必要がある。</p>																																		

小項目 1 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期
目標

エ がんセンター
 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																	
<p>・外来化学療法件数の増加に対応するため、外来化学療法室の拡充を図る。</p> <p>【外来化学療法件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>12,130件</td> <td>15,000件</td> </tr> </table>	平成20年度実績	平成26年度目標値	12,130件	15,000件	<p>・外来化学療法を受ける患者の増加に対応するため、採血ブース（5ブースから8ブース）、外来化学療法室（24床から50床）等を拡充するとともに、医師、看護師等のスタッフの充実に段階的に取り組む。</p> <p>【外来化学療法件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>11,785件</td> <td>12,570件</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成25年度目標値	11,785件	12,570件	<p>・平成25年度の外来化学療法件数は11,747件となり、前年度実績より増加となったものの、治療が長時間にわたる患者の増加などにより、目標には達しなかった。</p> <p>【外来化学療法件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>12,580件</td> <td>11,746件</td> <td>11,600件</td> <td>11,785件</td> <td>11,700件</td> <td>11,624件</td> <td>12,570件</td> <td>11,747件</td> </tr> </table>	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	12,580件	11,746件	11,600件	11,785件	11,700件	11,624件	12,570件	11,747件	<p>実績に対する評価</p> <p>外来化学療法室の拡充や外来薬剤指導件数の増加を図るとともに、「漢方サポートセンター」の設置に向けた検討を行うなど、着実に取組を推進した。</p> <p>課題</p> <p>今後、増加する外来化学療法に対し、拡充した手術室を効果的、効率的に活用していくとともに、化学療法へと繋がる手術の件数の増加を図る必要がある。</p>	A	A	外来化学療法件数について、1万件以上の実施は評価できる。
	平成20年度実績	平成26年度目標値																																				
	12,130件	15,000件																																				
平成23年度実績	平成25年度目標値																																					
11,785件	12,570件																																					
平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																
目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																															
12,580件	11,746件	11,600件	11,785件	11,700件	11,624件	12,570件	11,747件																															
<p>・外来化学療法室への腫瘍内科医師の常駐化、看護師による注射の拡大により、入院で行っている化学療法の一部を外来で施行し、患者の負担軽減を図るとともに、薬剤師による指導を充実させるなど、患者が化学療法を十分に理解し、安心して治療が受けられるように取り組む。</p> <p>【外来薬剤指導件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>1,586件</td> <td>1,680件</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成25年度目標値	1,586件	1,680件	<p>・患者が抱えている不安や疑問に対応し、治療を安心して受けられるよう、薬剤師による服薬や処方の説明に努めた結果、平成25年度の目標数1,680件に対し、実績は1,885件と103件増加した。</p> <p>【外来薬剤指導件数の実績と目標値】</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>1,586件</td> <td>1,500件</td> <td>1,782件</td> <td>1,680件</td> <td>1,885件</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	1,586件	1,500件	1,782件	1,680件	1,885件	<p>・これまで実施している漢方外来の機能充実を図る「漢方サポートセンター」の設置に向けた協議を進めた。</p>																		
	平成23年度実績	平成25年度目標値																																				
1,586件	1,680件																																					
平成23年度実績	平成24年度		平成25年度																																			
	目標値	実績	目標値	実績																																		
1,586件	1,500件	1,782件	1,680件	1,885件																																		
<p>・漢方などの東洋医学による治療を実践する漢方外来の充実に取り組むため、平成26年4月の「漢方サポートセンター(仮称)」の設置に向け、協議を進める。</p>																																						

小項目 15 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>
 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 1 質の高い医療の提供
 (1) 医療機能の充実

中期目標 エ がんセンター
 神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
 また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																		
・放射線治療を充実するため、3次元照射が可能な放射線治療装置や重粒子線治療装置を導入する。	・高度、最新のがん医療を進めるため、放射線治療装置（リニアック）を2台から4台に増設し、患者の身体的負担に配慮した精密な治療計画に基づく高精度放射線治療（強度変調放射線治療（IMRT））などを積極的かつ着実に進める。 [放射線治療の実患者数の目標値] 平成25年度目標値 650人 [照射方法別治療実患者数の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th>照射方法</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射</td> <td>408人</td> <td>610人</td> </tr> <tr> <td>IMRT(強度変調)</td> <td>2人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>2人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>全身照射</td> <td>21人</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table> ※平成25年度は2台体制で放射線治療を行う。（現病院から新病院に移設するリニアックを安全稼働させるには、半年以上の調整期間を要する。）	照射方法	平成23年度実績	平成25年度目標値	通常照射	408人	610人	IMRT(強度変調)	2人	12人	定位照射	2人	14人	全身照射	21人	14人	・移転に合わせて放射線治療装置（リニアック）を2台から4台に増設し、計画的で効率的な治療を行ったことから、平成25年度の放射線治療の実患者数は816人となり、目標の650人に対し126%の達成率となった。 [照射方法別治療実患者数の実績と目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">照射方法</th> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常照射</td> <td>408人</td> <td>600人</td> <td>30回</td> <td>769人</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>IMRT(強度変調)</td> <td>2人</td> <td>25人</td> <td>37回</td> <td>15人</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>定位照射</td> <td>2人</td> <td>24人</td> <td>4回</td> <td>13人</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>全身照射</td> <td>21人</td> <td>20人</td> <td>1回</td> <td>20人</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>	照射方法	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	通常照射	408人	600人	30回	769人	30回	IMRT(強度変調)	2人	25人	37回	15人	37回	定位照射	2人	24人	4回	13人	4回	全身照射	21人	20人	1回	20人	1回	実績に対する評価 ・リニアックの増設により放射線治療を推進したことから、平成25年度の放射線治療の実患者数は、目標値650人に対し、816人と目標を達成した。 ・円滑な重粒子線治療施設の運営を行うため、先行して治療を行っている施設へ医師を派遣するなど、人材育成に努めた。	S	S	平成25年度は、病院移転の制約がある放射線治療装置（リニアック）の運用の中で、照射方法別治療実患者数が816人となっているのは評価できる。IMRT（強度変調）など精度の高い照射の実施が増加しており、評価に値する。
		照射方法	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																			
通常照射	408人	610人																																																					
IMRT(強度変調)	2人	12人																																																					
定位照射	2人	14人																																																					
全身照射	21人	14人																																																					
照射方法	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度																																																			
		目標値	実績	目標値	実績																																																		
通常照射	408人	600人	30回	769人	30回																																																		
IMRT(強度変調)	2人	25人	37回	15人	37回																																																		
定位照射	2人	24人	4回	13人	4回																																																		
全身照射	21人	20人	1回	20人	1回																																																		
		・重粒子線治療施設については、平成27年12月の治療開始に向けて、建屋の建設及び装置の製造を引き続き行った。 【重粒子線治療施設概要】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>3,009.12㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>6,999.47㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地上2階、地下1階建</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>治療室数</td> <td>4治療室 6治療ポート</td> </tr> </tbody> </table>	建築面積	3,009.12㎡	延床面積	6,999.47㎡	階数	地上2階、地下1階建	構造	鉄筋コンクリート造	治療室数	4治療室 6治療ポート	課題 重粒子線治療施設の治療開始に向け、引き続き人材育成の推進や着実な建屋建設及び装置製造に取り組む必要がある。																																										
建築面積	3,009.12㎡																																																						
延床面積	6,999.47㎡																																																						
階数	地上2階、地下1階建																																																						
構造	鉄筋コンクリート造																																																						
治療室数	4治療室 6治療ポート																																																						

	<p>・円滑な重粒子線治療施設運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を、先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより人材育成を図る。</p>	<p>・先行して重粒子線治療を行う施設である放射線医学総合研究所に、放射線腫瘍科医師を研修派遣し、人材育成に取り組んだ。</p> <p>・重粒子線治療について広く知ってもらうため、平成26年3月に県民を対象とした公開講座を開催した。 日時：平成26年3月1日 場所：関内ホール 参加人数：208名</p>				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 16 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>・緩和ケアを充実するため、緩和病室を拡充するとともに、療養環境の充実を図る。</p>	<p>・緩和ケアが、がんと診断された時から様々な場面で切れ目なく提供できるよう、緩和ケア病棟（14床から20床）を拡充するとともに、緩和ケアチームや緩和ケア外来の運営など、重度の疼痛が発症する前から患者をサポートする体制を整備する。さらに、がん治療と平行した質の高い緩和医療の提供等が行えるよう、緩和ケア病棟等が中心となって、地域における強固な緩和ケア診療体制を構築する。</p> <p>・都道府県がん診療拠点病院として、緩和ケアチームを軸とした多職種による、より迅速かつ適切な緩和ケアを提供する「緩和ケアセンター」の整備を検討する。</p>	<p>・移転により、緩和ケア病棟の病床数を14床から20床に拡充し、がんと診断されたときから症状の段階に応じたケアの実施や療養環境の充実に努めた。</p> <p>緩和ケア病棟入院延患者数：5,260人</p> <p>・緩和病棟において、医師、看護師、薬剤師で構成し緩和ケアチームが中心となり、がんによって生じた身体的・精神的苦痛、社会的困難などに迅速かつ適切に対応した。</p> <p>・都道府県がん診療拠点病院として地域の医療機関等との連携協力体制を強化するため、「緩和ケアセンター」の整備に向けた検討を進めた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>緩和ケアの充実に向けて、緩和病棟の病床数を増床するとともに、患者の療養環境の充実に取り組んだ。</p>	A	A	
			<p>課題</p> <p>がんと診断されたときからの緩和ケアを推進するため、「緩和ケアセンター」の整備を図っていく。</p>			

小項目 17 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 質の高い医療の提供

(1) 医療機能の充実

中期目標

エ がんセンター

神奈川県のがん対策を総合的に進め、都道府県がん診療連携拠点病院としての機能の充実を図るため、がんに関する高度・専門医療、外来化学療法、放射線治療及び緩和ケアの充実に努めること。
また、がんの診断や治療に関する人材を育成すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																								
<p>・専門医を育成するため、後期臨床研修を充実する。また、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内の医療従事者を対象に研修等を行う。さらに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p> <p>(参考) がん専門研修実績 (平成20年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	568人	緩和ケア研修	2回	94人	<p>・都道府県がん診療連携拠点病院としてがん治療の均てん化を進めるため、県内の医療従事者を対象に研修等を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院が行う研修等への支援や地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施する。</p> <p>[がん専門研修の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度目標値</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>31回</td> <td>626人</td> <td>30回</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>67人</td> <td>2回</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 緩和ケア研修は、2回で1コース</p>	区分	平成23年度実績		平成25年度目標値		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	31回	626人	30回	600人	緩和ケア研修	2回	67人	2回	50人	<p>・がん専門臨床研修医を新たに5人を採用し、各種研究会・学会報告、論文作成や、各領域ごとに自己評価と指導医評価を行うなど、がん診療に関する専門医の育成を推進した。</p> <p>・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん治療の均てん化を進めるため、がん臨床講座や緩和ケア研修など、県内のがん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修等を開催した。 また、地域がん診療連携拠点病院との研修の連携や、地域の医療機関も参加できる合同カンファレンスを実施した。</p> <p>[がん専門研修の実績と目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度目標値</th> <th colspan="2">平成22年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>33回</td> <td>648人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成23年度目標値</th> <th colspan="2">平成23年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>626人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成24年度目標値</th> <th colspan="2">平成24年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成25年度目標値</th> <th colspan="2">平成25年度実績</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>がん臨床講座</td> <td>30回</td> <td>600人</td> <td>31回</td> <td>436人</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>2回</td> <td>50人</td> <td>2回</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 緩和ケア研修は2回で1コース</p>	区分	平成22年度目標値		平成22年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	33回	648人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	55人	区分	平成23年度目標値		平成23年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	626人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	67人	区分	平成24年度目標値		平成24年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	560人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	42人	区分	平成25年度目標値		平成25年度実績		回数	参加人数	回数	参加人数	がん臨床講座	30回	600人	31回	436人	緩和ケア研修	2回	50人	2回	40人	<p>実績に対する評価</p> <p>B</p>	<p>B</p>	<p>がん専門研修の参加人数の減少は、新病院への移転に伴いがんセンターの医師の参加が減少したためで止むを得ないものであり、また、近隣の病院が取り組んだ影響等もあったということであれば、それは、必ずしもマイナスに捉える必要はない。</p> <p>今後は、次期中期計画を見据え、がん専門研修のあり方を再検討いただきたい。</p>
	区分	回数	参加人数																																																																																																										
がん臨床講座	30回	568人																																																																																																											
緩和ケア研修	2回	94人																																																																																																											
区分	平成23年度実績		平成25年度目標値																																																																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																									
がん臨床講座	31回	626人	30回	600人																																																																																																									
緩和ケア研修	2回	67人	2回	50人																																																																																																									
区分	平成22年度目標値		平成22年度実績																																																																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																									
がん臨床講座	30回	600人	33回	648人																																																																																																									
緩和ケア研修	2回	50人	2回	55人																																																																																																									
区分	平成23年度目標値		平成23年度実績																																																																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																									
がん臨床講座	30回	600人	31回	626人																																																																																																									
緩和ケア研修	2回	50人	2回	67人																																																																																																									
区分	平成24年度目標値		平成24年度実績																																																																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																									
がん臨床講座	30回	600人	31回	560人																																																																																																									
緩和ケア研修	2回	50人	2回	42人																																																																																																									
区分	平成25年度目標値		平成25年度実績																																																																																																										
	回数	参加人数	回数	参加人数																																																																																																									
がん臨床講座	30回	600人	31回	436人																																																																																																									
緩和ケア研修	2回	50人	2回	40人																																																																																																									
			<p>課題</p> <p>がん医療の均てん化の推進に向け、今後研修内容の充実のみならず、人材育成のあり方についても検討していく必要がある。</p>																																																																																																										

	<p>・日本病院会のQ Iプロジェクトに参加（平成25年度参加施設：全国145病院うち県内5病院）し、指定臨床指標データの収集・分析、診療の質を数値化、ベンチマークする取組を推進することにより、医療の質の向上を目指す。</p> <p>・全国74のがん診療連携拠点病院が、各病院のD P Cデータを持ち寄り、がん医療のプロセス、経済的評価のベンチマーク分析を行うC Q I（cancer quality initiative）研究会に参加し、がん医療の質の向上・均てん化を推進する。</p>	<p>・日本病院会のQ Iプロジェクト及びC Q I研究会に参加し、診療指標の測定・公表及び分析を行うなど、医療の質の向上や均てん化を進めた。</p>				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 18 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																																																													
<p>(1) 医療機能の充実 ア 中期目標期間内において循環器呼吸器病センターが目指す医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭心症、心筋梗塞に関する治療など総合的な循環器医療を推進する。 ・増加する肺がん治療を強化する。 ・結核医療を継続的に実施する。 <p>イ 中期目標期間内の具体的な取組 (オ) 循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓カテーテル・手術を中心とした循環器疾患治療の実施体制を充実する。 (参考) P C I 症例数実績 (H20年度) 414件 	<p>(1) 医療機能の充実 オ 神奈川県立循環器呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚血性心疾患や急性心筋梗塞、心不全、不整脈の患者に対し、P C I、カテーテルアブレーション等の症例に合わせた最適な医療を提供する。また、医師、看護師及び理学療法士がチームを組み、心臓リハビリテーションの適応拡大を図る。 <table border="1"> <caption>[P C I 症例数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td>265件</td> <td>260件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[カテーテルアブレーション症例数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td>87件</td> <td>50件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓血管疾患の複雑化や患者の高齢化が進むなか、適切な術前検査・評価と確立された手術手技により確実に安定した手術を実施するとともに、理学療法士との連携による早期リハビリを実践し、手術患者の早期離床・早期退院を目指す。 <table border="1"> <caption>[心臓手術の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td>83件</td> <td>85件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[心臓リハビリテーションの実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成25年度目標値</td> </tr> <tr> <td>2,208件</td> <td>2,500件</td> </tr> </table>	平成23年度実績	平成25年度目標値	265件	260件	平成23年度実績	平成25年度目標値	87件	50件	平成23年度実績	平成25年度目標値	83件	85件	平成23年度実績	平成25年度目標値	2,208件	2,500件	<p>・高齢化による循環器の慢性疾患患者の増加に対応するため、不整脈治療や心臓リハビリテーションに力を注いだ。また、心臓リハビリテーションでは、心筋梗塞の患者向けパンフレットを多職種チームで作成し治療に活用するなど、疾患の再発予防と患者の社会復帰に努めた。</p> <p>・生活習慣病に起因する循環器疾患を予防するため、常勤の糖尿病診療医師を配置し、診療体制の充実に図った。</p> <p>・心臓手術については、手術待機患者の減少等により目標件数を下回ったものの、高齢者の難易度の高い弁膜症手術に安定した実績を収めたほか、M I C S M V R（小切開による僧帽弁置換術）の導入やステントグラフト内挿術の取組みなど、心臓血管疾患に対する治療の充実に努めた。</p> <table border="1"> <caption>[P C I 症例数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>355件</td> <td>279件</td> <td>300件</td> <td>265件</td> </tr> <tr> <td>260件</td> <td>281件</td> <td>260件</td> <td>262件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[カテーテルアブレーション症例数の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成22年度実績</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>65件</td> <td>80件</td> <td>87件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>80件</td> <td>93件</td> <td>50件</td> <td>52件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[心臓手術の実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績</td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>31件</td> <td>78件</td> <td>80件</td> <td>83件</td> </tr> <tr> <td>84件</td> <td>78件</td> <td>85件</td> <td>62件</td> </tr> </table> <table border="1"> <caption>[心臓リハビリテーションの実績と目標値]</caption> <tr> <td>平成23年度実績</td> <td>平成24年度実績</td> <td colspan="2">平成25年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>2,208件</td> <td>2,302件</td> <td>2,500件</td> <td>2,523件</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	実績	目標値	実績	355件	279件	300件	265件	260件	281件	260件	262件	平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	実績	目標値	実績	65件	80件	87件	100件	80件	93件	50件	52件	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	実績	目標値	実績	31件	78件	80件	83件	84件	78件	85件	62件	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度				目標値	実績	2,208件	2,302件	2,500件	2,523件	<p>実績に対する評価</p> <p>・P C I 症例とカテーテルアブレーションについては前年度実績を下回ったものの目標を達成した。心臓リハビリテーションについては、年々大きく伸びており、特長の一つとなっている。</p> <p>・医療の高度化や心疾患の複雑化が進むなかで、幅の広い治療を提供することにより、患者の早期社会復帰や再発予防も含め、総合的な治療体制の充実に努めた。</p>	A	A	<p>カテーテルアブレーション症例数は、医師の異動に伴い件数が減少したが、今後は、実施件数をより確保できるよう努められたい。</p>
		平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																															
265件	260件																																																																																	
平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																	
87件	50件																																																																																	
平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																	
83件	85件																																																																																	
平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																	
2,208件	2,500件																																																																																	
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																															
目標値	実績	目標値	実績																																																																															
355件	279件	300件	265件																																																																															
260件	281件	260件	262件																																																																															
平成22年度実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																															
目標値	実績	目標値	実績																																																																															
65件	80件	87件	100件																																																																															
80件	93件	50件	52件																																																																															
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																															
目標値	実績	目標値	実績																																																																															
31件	78件	80件	83件																																																																															
84件	78件	85件	62件																																																																															
平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度																																																																																
		目標値	実績																																																																															
2,208件	2,302件	2,500件	2,523件																																																																															
			<p>課題</p> <p>同一二次保健医療圏内には循環器領域の医療機関が多いことから、特長である不整脈や弁膜症の取扱い症例の多さなどを積極的に周知し、他の医療機関との差別化を図っていく必要がある。</p>																																																																															

小項目 19 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供
 - (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																				
・肺がん治療を強化するため、身体への負担が少ない胸腔鏡下手術や化学療法、放射線治療を実施する体制を充実する。	・がん診療の専門化・多様化に対応するため、肺がん包括診療センターを設置し、手術、化学療法、放射線治療等の集学的治療に積極的に取り組むとともに、チーム医療の推進、治験・研究の充実を図り、総合的な肺がん医療を提供する。 【肺がん手術件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん手術件数</td> <td>113件</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>うち胸腔鏡下手術件数</td> <td>100件</td> <td>105件</td> </tr> </tbody> </table> 【化学療法件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院治療</td> <td>695件</td> <td>650件</td> </tr> <tr> <td>外来治療</td> <td>494件</td> <td>550件</td> </tr> </tbody> </table> 【放射線治療件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51件</td> <td>180件</td> </tr> </tbody> </table> ・全国から患者受入れのある間質性肺炎について、質の高い医療の提供を継続するとともに、患者の不安や悩みを軽減する相談支援の実施、診療内容などに関する情報発信を積極的に行うことにより、全国の拠点的な機能を担う。 【間質性肺炎の新規の外来患者数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>176人</td> <td>220人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	肺がん手術件数	113件	120件	うち胸腔鏡下手術件数	100件	105件	区分	平成23年度実績	平成25年度目標値	入院治療	695件	650件	外来治療	494件	550件	平成23年度実績	平成25年度目標値	51件	180件	平成23年度実績	平成25年度目標値	176人	220人	・平成25年7月に、各診療科、病理検査、放射線、薬剤、看護等の関連部門による「肺がん包括診療センター」を開設し、組織的なチームによる包括的医療の提供を開始した。このうち化学療法については、通院外来治療への対応を進めたことから、外来治療で前年度を大幅に上回る実績となった。 ・間質性肺炎の患者会の設立に向け、平成25年7月に全国で2回目となる患者、家族及び医療関係者等を対象とした「間質性肺炎・肺線維症勉強会」を開催し、治療や生活上での注意点などの情報交換を通じて患者への支援を行った。 【肺がん手術件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん手術件数</td> <td>113件</td> <td>129件</td> <td>120件</td> <td>136件</td> </tr> <tr> <td>うち胸腔鏡下手術件数</td> <td>100件</td> <td>122件</td> <td>105件</td> <td>127件</td> </tr> </tbody> </table> 【化学療法件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院治療</td> <td>695件</td> <td>619件</td> <td>650件</td> <td>597件</td> </tr> <tr> <td>外来治療</td> <td>494件</td> <td>491件</td> <td>550件</td> <td>683件</td> </tr> </tbody> </table> 【放射線治療件数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成22年度実績</th> <th rowspan="2">平成23年度実績</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130件</td> <td>51件</td> <td>80件</td> <td>77件</td> <td>180件</td> <td>147件</td> </tr> </tbody> </table> ※治療計画作成件数 【間質性肺炎の新規の外来患者数の実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">平成22年度実績</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>192人</td> <td>130人</td> <td>176人</td> <td>180人</td> <td>218人</td> <td>220人</td> <td>259人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度				目標値	実績	肺がん手術件数	113件	129件	120件	136件	うち胸腔鏡下手術件数	100件	122件	105件	127件	区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度				目標値	実績	入院治療	695件	619件	650件	597件	外来治療	494件	491件	550件	683件	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	130件	51件	80件	77件	180件	147件	平成22年度実績	平成23年度		平成24年度		平成25年度		目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	192人	130人	176人	180人	218人	220人	259人	A	A	間質性肺炎の新規の外来患者数（平成24年度実績218人→平成25年度実績259人）については、評価できる。 また、循環器呼吸器病センターの今後の役割として、感染症対策を強化していく必要がある。
		区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																																					
肺がん手術件数	113件	120件																																																																																																							
うち胸腔鏡下手術件数	100件	105件																																																																																																							
区分	平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																																							
入院治療	695件	650件																																																																																																							
外来治療	494件	550件																																																																																																							
平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																																								
51件	180件																																																																																																								
平成23年度実績	平成25年度目標値																																																																																																								
176人	220人																																																																																																								
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度																																																																																																						
			目標値	実績																																																																																																					
肺がん手術件数	113件	129件	120件	136件																																																																																																					
うち胸腔鏡下手術件数	100件	122件	105件	127件																																																																																																					
区分	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度																																																																																																						
			目標値	実績																																																																																																					
入院治療	695件	619件	650件	597件																																																																																																					
外来治療	494件	491件	550件	683件																																																																																																					
平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度		平成25年度																																																																																																					
		目標値	実績	目標値	実績																																																																																																				
130件	51件	80件	77件	180件	147件																																																																																																				
平成22年度実績	平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																																																																				
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績																																																																																																			
192人	130人	176人	180人	218人	220人	259人																																																																																																			
・迅速かつ正確な診断を基に、短期間で患者に適した治療を開始する体制を整備し、肺がん手術件数、外来化学療法件数については目標を達成した。また、放射線治療については、目標には届かなかったものの前年比70件増となる147件となった。 ・間質性肺炎については、質の高い医療の提供と情報発信に努めており、新規外来患者数は259人と目標の220人を大きく上回った。 【課題】 ・肺がん診療施設として、高度な診断・治療を提供するとともに、診断時からの緩和ケアにも対応できるよう相談支援機能を強化していく必要がある。 ・間質性肺炎については、患者数の増加に対応できるよう診療体制を充実する必要がある。																																																																																																									

・間質性肺炎、肺がん、COPDなどの症状に応じた呼吸器リハビリテーションを積極的に取り入れ、患者の生活の質の向上や早期退院を図った。

(参考) [呼吸器リハビリテーションの実績]

平成24年度	平成25年度
4,036件	4,619件

小項目20 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期目標

オ 循環器呼吸器病センター
 循環器・呼吸器疾患の専門病院として、心疾患治療及び肺がん治療等の充実に努めること。
 また、結核医療を継続的に実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価	評価委員会の評価																						
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																				
・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を継続的に実施する。	・結核入院患者に対して実施しているDOTS（直接監視下短期化学療法）を、退院後も継続して行うことにより確実な治癒を図り、多剤耐性結核菌の出現を防止する。 ・患者の高齢化が進み、結核以外の疾患を持つ患者や自己管理が困難な患者が増えていることから、退院後の生活支援に向けて、保健所、地域医療機関、老人保健施設等との連携を強化する。	・結核入院患者全員に院内DOTSを実施するとともに、退院患者についても、医師、看護師、ソーシャルワーカー及び保健所の保健師等の多職種による連絡会議を定期的開催し、退院後も確実な治療が行われるよう地域ぐるみでの支援を行った。 ・患者が病気の内容や、長期の入院、服薬の必要性を理解するよう集団での勉強会を開催したり、隔離された入院生活からのストレスを緩和するためのボランティアによるコンサート、病棟の飾り付けなどの取組を行った。 （参考）【結核病棟入院患者数の推移】（下段は1日当たり） <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>14,136人</td> <td>13,478人</td> <td>12,715人</td> <td>12,870人</td> </tr> <tr> <td>(38.7人)</td> <td>(36.8人)</td> <td>(34.8人)</td> <td>(35.3人)</td> </tr> </table> （参考）【多剤耐性結核患者の推移】 <table border="1"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> </table>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	14,136人	13,478人	12,715人	12,870人	(38.7人)	(36.8人)	(34.8人)	(35.3人)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	2人	2人	0人	1人	実績に対する評価 県内の結核病床数が減少している中、結核患者受入医療機関として、県の政策医療の一端を担い、多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を着実に実施した。	A	A	
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																				
			14,136人	13,478人	12,715人	12,870人																				
(38.7人)	(36.8人)	(34.8人)	(35.3人)																							
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																							
2人	2人	0人	1人																							
課題 結核患者の高齢化が進み、認知症や寝たきりで日常生活援助を必要とする患者が増加していることから、介護技術の向上や合併症への対応が必要となっている。																										

小項目 2 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (1) 医療機能の充実

中期
目標

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(1) 医療機能の充実 ウ 医療機能の評価する指標の設定 病院の医療機能の評価するため、年度計画に病院ごとの指標を明示し、その実績を公表する。	(1) 医療機能の充実 カ 医療機能の評価する指標の設定 全病院が取り組む「病院機構の共通指標（別表第1）」及び各病院の持つ専門性、地域的な特徴などを考慮して取り組む「各病院の専門性・特性に応じた指標（別表第2）」を設定し、その実績を測定、分析し、取組の改善を行うことにより、医療の質の向上を目指す。 (7) 病院機構の共通指標 8指標 【患者サービス（患者の視点に立った病院経営）】 ・患者満足度の把握（患者満足度調査） ・地域医療連携室等の相談件数 【標準的医療の推進】 ・クリティカルパスの設定数 ・退院サマリーの2週間以内完成率 【医療安全・予防医療の取組】 ・ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況 ・褥瘡患者発生率 【人材育成と教育】 ・新卒看護師離職率 ・専門・認定看護師数	1 患者満足度把握（患者満足度調査） 2 地域連携室等の相談件数 3 クリティカルパスの設定数 4 退院サマリーの2週間以内完成率 5 ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況 6 褥瘡患者発生率 7 新卒看護師離職率 8 専門・認定看護師数 別紙のとおり	実績に対する評価 全病院が共通した指標及び各病院の有する機能を踏まえた指標の設定を公表することで、客観的に評価を行うことができ、医療の質の向上を図った。	A	A	共通の指標を持つことで、病院間の比較もでき、相互に刺激しあうことを期待したい。 また、各病院の専門性・特性に応じた指標の分かりやすい説明をホームページで公開し県民に知らせる必要がある。 なお、クリティカルパスについては、参考値として、新規入院患者に対する適用率も示して欲しい。
			課題 今後もより良い医療を提供するため、指標の見直しや検証を行うなどの改善を図っていく。			

1 患者満足度把握（患者満足度調査）

[満足度調査結果]

平成22年度	入院		外来	
	回答総数	満足度	回答総数	満足度
足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%
こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%
芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%
せりがや病院	44人	66.5%	-	-
がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%
循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成23年度	入院			外来		
	満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度
足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%
こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%
芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%
せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%
がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成24年度	入院				外来			
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数
足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390
こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000
芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

平成25年度	入院				外来			
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数
足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400
こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717
芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280
せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159
がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876
循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600

「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。
「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。

2 地域連携室等の相談件数

[相談件数実績（地域医療連携室等への診療相談）]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	11,473件	11,264件	11,439件	10,793件
こども医療センター	24,130件	21,933件	27,137件	15,751件
芹香病院	4,593件	4,679件	4,817件	4,208件
せりがや病院	270件	391件	498件	453件
がんセンター	9,825件	9,354件	8,352件	10,874件
循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件	14,497件	13,786件
計	58,575件	59,037件	66,740件	55,865件

3 クリティカルパスの設定数

[クリティカルパスの件数実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度			
				新規	改定（見直し）	廃止	件数
足柄上病院	66件	70件	71件	5件	11件	3件	73件
こども医療センター	28件	29件	89件	5件	4件	6件	88件
芹香病院	3件	3件	3件	1件	0件	0件	4件
せりがや病院	2件	3件	4件	1件	2件	0件	5件
がんセンター	50件	32件	37件	10件	13件	0件	47件
循環器呼吸器病センター	18件	20件	21件	3件	7件	3件	21件
計	167件	157件	225件	25件	37件	12件	238件

4 退院サマリーの2週間以内完成率

[退院サマリー2週間以内完成率]

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	分子 担当医が退院後2週間以内にサマリーを完成した数	分母 退院患者数	測定値 2週間以内完成率	分子 担当医が退院後2週間以内にサマリーを完成した数	分母 退院患者数	測定値 2週間以内完成率	分子 担当医が退院後2週間以内にサマリーを完成した数	分母 退院患者数	測定値 2週間以内完成率
足柄上病院	5,100件	6,046人	84.4%	5,178件	6,211人	83.4%	5,197件	6,244人	83.2%
こども医療センター	5,783件	6,879人	84.1%	5,323件	7,297人	72.9%	5,671件	7,316人	77.5%
芹香病院	604件	607人	99.5%	609件	612人	99.5%	572件	577人	99.1%
せりがや病院	261件	340人	76.8%	310件	381人	81.4%	163件	320人	50.9%
がんセンター	7,126件	7,647人	93.2%	7,297件	8,449人	86.4%	7,671件	8,693人	88.2%
循環器呼吸器病センター	3,945件	4,226人	93.4%	3,984件	4,334人	91.9%	3,941件	4,346人	90.7%

5 ヒヤリ・ハット事例及び医療事故の発生・報告状況

【ヒヤリ・ハット事例、医療事故の報告・報告件数実績】

平成23年度	ヒヤリ・ハット事例					医療事故				合計	平成24年度	ヒヤリ・ハット事例					医療事故				合計	平成25年度	ヒヤリ・ハット事例					医療事故				合計
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5	小計			レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5	小計			レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	小計	レベル3b	レベル4	レベル5	小計	
足柄上病院	276	1,158	311	25	1,770	4	0	0	4	1,774	足柄上病院	315	1,312	214	37	1,878	2	0	0	2	1,880	足柄上病院	180	1,077	228	48	1,533	6	0	0	6	1,539
こども医療センター	295	1,898	88	25	2,306	7	0	0	7	2,313	こども医療センター	278	1,690	123	60	2,151	3	0	0	3	2,154	こども医療センター	333	1,988	107	56	2,484	3	0	0	3	2,487
芳香病院	53	261	65	17	396	4	0	0	4	400	芳香病院	97	429	61	13	600	2	0	0	2	602	芳香病院	84	361	72	14	531	1	0	0	1	532
せりがや病院	35	107	19	3	164	0	0	0	0	164	せりがや病院	29	102	19	2	152	0	0	0	0	152	せりがや病院	40	125	25	2	192	0	0	0	0	192
がんセンター	292	1,369	79	14	1,754	4	0	0	4	1,758	がんセンター	272	1,546	86	17	1,921	2	0	0	2	1,923	がんセンター	333	1,700	103	28	2,164	4	0	0	4	2,168
循環器呼吸器病センター	199	818	248	16	1,281	3	0	0	3	1,284	循環器呼吸器病センター	137	820	257	30	1,244	3	0	0	3	1,247	循環器呼吸器病センター	303	814	198	9	1,324	0	0	0	0	1,324
計	1,150	5,611	810	100	7,671	22	0	0	22	7,693	計	1,128	5,899	760	159	7,946	12	0	0	12	7,958	計	1,273	6,065	733	157	8,228	14	0	0	14	8,242

6 褥瘡患者発生率

【褥瘡患者発生率】

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	分子	分母	測定値	分子	分母	測定値	分子	分母	測定値
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%	61件	6,384人	0.96%	83件	6,396人	1.30%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%	122件	126,949人	0.10%	163件	129,030人	0.13%
芳香病院	6件	2,974人	0.20%	8件	2,887人	0.28%	8件	3,127人	0.26%
せりがや病院	1件	359人	0.28%	0件	426人	0.00%	0件	349人	0.00%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%	114件	11,905人	0.96%	93件	12,017人	0.77%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%	37件	4,322人	0.86%	30件	4,396人	0.68%

※こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数

7 新卒看護師離職率

【新卒看護師離職率の実績】

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
病院機構の新卒看護師採用人数	93人	122人	127人	112人
病院機構の新卒看護師退職人数	8人	14人	7人	6人
病院機構の新卒看護師離職率	8.6%	11.5%	5.5%	5.4%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	8.8%	8.8%	—
全国の新卒看護師平均離職率	8.1%	7.5%	7.9%	—

8 専門・認定看護師数

【専門看護師等有資格者数実績】

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
専門看護師	10人	15人	21人	23人
小児看護	4人	5人	6人	6人
がん看護	6人	7人	11人	12人
家族看護	0人	2人	2人	2人
慢性疾患看護	0人	1人	1人	1人
精神看護	0人	0人	1人	2人
認定看護管理者	4人	3人	5人	2人
認定看護師	53人	51人	52人	56人
皮膚・排泄ケア	5人	6人	6人	6人
集中ケア	8人	8人	8人	8人
がん性疼痛看護	17人	16人	15人	16人
がん化学療法	3人	3人	4人	4人
乳がん看護	1人	1人	1人	1人
緩和ケア	7人	6人	4人	4人
感染管理	7人	7人	7人	8人
糖尿病看護	1人	0人	2人	2人
小児救急看護	2人	2人	2人	2人
新生児集中ケア	2人	2人	2人	2人
救急看護	0人	0人	1人	1人
摂食・嚥下障害看護	0人	0人	0人	1人
慢性心不全看護	0人	0人	0人	1人
精神科認定看護師	5人	5人	5人	9人
計	72人	74人	83人	90人

(イ) 各病院の専門性・特性に応じた指標 18指標

【足柄上病院】

- ・糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c<6.9
- ・心筋梗塞の治療開始時間
- ・地域がん登録の登録率

【こども医療センター】

- ・1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数
- ・ハイリスク妊娠取扱数
- ・患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率
- ・在宅療養指導実施件数

【芹香病院】

- ・医療観察法の通院医療延患者数
- ・全県における救急病棟の措置入院の受入率
- ・外来患者への訪問看護延件数

【せりがや病院】

- ・初診患者の紹介率

【がんセンター】

- ・主たる手術の包括算定の対象入院期間Ⅱ以内の割合
- ・歯科口腔ケアの取組件数
- ・英文原著論文数及びそのインパクトファクター
- ・専門看護外来患者数

【循環器呼吸器病センター】

- ・急性心筋梗塞患者における病院到着からPCIによる再開通までの時間
- ・心臓MRI検査件数
- ・リハビリテーション実施件数

9 糖尿病患者の血糖コントロールHbA1c<6.9

[足柄上病院]

実績値 54.9% (目標値 40%)
 (分子) HbA1c<6.9の患者数 596人
 (分母) インスリン又は経口血糖降下薬を処方されている患者数 1,086人

10 心筋梗塞の治療開始時間(Door to Balloon Time)

[足柄上病院]

実績値 65.5% (目標値 60%)
 (分子) 来院から初回冠動脈拡張術までの時間が90分以内の患者数 19人
 (分母) 緊急冠動脈形成術施行患者数 29人

11 地域がん登録の登録率

[足柄上病院]

実績値 95.5% (目標値 80%)
 (分子) 地域がん登録をしたがん患者数 336人
 (分母) 全がん治療患者数 352人

12 1歳未満乳児外科施設基準対象手術件数

[こども医療センター]

実績値 64件 (目標値 110件)

13 ハイリスク妊娠取扱率

[こども医療センター]

実績値 174件 (目標値 210件)

14 患者・家族の意見を反映させた看護計画実施率

[こども医療センター]

実績値 91.6% (目標値 85%)
 (分子) 患者・家族の意見を反映させた看護計画の実施患者数 3,812人
 (分母) クリティカルパス適用及び一日入院患者を除いた入院実患者数 4,162人

15 在宅療養指導実施件数

[こども医療センター]

実績値 731件 (目標値 500件)

- 16 医療観察法の通院医療延患者数
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 837人 (目標値 1,090人)
- 17 全県における救急病棟の措置入院の受入率
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 17.7% (目標値 16%)
 (分子) 1年間の措置入院延件数 137件
 (分母) 1年間の全県の延措置入院件数 772件
- 18 外来患者への訪問看護延件数
 [精神医療センター 芹香病院]
 実績値 2,326件 (目標値 2,500件)
- 19 初診患者の紹介率
 [精神医療センター せりがや病院]
 実績値 35.7% (目標値 40%)
 (分子) 1年間の紹介患者延数 256人
 (分母) 1年間の初診患者延数 718人
- 20 主たる手術の包括算定の対象入院期間Ⅱ以内の割合
 [がんセンター]
- ①肺の悪性腫瘍
 実施値 96.3% (目標値 90%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ (13日)
 以内の手術数 288件
 (分母) 手術数 299件
- ②胃の悪性腫瘍
 実施値 93.8% (目標値 90%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ (20日)
 以内の手術数 137件
 (分母) 手術数 146件
- ③乳房の悪性腫瘍
 実施値 73.8% (目標値 70%以上)
 (分子) 包括算定の対象入院期間Ⅱ (8日)
 以内の手術数 166件
 (分母) 手術数 225件

小項目 2 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

- (2) 医療機器・施設整備の推進
 医療機器については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、費用対効果等を総合的に勘案して計画的に更新、整備に努めること。
 また、病院施設については、老朽化の状況や求められる機能を踏まえ、今後担うべき診療機能にふさわしい整備を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 県民の医療ニーズ、医療技術の進展に応えるため、計画的に3次元照射が可能な放射線治療装置、全身用コンピュータ断層撮影装置等の医療機器を整備する。	(2) 医療機器・施設整備の推進 ア 医療機器整備の推進 ・高度化・多様化する医療ニーズに的確に対応するため、現有医療機器の機能と老朽化の度合いを勘案した医療機器の整備、更新を行う。	医療ニーズの高度化・多様化や現有機器の老朽化に対応するため、医療機器の整備、更新を行った。 【高額医療機器】 [足柄上病院] X線透視撮影装置 [こども医療センター] 病理顕微鏡システム タンDEM型質量分析装置 [がんセンター] 高精度放射線治療システム 等 24点（新棟整備に伴う初度備品整備） [循環器呼吸器病センター] 移動型透視用X線撮影装置 【通常医療機器】 [足柄上病院] 内視鏡手術システム 等 [こども医療センター] 分娩監視装置 等 [がんセンター] 自動尿測定装置 等（新棟整備に伴う初度備品整備） [循環器呼吸器病センター] 総合肺機能検査システム 等	実績に対する評価	A	A	
			医療技術の進展に対応していくため、医療機器の整備、更新を計画に基づき実施した。			
			課題	新規に購入した高額医療機器の導入効果について、検証を行う必要がある。		

小項目 2 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
 - (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

ア がんセンターの総合整備の推進
 がんセンターについては、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため、平成25年度中の診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を着実に推進すること。
 また、がんセンターの機能充実を図るため、平成26年度からの治療開始を目指し、重粒子線治療装置の導入を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																								
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																							
<p>(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>都道府県がん診療連携拠点病院として、本県におけるがん医療の中心的な役割を担うため、平成25年度中の新病院開業・診療開始を目指して、PFI事業等による総合整備を計画的に推進する。 また、平成26年度からの治療開始を目指して、重粒子線治療装置の導入を進める。</p>	<p>(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (7) がんセンター総合整備の推進</p> <p>・平成23年度から建設を進めている新病院を平成25年8月に完成させ、11月から診療を開始する。</p> <p>・新病院の開院に合わせ、安全、安心、高度、最新のがん医療を推進し、患者に優しく質の高い医療を提供するため、手術、放射線治療、医療安全に関わる医療機器等を重点的に整備する。</p>	<p>・PFI事業者であるSPCとの運営に関する協議、また、医療機器・備品の調達準備等について、定期的にワーキンググループによる検討を行うとともに、適切な進捗管理により効率良く進めた結果、予定通り平成25年11月に新病院での診療を開始した。</p> <p>・がん患者の増加や診断治療技術の急速な進歩に対応するため、新病院の開院にあわせ、CT、MRI、フローサイトメーター等、機能充実に向けた医療機器等を整備した。</p> <p>【新がんセンターの整備概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>新病院の概要（現病院の概要）</th> <th>整備方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来診察室</td> <td>56室（32室）</td> <td rowspan="4">・外来待ち時間の短縮 ・手術待機患者の減少</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法室</td> <td>50床（24床）</td> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>12室（6室）</td> </tr> <tr> <td>採血ブース</td> <td>8ブース（5ブース）</td> </tr> <tr> <td>放射線治療・検査</td> <td>リニアック4台、PET-CT、MRIなどの最新機器の導入</td> <td>・高度・最新のがん医療（治療・診断・検査）の充実</td> </tr> <tr> <td>内視鏡室</td> <td>6室（4室）</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>無菌病棟</td> <td>30床（20床）</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア病棟</td> <td>20床（14床）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病室</td> <td>4人部屋（6人部屋）</td> <td rowspan="2">・療養環境の改善</td> </tr> <tr> <td>トイレ等完備の個室 119室（72室） デイルーム</td> </tr> <tr> <td>患者支援センター 相談室</td> <td>会計、予約、相談等の窓口一元化等 個室の多数設置</td> <td>・患者に優しく質の高い医療の提供</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 【重粒子線治療施設概要】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>建築面積</td> <td>3,009.12㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>6,999.47㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地上2階、地下1階建</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造</td> </tr> <tr> <td>治療室数</td> <td>4治療室 6治療ポット</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	新病院の概要（現病院の概要）	整備方針	外来診察室	56室（32室）	・外来待ち時間の短縮 ・手術待機患者の減少	外来化学療法室	50床（24床）	手術室	12室（6室）	採血ブース	8ブース（5ブース）	放射線治療・検査	リニアック4台、PET-CT、MRIなどの最新機器の導入	・高度・最新のがん医療（治療・診断・検査）の充実	内視鏡室	6室（4室）		無菌病棟	30床（20床）	緩和ケア病棟	20床（14床）	病室	4人部屋（6人部屋）	・療養環境の改善	トイレ等完備の個室 119室（72室） デイルーム	患者支援センター 相談室	会計、予約、相談等の窓口一元化等 個室の多数設置	・患者に優しく質の高い医療の提供	建築面積	3,009.12㎡	延床面積	6,999.47㎡	階数	地上2階、地下1階建	建物構造	鉄筋コンクリート造	治療室数	4治療室 6治療ポット	<p>実績に対する評価</p> <p>・新病院のSPCによる維持管理・運營業務について詳細な協議を進め、予定どおり開院した。</p> <p>・新病院の開院と合わせて医療機器を整備し、医療機能の向上を推進した。</p>	A	A	<p>PFI方式による運営については、運用上の難しさもあることから、今後、進捗状況を踏まえた対応に取り組んで欲しい。</p>
施設名	新病院の概要（現病院の概要）	整備方針																																											
外来診察室	56室（32室）	・外来待ち時間の短縮 ・手術待機患者の減少																																											
外来化学療法室	50床（24床）																																												
手術室	12室（6室）																																												
採血ブース	8ブース（5ブース）																																												
放射線治療・検査	リニアック4台、PET-CT、MRIなどの最新機器の導入	・高度・最新のがん医療（治療・診断・検査）の充実																																											
内視鏡室	6室（4室）																																												
無菌病棟	30床（20床）																																												
緩和ケア病棟	20床（14床）																																												
病室	4人部屋（6人部屋）	・療養環境の改善																																											
	トイレ等完備の個室 119室（72室） デイルーム																																												
患者支援センター 相談室	会計、予約、相談等の窓口一元化等 個室の多数設置	・患者に優しく質の高い医療の提供																																											
建築面積	3,009.12㎡																																												
延床面積	6,999.47㎡																																												
階数	地上2階、地下1階建																																												
建物構造	鉄筋コンクリート造																																												
治療室数	4治療室 6治療ポット																																												

	<p>・平成27年12月からの重粒子線治療の開始を目指し、建屋の建設工事及び装置製造を行う。</p>	<p>・平成27年12月に予定している重粒子線治療の開始に向け、引き続き建屋の建設及び装置製造を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1359 106 1695 172" style="text-align: center;">課題</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1359 172 1695 513"> <p>重粒子線治療施設の運営に向けて、収支計画や体制整備など様々な課題への検討を進めていく必要がある。</p> </td> </tr> </table>	課題	<p>重粒子線治療施設の運営に向けて、収支計画や体制整備など様々な課題への検討を進めていく必要がある。</p>			
課題								
<p>重粒子線治療施設の運営に向けて、収支計画や体制整備など様々な課題への検討を進めていく必要がある。</p>								

小項目 2 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 質の高い医療の提供
- (2) 医療機器・施設整備の推進

中期目標

イ 精神医療センターの総合整備の推進
 精神医療センターについては、医療観察法等、新たな精神科医療への対応や、建築後約40年経過し老朽化が進んでいること等の課題があることから、
 芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備計画の推進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価									
			自己点数	評価点数	コメント									
(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (イ) 精神医療センター総合整備の推進 医療観察法指定入院医療機関としての病棟整備をはじめ、新たな精神科医療への対応を図るため、芹香病院とせりがや病院の一体化を含めた総合整備を推進する。	(2) 医療機器・施設整備の推進 イ 施設整備の推進 (イ) 精神医療センター総合整備の推進 ・平成26年度中の新病院の開棟に向けて、新棟の建築工事を着実に進める。 ・芹香病院とせりがや病院が一体化した新病院の円滑な運営体制等について、検討を進める。	・精神医療センター総合整備計画に基づき、施設の老朽化や新たな精神科医療への対応、さらには芹香病院とせりがや病院の統合による効率的な病院運営を図るため、平成26年12月の新病院開院に向けて、建築工事を着実に進めた。 ・芹香病院とせりがや病院の統合など新病院の円滑な運営体制について、センター内に設置した総合運営検討会議等で検討を進めた。 【新棟（新病院）の概要】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>病床数</td> <td>8 病棟290床</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>5,570.52㎡</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>18,462.53㎡</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td>鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置</td> </tr> </table>	病床数	8 病棟290床	建築面積	5,570.52㎡	延床面積	18,462.53㎡	建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置	実績に対する評価	A	A	
			病床数	8 病棟290床										
			建築面積	5,570.52㎡										
延床面積	18,462.53㎡													
建物構造	鉄筋コンクリート造 5階建 免震構造、太陽光発電設備を設置													
課題	新病院の開院に向けて建築工事を着実に進めるとともに、新たな精神科医療への対応や芹香病院とせりがや病院の統合による円滑な運営体制等について、検討を進めることができた。													
平成26年12月の開棟に向けて、着実に工事を進めるとともに、思春期病棟をはじめとした新たな精神科医療への対応や病棟などの円滑な運営方法等について検討を進めていく。														

小項目25 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (3) 地域医療連携の強化

中
期
目
標

- (3) 地域医療連携の強化
地域の医療機関と適切な役割分担に基づく連携を図り、県全体として効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																																												
<p>(3) 地域医療連携の強化</p> <p>県全体に効率的な医療を提供するため、高度・専門医療を提供する医療機関として紹介・逆紹介を推進するとともに、地域連携クリティカルパスの充実に取り組む。</p> <p>(参考) 紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>4,528件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>6,772件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>397件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>240件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>4,838件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,613件</td></tr> </tbody> </table> <p>(参考) 逆紹介件数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>3,606件</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>3,450件</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>357件</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>200件</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>1,596件</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,318件</td></tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度実績	足柄上病院	4,528件	こども医療センター	6,772件	芹香病院	397件	せりがや病院	240件	がんセンター	4,838件	循環器呼吸器病センター	3,613件	病院名	平成20年度実績	足柄上病院	3,606件	こども医療センター	3,450件	芹香病院	357件	せりがや病院	200件	がんセンター	1,596件	循環器呼吸器病センター	3,318件	<p>(3) 地域医療連携の強化</p> <p>・各病院において、地域医療機関等との紹介・逆紹介を推進するため、地域連携クリティカルパスの取組、医療従事者向け公開講座（医療セミナー）の開催等により、地域医療連携の強化に取り組む。</p> <p>(参考) [紹介件数の及び紹介率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> <th>紹介件数</th> <th>紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>7,114件</td><td>38.1%</td><td>7,115件</td><td>37.4%</td><td>7,460件</td><td>38.4%</td><td>7,943件</td><td>42.4%</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>7,084件</td><td>95.4%</td><td>7,221件</td><td>95.7%</td><td>7,494件</td><td>96.7%</td><td>7,662件</td><td>97.3%</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>335件</td><td>47.1%</td><td>297件</td><td>52.4%</td><td>322件</td><td>53.8%</td><td>289件</td><td>50.6%</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>260件</td><td>35.4%</td><td>242件</td><td>34.9%</td><td>285件</td><td>38.3%</td><td>256件</td><td>35.7%</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>5,195件</td><td>99.0%</td><td>5,079件</td><td>99.2%</td><td>5,478件</td><td>99.8%</td><td>5,964件</td><td>99.2%</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>4,550件</td><td>71.7%</td><td>4,200件</td><td>69.2%</td><td>4,052件</td><td>70.1%</td><td>4,319件</td><td>69.1%</td></tr> <tr><td>計</td><td>24,538件</td><td>—</td><td>24,154件</td><td>—</td><td>25,091件</td><td>—</td><td>26,433件</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>(参考) [逆紹介件数の及び逆紹介率の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> </tr> <tr> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>逆紹介件数</th> <th>逆紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>足柄上病院</td><td>2,768件</td><td>16.1%</td><td>2,889件</td><td>16.3%</td><td>3,424件</td><td>19.1%</td><td>4,304件</td><td>25.1%</td></tr> <tr><td>こども医療センター</td><td>4,061件</td><td>54.7%</td><td>4,325件</td><td>57.3%</td><td>4,880件</td><td>62.9%</td><td>5,166件</td><td>65.6%</td></tr> <tr><td>芹香病院</td><td>352件</td><td>49.5%</td><td>481件</td><td>84.8%</td><td>351件</td><td>58.7%</td><td>255件</td><td>44.7%</td></tr> <tr><td>せりがや病院</td><td>211件</td><td>28.7%</td><td>220件</td><td>31.7%</td><td>244件</td><td>32.8%</td><td>270件</td><td>37.6%</td></tr> <tr><td>がんセンター</td><td>1,746件</td><td>33.3%</td><td>1,518件</td><td>29.7%</td><td>1,508件</td><td>27.5%</td><td>2,358件</td><td>39.2%</td></tr> <tr><td>循環器呼吸器病センター</td><td>3,279件</td><td>51.7%</td><td>3,730件</td><td>61.4%</td><td>4,244件</td><td>73.4%</td><td>3,982件</td><td>63.7%</td></tr> <tr><td>計</td><td>12,417件</td><td>—</td><td>13,163件</td><td>—</td><td>14,651件</td><td>—</td><td>16,335件</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	足柄上病院	7,114件	38.1%	7,115件	37.4%	7,460件	38.4%	7,943件	42.4%	こども医療センター	7,084件	95.4%	7,221件	95.7%	7,494件	96.7%	7,662件	97.3%	芹香病院	335件	47.1%	297件	52.4%	322件	53.8%	289件	50.6%	せりがや病院	260件	35.4%	242件	34.9%	285件	38.3%	256件	35.7%	がんセンター	5,195件	99.0%	5,079件	99.2%	5,478件	99.8%	5,964件	99.2%	循環器呼吸器病センター	4,550件	71.7%	4,200件	69.2%	4,052件	70.1%	4,319件	69.1%	計	24,538件	—	24,154件	—	25,091件	—	26,433件	—	区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	足柄上病院	2,768件	16.1%	2,889件	16.3%	3,424件	19.1%	4,304件	25.1%	こども医療センター	4,061件	54.7%	4,325件	57.3%	4,880件	62.9%	5,166件	65.6%	芹香病院	352件	49.5%	481件	84.8%	351件	58.7%	255件	44.7%	せりがや病院	211件	28.7%	220件	31.7%	244件	32.8%	270件	37.6%	がんセンター	1,746件	33.3%	1,518件	29.7%	1,508件	27.5%	2,358件	39.2%	循環器呼吸器病センター	3,279件	51.7%	3,730件	61.4%	4,244件	73.4%	3,982件	63.7%	計	12,417件	—	13,163件	—	14,651件	—	16,335件	—	<p>・各病院の機能や地域の状況を踏まえ、質の高い医療を効率的に提供するため、地域の医療機関との連携強化を図り、紹介・逆紹介の充実に努めた。</p> <p>・神奈川県立病院地域医療連携連絡会議を4回開催し、各病院の地域医療連携に関する情報を共有するとともに、連携方策の検討を行った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p>A</p>	<p>地域医療連携について、今後は、紹介率及び逆紹介率など既に記載の目標に加えて、地域の医療の中で県立病院が果たすべき役割を踏まえたあり方について検討していただきたい。</p>
	病院名	平成20年度実績																																																																																																																																																																																															
足柄上病院	4,528件																																																																																																																																																																																																
こども医療センター	6,772件																																																																																																																																																																																																
芹香病院	397件																																																																																																																																																																																																
せりがや病院	240件																																																																																																																																																																																																
がんセンター	4,838件																																																																																																																																																																																																
循環器呼吸器病センター	3,613件																																																																																																																																																																																																
病院名	平成20年度実績																																																																																																																																																																																																
足柄上病院	3,606件																																																																																																																																																																																																
こども医療センター	3,450件																																																																																																																																																																																																
芹香病院	357件																																																																																																																																																																																																
せりがや病院	200件																																																																																																																																																																																																
がんセンター	1,596件																																																																																																																																																																																																
循環器呼吸器病センター	3,318件																																																																																																																																																																																																
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																																																																																																																																																										
	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率	紹介件数	紹介率																																																																																																																																																																																									
足柄上病院	7,114件	38.1%	7,115件	37.4%	7,460件	38.4%	7,943件	42.4%																																																																																																																																																																																									
こども医療センター	7,084件	95.4%	7,221件	95.7%	7,494件	96.7%	7,662件	97.3%																																																																																																																																																																																									
芹香病院	335件	47.1%	297件	52.4%	322件	53.8%	289件	50.6%																																																																																																																																																																																									
せりがや病院	260件	35.4%	242件	34.9%	285件	38.3%	256件	35.7%																																																																																																																																																																																									
がんセンター	5,195件	99.0%	5,079件	99.2%	5,478件	99.8%	5,964件	99.2%																																																																																																																																																																																									
循環器呼吸器病センター	4,550件	71.7%	4,200件	69.2%	4,052件	70.1%	4,319件	69.1%																																																																																																																																																																																									
計	24,538件	—	24,154件	—	25,091件	—	26,433件	—																																																																																																																																																																																									
区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度																																																																																																																																																																																										
	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率	逆紹介件数	逆紹介率																																																																																																																																																																																									
足柄上病院	2,768件	16.1%	2,889件	16.3%	3,424件	19.1%	4,304件	25.1%																																																																																																																																																																																									
こども医療センター	4,061件	54.7%	4,325件	57.3%	4,880件	62.9%	5,166件	65.6%																																																																																																																																																																																									
芹香病院	352件	49.5%	481件	84.8%	351件	58.7%	255件	44.7%																																																																																																																																																																																									
せりがや病院	211件	28.7%	220件	31.7%	244件	32.8%	270件	37.6%																																																																																																																																																																																									
がんセンター	1,746件	33.3%	1,518件	29.7%	1,508件	27.5%	2,358件	39.2%																																																																																																																																																																																									
循環器呼吸器病センター	3,279件	51.7%	3,730件	61.4%	4,244件	73.4%	3,982件	63.7%																																																																																																																																																																																									
計	12,417件	—	13,163件	—	14,651件	—	16,335件	—																																																																																																																																																																																									
<p>課題</p> <p>・今後も各病院の有する特性を踏まえ、地域連携クリティカルパスの運用や退院調整や在宅医療に向けた医療機関との連携強化など、紹介・逆紹介に努める。</p>																																																																																																																																																																																																	

・足柄上病院は、足柄上臨床研究会の開催、地域医療機関への訪問、紹介元医療機関への患者状況の報告等により、地域医療機関との関係づくりを進め、紹介率・逆紹介率の向上に取り組む。

〔足柄上病院の紹介率・逆紹介率の目標値〕

区分	平成25年度目標値
紹介率	45%
逆紹介率	20%

・子ども医療センターは、新たに地域の医療・福祉機関からの相談に対応する「小児がん相談支援室」及び在宅小児がん患者の増加に対応して医療・保健・福祉機関を支援する「退院・在宅医療支援室」を設置し、小児がん拠点病院として地域と連携した在宅患者の支援を強化する取組を行う。

・子ども医療センターの医療ケアが在宅医療に移行後も継続されるように、訪問看護ステーションの看護師の初回訪問時に同行する「退院後訪問看護」を推進するとともに、県内全小児専門訪問看護ステーションを対象とした医療ケア実技研修会を開催するなど、地域医療機関への医療支援を行う。

〔子ども医療センターの退院後訪問看護件数の目標値〕

平成25年度目標値
20件

・精神医療センターは、地域医療機関を対象とした研修、空床情報提供、個別訪問等を行い、地域医療機関との連携強化を図るとともに、関係機関と協力しながら、地域生活が困難な患者を対象とした訪問看護に積極的に取り組む。

・がんセンターは、がん患者の医療連携を推進する新たな取組として、「連携病棟（5床）」を設置する。連携病棟の運用にあたっては、地域ニーズを考慮した医療連携機能をさらに充実する。

〔足柄上病院〕

・急性期治療、地域医療機関はリハビリテーション等の回復期治療を担う医療機関として、連携を進めるとともに、平成25年度は鶴巻温泉病院など3医療機関と「脳卒中地域連携バス」24件を運用した。

・足柄上医師会との足柄上臨床研究会の定期開催や、地域医療機関及び福祉施設等を訪問し、患者状況を報告するなど、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。

〔足柄上病院の紹介率・逆紹介率の実績と目標値〕

区分	平成25年度	
	目標値	実績
紹介率	45%	42.4%
逆紹介率	20%	25.1%

・高度医療機器の共同利用
C T 267件 MR I 92件 計359件

〔子ども医療センター〕

・平成25年4月に「小児がん相談支援室」を設置し、相談窓口、医師、小児看護専門看護師などが、827件の相談に対応した。

また、「退院・在宅医療支援室」を設置し、在宅医療や退院調整に関する相談など1,688件に対応したほか、退院調整専従の看護師をはじめとした多職種が連携したカンファレンスを行い、新生児退院支援計画書及び15歳以上を対象とした退院支援計画書を策定するなど退院調整に努めた。

・訪問看護ステーションの看護師の初回訪問時に同行する「退院後訪問看護」を12回実施したほか、入院看護概要を訪問看護ステーションに提供した。また、地域医療機関の看護職員向け医療ケア実技研修会を6回開催し、74施設、延べ194名が参加するなど、医療ケアが在宅医療以降後も継続できるよう取り組んだ結果、退院した患者の受入対応可能な訪問看護ステーションが、平成24年度の110機関に比べ37機関増の147機関となった。

〔子ども医療センターの退院後訪問看護件数の実績と目標値〕

平成25年度	
目標値	実績
20件	12件

・医療機関、訪問看護ステーションに病院案内パンフレットの送付や、医療従事者向け公開講座の開催及び個別医療機関訪問など地域医療機関との連携強化を図った。

・地域医療支援病院として、登録医療機関の増加を図るため、未登録医療機関に対し、案内を送付した結果、平成24年度末に比べ15医療機関増の386医療機関となった。

	<p>・がんセンターは、電子カルテシステムを利用した地域連携システムを新たに導入し、地域の医療機関との情報共有の深化を図ることにより、安全かつ迅速な医療提供を進める。</p> <p>・がんセンターは、歯科医療連携による口腔ケアを推進し、がん治療の副作用・合併症の予防・軽減、がん患者の生活の向上を図る。</p> <p>・循環器呼吸器病センターは、地域医療支援病院として、CT、MRI等の高度医療機器の地域医療機関との共同利用を推進するとともに、オンライン検査予約システムの情報提供を積極的に行い、登録医療機関の増加を図る。また、地域の医師会等と協力して症例検討会や研修会を実施し、地域の医療従事者との情報交換や相互研鑽を図る。</p> <p>・神奈川県立病院地域医療連携会議において、県立病院間における地域連携に係る課題抽出及び連携方策の検討を行うとともに、他医療機関との役割分担の明確化と連携の強化に取り組む。また、地域医療連携における他医療機関の需要を把握し、その支援を検討していく。</p>	<p>[こども医療センター続き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸引器、吸入器などの在宅医療機器のデモンストラーション機を災害時用のものも含めて整備し、患者の在宅医療移行後の不安の解消に努めた。 <p>[芹香病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療システムの構成団体（県、横浜市、川崎市、相模原市）と連携、協議を行い、精神科救急の受入を推進した。また、診療所等を訪問し、ストレスケア病棟の紹介を行った。 ・かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議（年4回）を継続して主宰し、県内の医療観察法の指定医療機関、保護観察所、サービス事業所、行政機関及び県外関係者等との連携強化を図った。 ・地域移行や地域生活支援のため、地域の保健所やサービス事業所が参加したケア会議の開催や、アウトリーチや精神保健福祉法改正などに関する研修を開催した。 <p>[せりがや病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所等の行政機関との連携協議の実施や、薬物乱用防止教室による普及啓発を小学生から短大生まで実施した。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関と連携して継続した治療を行うため、新たに連携病床を設置し、地域全体における医療機能の充実や医療の質の向上に努めた。 ・新たに電子カルテシステムを活用した地域連携システムを導入し、地域の15の医療機関との診療情報の共有を行うなど、医療提供体制の維持や効率化を図った。 ・地域の歯科医療機関との連携によるがん患者の口腔ケアを68件実施し、歯科治療に努めた。 				
--	--	--	--	--	--	--

		<p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器の共同利用を推進するため、地域医療機関への働きかけを積極的に行い、依頼検査件数は、前年度比190件増の1,000件となった。また、オンライン検査予約が可能な登録医療機関数は、前年度から5機関増え、33機関となった。 <p>高度医療機器の共同利用（依頼検査の実施）</p> <p>CT 606件、MRI 274件、心臓超音波73件</p> <p>他 計 1,000件</p> <ul style="list-style-type: none"> 「肺がん包括診療センター」と「気胸センター」の平成25年度開設にあたり、新規患者を確保するため、医療機関への訪問や講演会等を開催し、診療内容及び診療実績等に係る情報提供等を行うとともに、地域の医師会等と協力して症例検討会を実施した。 				
--	--	--	--	--	--	--

小項目26 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
(4) 臨床研究の推進 ア 臨床研究 (7) がんセンター ・臨床研究所を有するがんセンターについては、研究部門（臨床研究所）と病院部門が連携し、がん医療の分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。 ・神奈川のがん登録事業を継続実施し、協力病院の院内がん登録の整備を進め、登録情報の精度の充実に図る。 （参考）神奈川のがん登録事業の登録件数実績（平成21年度）47,835件	(4) 臨床研究の推進 ア 臨床研究 (7) がんセンター ・臨床研究所研究員とがんセンター臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等とががんの早期発見、治療等についての共同研究を行う。その研究成果については、年度ごとの業績集の発行や成果報告会を開催して報告を行うとともに、英文原著論文発表や学会発表を行う。 【臨床研究に関する目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文論文数</td> <td>20編</td> </tr> <tr> <td>論文インパクトファクターの総和</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数</td> <td>研究員の80%以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成25年度目標値	英文論文数	20編	論文インパクトファクターの総和	40	文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	研究員の80%以上	・臨床研究所研究員と臨床各科の医師あるいは外部機関の研究員等と、がんの早期発見、治療等についての共同研究を行い、その研究成果を業績集の発行や成果報告会により報告するとともに、英文原著論文や学会発表を行った。 【臨床研究に関する実績と目標値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成25年度目標値</th> <th>平成25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文論文数</td> <td>20編</td> <td>34編</td> </tr> <tr> <td>論文インパクトファクターの総和</td> <td>40</td> <td>73.467</td> </tr> <tr> <td>文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数</td> <td>研究員の80%以上</td> <td>研究員の76.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成25年度目標値	平成25年度実績	英文論文数	20編	34編	論文インパクトファクターの総和	40	73.467	文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	研究員の80%以上	研究員の76.9%	実績に対する評価 英文論文数、インパクトファクターについて目標値を上回るなど、がんの診断技法や治療法の開発や臨床応用のための研究を推進した。	S	S	
		区分	平成25年度目標値																							
英文論文数	20編																									
論文インパクトファクターの総和	40																									
文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	研究員の80%以上																									
区分	平成25年度目標値	平成25年度実績																								
英文論文数	20編	34編																								
論文インパクトファクターの総和	40	73.467																								
文部科学省・厚生労働省科学研究費取得件数	研究員の80%以上	研究員の76.9%																								
		・神奈川のがん罹患数及び罹患率を調査するため、神奈川悪性新生物登録事業として県内医療機関の理解と協力を得て地域がん登録を進めた。 （参考）【神奈川のがん登録事業の登録件数実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70,893件</td> <td>70,161件</td> <td>78,665件</td> </tr> </tbody> </table>	平成23年度	平成24年度	平成25年度	70,893件	70,161件	78,665件	課題 今後も積極的に研究に取り組みとともに、「がんワクチンセンター」の設置に向けた体制の整備を推進する必要がある。																	
平成23年度	平成24年度	平成25年度																								
70,893件	70,161件	78,665件																								

・ 神奈川県がん臨床研究・情報機構の運営を通じて、大学等の研究機関及び企業との共同研究等に取り組み、県内の医療水準の向上を図る。

・ 神奈川県がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集・試料提供事業を実施する。

【神奈川県がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値】

平成23年度実績	平成25年度目標値
648件	540件

・ 研究開発段階にある「がんペプチドワクチン」療法について、臨床研究としてワクチンを提供する「がんワクチンセンター(仮称)」の設置に向け、県と協議を進める。

・ 産学公の連携により、がんの臨床研究を促進し、適切ながん情報を患者に提供するため、神奈川県がん臨床研究・情報機構において貴重な研究試料である腫瘍組織の収集を行った。

【神奈川県がん臨床研究・情報機構における腫瘍組織収集の実績と目標値】

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
600件	506件	540件	648件	540件	650件	540件	613件

・ 研究開発段階にあるがんペプチドワクチンについて臨床研究を行う「がんワクチンセンター」の設置に向け、検討を行った。

※論文インパクトファクター（Impact Factor：I F）：

特定のある雑誌に一論文あたり平均何回引用されているかを算出した数値で、論文の影響度を示す指標をいう。

小項目 27 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 1 質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> (4) 臨床研究の推進
-----------------------	---

中期目標	(4) 臨床研究の推進 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
				自己点数	評価点数	コメント
(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における臨床研究の推進 各病院の特性を生かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組む。	(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における臨床研究の推進 ・ ども医療センターは、高い資質を持つ人材を任期付き研究員として採用し、疫学調査や疾患データベースの作成等、小児治験実施医療機関としての実績の向上を目指す。 ・ ども医療センターの豊富な臨床症例を研究活動に生かし、小児医療の質の向上を図るため、横浜市立大学との連携に加え、県内外を問わず、人材の確保・育成、臨床研究の発展に資する大学と新たな連携大学院の協定を締結する。	各病院の特性を活かし、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究に取り組むとともに、論文や学会において発表を行うなど、臨床研究を推進した。 [足柄上病院] ・ 「高度腹膜播種を伴う胃癌に対し長期間化学療法後にサルベージ手術を試行した1例」(外科学会誌)、「THA後のシステム周辺骨折の治療ー特に骨接合術についてー」(関節外科学会誌)などの論文を学会誌に掲載した。 また、「Surgical Apgar Scoreを用いた急性胆嚢炎症例における合併症予測」など学会発表を行った。 [ども医療センター] ・ 任期付研究員を配置し、岡山大学と共同でGAMT欠損症患者の確定診断を国内で初めて行ったほか、マイクロアレイ染色体解析及び次世代シーケンスを駆使した希少難病の遺伝子診断システムの構築に貢献し、その成果を国内学会及び国際学会で発表した。 ・ 横浜市立大学との連携大学院協定に基づき、平成24年度に引き続き医師5人が客員教授として研究活動を行ったほか、医師4人が大学院生として研修し、また、大学院研究生が研修医等として豊富な症例に接するなど、臨床研究の推進に取り組んだ。 さらに、小児医療分野の研究の一層の連携・発展を図るため、平成25年11月に慶應義塾大学医学部・大学院医学研究科と連携協力に関する協定を締結した。	実績に対する評価	S	S	各病院において、特徴ある取組が実施されており、他機関との連携や具体の取組がよく進んでいることが理解できる。

<p>・精神医療センターは、反復性経頭蓋磁気刺激法（r TMS）や鍼灸の精神科医療への応用、物質依存に対する認知行動療法プログラムの研究に取り組む。</p> <p>・循環器呼吸器病センターは、間質性肺炎について、引き続き治験を含め全国規模の臨床試験等に積極的に参加するとともに、一般臨床への還元を図る。また、肺がん分野についても、多施設共同試験や重点開発試験への参加拡大を進め、臨床試験・開発研究を充実させる。</p>	<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューロモデュレーション研究、依存症研究及び東洋医学研究等の臨床研究の充実に努めた。 ・反復性経頭蓋磁気刺激法（r TMS）に関する論文発表や学会発表を行い、「Potentiation on quantitative electroencephalograms following Prefrontal Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation in Patients with Major Depression.（うつ病患者への前頭前野rTMSによる脳波のパワー増強効果）」について、国際学会（世界生物学的精神医学会）で賞を受けた。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究難治性疾患等克服事業の調査研究班とともに間質性肺炎の患者及び家族等を対象とした学習会を開催し、治療法や看護の情報提供とともに臨床研究の成果について報告を行った。 ・高い水準での肺がん医療を提供するため、新規薬剤の開発治験やがん治療専門施設による多施設共同試験等、多数の臨床試験治療を実施した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>今後も各病院における臨床研究の取組を積極的に推進し、新薬開発や適用拡大を図る必要がある。</p>			
---	---	--	--	--	--

小項目 28 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
- (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
- 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
- また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																														
(4) 臨床研究の推進 イ 治験 (7) こども医療センター 厚生労働省から指定された治験拠点医療機関として、他の医療機関と連携して、小児医療の治験に積極的に取り組む。	(4) 臨床研究の推進 イ 治験 (7) こども医療センター ・小児治験ネットワークの拡大・強化等により、他の医療機関と連携した小児医療の治験に取り組む。 ・治験管理システムを活用し、効率化を図り、治験を含む受託研究の拡大を推進する。	・平成25年度の治験受託件数は24件で、うち希少疾病用の医薬品の治験受託件数は3件、うち小児の抗がん剤の治験受託件数は2件、うち国際共同治験は6件であった。 また、国内未承認の医薬品と医療機器に係る医師主導治験を各1件開始した。 なお、治験契約症例数は55件であった。 ・国内32施設が登録する小児治験ネットワークを通じた治験契約を7件受託し、他の医療機関と連携した小児医療の治験に積極的に取り組み、治験の質の向上及び効率化を図るとともに、小児医薬品の早期開発を推進した。 ・治験管理システムを活用し、治験契約ごとの進捗管理の効率化を図ったほか、精度管理の向上に努めた。 ・平成25年9月から事務局職員1名を治験管理室兼務とし、事務機能の強化を図った。	<input type="checkbox"/> 平成24年度と比較して治験受託件数、症例数ともに増加しており、小児領域における難病の治験にあつては全国でも屈指の実績を挙げている。 また、希少疾病用の医薬品や小児の抗がん剤の治験、全国的にも極めて稀である小児に係る医師主導治験を実施しており、医療水準の向上に大きく貢献した。	S	S	全国屈指の取組を進めてきているものである。																														
			課題 小児領域の治験は実施医療機関が限られていることから、さらなる治験受託件数の増加に向けて、治験実施体制の充実が必要である。																																	
			(参考) [治験受託件数及び症例数]		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験受託件数</td> <td>—</td> <td>17件</td> <td>22件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>うち希少疾病用医薬品の治験受託</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>うち小児の抗がん剤の治験受託</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>うち国際共同治験</td> <td>—</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>治験契約症例数</td> <td>41件</td> <td>42件</td> <td>52件</td> <td>55件</td> </tr> </tbody> </table>		区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	治験受託件数	—	17件	22件	24件	うち希少疾病用医薬品の治験受託	—	2件	2件	3件	うち小児の抗がん剤の治験受託	—	—	1件	2件	うち国際共同治験	—	3件	4件	6件	治験契約症例数	41件	42件	52件	55件
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																
治験受託件数	—	17件	22件	24件																																
うち希少疾病用医薬品の治験受託	—	2件	2件	3件																																
うち小児の抗がん剤の治験受託	—	—	1件	2件																																
うち国際共同治験	—	3件	4件	6件																																
治験契約症例数	41件	42件	52件	55件																																

小項目 29 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 1 質の高い医療の提供
 - (4) 臨床研究の推進

中期目標

- (4) 臨床研究の推進
 高度・専門医療を担う県立病院として、調査や臨床研究を推進すること。
 また、各病院のそれぞれの機能を生かして、医薬品等の新規承認や適用拡大に寄与するため治験を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																										
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																										
(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における治験の推進 新薬の開発等に貢献し、治療の効果及び安全性を高めるため、各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。 (参考) 治験実施状況 (平成20年度) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>治験受託件数</th> <th>受託研究件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>8件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>13件</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>28件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>22件</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	治験受託件数	受託研究件数	足柄上病院	8件	14件	こども医療センター	13件	60件	芹香病院	1件	0件	がんセンター	28件	47件	循環器呼吸器病センター	22件	38件	(4) 臨床研究の推進 (イ) その他の病院における治験の推進 ・各病院の特性及び機能を生かして治験を推進する。 ・がんセンターは、治験管理システムを活用し、効率化を図り、治験を含む受託研究の拡大を推進する。 (参考) [治験実施状況] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">治験受託件数</th> <th colspan="4">受託研究件数</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12件</td> <td>12件</td> <td>12件</td> <td>11件</td> <td>44件</td> <td>42件</td> <td>40件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>15件</td> <td>17件</td> <td>22件</td> <td>24件</td> <td>64件</td> <td>63件</td> <td>62件</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>9件</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>7件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>37件</td> <td>43件</td> <td>47件</td> <td>59件</td> <td>46件</td> <td>50件</td> <td>58件</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>29件</td> <td>42件</td> <td>46件</td> <td>40件</td> <td>39件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>101件</td> <td>110件</td> <td>118件</td> <td>143件</td> <td>200件</td> <td>195件</td> <td>199件</td> <td>185件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	治験受託件数				受託研究件数				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	12件	12件	12件	11件	44件	42件	40件	38件	こども医療センター	15件	17件	22件	24件	64件	63件	62件	53件	芹香病院	9件	8件	8件	7件	0件	0件	0件	0件	がんセンター	37件	43件	47件	59件	46件	50件	58件	55件	循環器呼吸器病センター	28件	30件	29件	42件	46件	40件	39件	39件	計	101件	110件	118件	143件	200件	195件	199件	185件	各病院の特性及び機能を生かし、新薬の開発等に寄与し、治療の効果及び安全性を高めるための治験を推進した。 [足柄上病院] ・抗がん剤や肺高血圧症治療薬などの医薬品について治験や受託研究に取り組んだ。 [芹香病院] ・統合失調症患者及びうつ患者を対象とした投与試験を実施した。 [がんセンター] ・治験の領域別では乳がん11件、肝細胞がん9件、肺がん9件、胃がん7件など治験契約件数計59件を実施し、登録症例数累計では延べ311件の実績となった。 また、平成24年度からホームページに実施中の治験を掲載し、治験を希望する患者及び治験依頼者の医療機関選定に対して情報提供を行った。 ・治験管理システムを活用した治験の情報の共有化や進捗管理を行ったことにより、職員の事務の効率化を推進するなど、安全な治験の実施や治験受託件数の拡大を図った。 [循環器呼吸器病センター] ・肺がん包括診療センターの取組を外部に発信し、抗がん剤の治験受託件数の増加を図った。	実績に対する評価 各病院が治験受託件数の増加に積極的に取り組んだ結果、治験受託件数が増加するなど、適切かつ円滑に治験を実施した。	A	A	治験受託件数及び受託研究件数については、件数以外の数値目標も検討する必要がある。
	病院名	治験受託件数	受託研究件数																																																																																												
	足柄上病院	8件	14件																																																																																												
こども医療センター	13件	60件																																																																																													
芹香病院	1件	0件																																																																																													
がんセンター	28件	47件																																																																																													
循環器呼吸器病センター	22件	38件																																																																																													
区分	治験受託件数				受託研究件数																																																																																										
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																																							
足柄上病院	12件	12件	12件	11件	44件	42件	40件	38件																																																																																							
こども医療センター	15件	17件	22件	24件	64件	63件	62件	53件																																																																																							
芹香病院	9件	8件	8件	7件	0件	0件	0件	0件																																																																																							
がんセンター	37件	43件	47件	59件	46件	50件	58件	55件																																																																																							
循環器呼吸器病センター	28件	30件	29件	42件	46件	40件	39件	39件																																																																																							
計	101件	110件	118件	143件	200件	195件	199件	185件																																																																																							
課題 各病院において、医薬品等の新規承認や適用拡大に向けた治験を推進するため、治験実施体制の充実及び治験契約件数の増加を図る必要がある。																																																																																															

小項目 30 業務実績報告（自己評価）

＜評価の大項目＞

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

中期目標

- 2 安全で安心な医療の提供

患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、看護体制を整備するとともに、医療安全対策や感染症対策、災害対策等を推進すること。

 - (1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備

県立病院が担う安全で安心な医療を支えるため、医療体制を整備するとともに、各病院の基本的な機能を踏まえた手厚い看護の実施に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>2 安全で安心な医療の提供 看護体制の整備、医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、安全で安心な医療を提供する。</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な医療を支えるため、子ども医療センターにおいて感染制御室を設置する等、医療体制を整備するとともに、医療機器の整備を行う。 ・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。 	<p>2 安全で安心な医療の提供</p> <p>(1) 安全で安心な医療を支える医療体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院において、院内感染対策チーム、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、移植後患者サポートチーム等の多職種で構成するチームの活動により、患者支援の充実を図る。 ・褥瘡発生防止体制の整備及び症例検討を通じた褥瘡ケアの技術水準の向上に取り組むなど、各県立病院の特性及び機能を生かした褥瘡対策を推進する。 ・子ども医療センターは、訪問看護ステーション向け医療ケア実技研修会などの場で地域の医療機関に対し、小児の褥瘡防止に関する情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院において、様々な多職種チームによる患者支援の取組を行うとともに、褥瘡については、対策会議や研修会の開催をはじめとして、褥瘡患者の治療並びに防止対策の実施及びその評価を行う仕組みを構築している。 ・子ども医療センター、がんセンター及び循環器呼吸器病センターが連携した医療機器の保守点検のノウハウの共有化に取り組んだ。 ・看護師確保対策として、看護師採用試験を毎月実施し、また、採用活動へとつなげていくことを目的としてフェイスブックを活用し、病院のタイムリーな情報を全国的に発信した。 ・各病院の取組は次のとおりである。 <p>[足柄上病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回褥瘡リンクナース会議を開催し、褥瘡リスクの保有、発生状況の分析等を行い、早期治癒に向けた検討を行うとともに、褥瘡対策会議を開催した。 <p>[子ども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児病院の特性で胃ろうの患者が増加傾向にあることから、NSTでは胃ろうから「食べる」ミキサー食注入に積極的に取り組み、マニュアル本「胃ろうからミキサー食注入のすすめ」を刊行した。 ・褥瘡診療部会及び診療ケア部会を各月1回開催した。 ・点滴シーネの褥瘡発生防止のため、3日に1回のシーネの当て直し又は交換の徹底及び皮膚観察の強化を図った。また、重症心身障害児施設では、枕にかかる体圧を測定し、枕の置き方の工夫などの褥瘡発生予防策を講じた。 	<p>実績に対する評価</p> <p style="font-size: 24px;">A</p>	<p style="font-size: 24px;">A</p>	<p>各病院において、現場に即した取組がされており、評価できる。</p>	

・がんセンターは、褥瘡回診を毎週行い、初期での褥瘡発見により患者の苦痛軽減を図るとともに、定期的な褥瘡勉強会を開催する。

・循環器呼吸器病センターにおける7対1看護体制の取得など、安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、看護師採用試験の毎月実施、フェイスブックの活用など、看護師の確保に取り組む。

[こども医療センター続き]

・訪問看護ステーション向け医療ケア実技研修会を開催(参加者24名)し、小児の褥瘡防止に関する情報を発信したほか、褥瘡管理者が他病院の褥瘡対策会議に出席し、褥瘡ケア指導を実施した。

[芦香病院]

他の病院の皮膚・排泄ケア認定看護師に褥瘡ケア・褥瘡対策会議のコンサルテーション・勉強会を依頼するとともに、ケア用品を導入して褥瘡の治癒、改善に繋げた。

また、褥瘡マニュアルを作成した。

[せりがや病院]

褥瘡対策部会、会議において褥瘡の発生状況の確認を行い、より効果的な褥瘡発生予防対策について検討し、実施した。

[がんセンター]

・定期的な褥瘡対策チームによる回診を137回実施するとともに、勉強会などにより褥瘡の早期発見や予防対策の啓発に努めた。

・体圧分散寝具内蔵の手術台を設置したことにより、手術領域における褥瘡の発生を防止した。

・職員に対し医療安全フォーラムの開催や褥瘡に関する広報活動を行った。

・体位変換枕、姿勢安定枕、座面クッション及びエアーマットを整備するとともに、体圧分散性能を持つマットレスを全病床分を整えた。

[循環器呼吸器病センター]

・褥瘡防止対策会議のメンバーを中心に定期的にラウンドを行い、褥瘡の発生予防や悪化防止に努めた。

・院内で開催した安全フォーラムにおけるスキンケア製品、体圧分散寝具等の展示や、ラウンド時の外部専門家による実地指導などにより、職員の知識、技術の向上を図った。

課題

引き続き、安全で安心な医療の提供のため、褥瘡発生状況の検証を行うなど、より効果的な褥瘡発生予防対策の取組を推進していく。

(参考) [褥瘡患者発生率]

区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	分子	分母	測定値	分子	分母	測定値	分子	分母	測定値
	新規褥瘡発生患者数(新規褥瘡発生件数※)	入院患者数(延べ入院患者数※)	褥瘡発生率	新規褥瘡発生患者数(新規褥瘡発生件数※)	入院患者数(延べ入院患者数※)	褥瘡発生率	新規褥瘡発生患者数(新規褥瘡発生件数※)	入院患者数(延べ入院患者数※)	褥瘡発生率
足柄上病院	76件	5,960人	1.28%	61件	6,384人	0.96%	83件	6,396人	1.30%
こども医療センター	102件	127,883人	0.08%	122件	126,949人	0.10%	163件	129,030人	0.13%
芦香病院	6件	2,974人	0.20%	8件	2,887人	0.28%	8件	3,127人	0.26%
せりがや病院	1件	359人	0.28%	0件	426人	0.00%	0件	349人	0.00%
がんセンター	78件	10,833人	0.72%	114件	11,905人	0.96%	93件	12,017人	0.77%
循環器呼吸器病センター	29件	4,238人	0.68%	37件	4,322人	0.86%	30件	4,396人	0.68%

※こども医療センターのみ、分子は新規褥瘡発生件数、分母は延べ入院患者数

小項目 3 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (2) 医療安全対策の推進

中期目標

医療事故を未然に防止し、患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																															
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																														
<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>医療事故対応マニュアルの充実、医師、看護師等の研修の充実、医療安全会議の開催、インシデント・アクシデントレポートの活用、医療事故の公表等、総合的な医療安全対策を推進する。</p> <p>(参考) インシデント・アクシデント発生件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>6,574件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>773件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,347件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度	インシデント	6,574件	アクシデント	773件	計	7,347件	<p>(2) 医療安全対策の推進</p> <p>・各病院の医療安全推進室が中心となり、ヒヤリ・ハット事例（特にレベル0の事象）の報告のさらなる徹底を図るとともに、医療安全会議等を活用し、院内で発生した医療事故の発生原因や未然に防げた事例の分析を行い、その対策を共有化することにより、安全・安心な医療の実現に努める。</p> <p>・医療に関する苦情、相談、事故後の初期対応の際に、円滑な対応ができるよう、患者と医療従事者の対話を促進し、信頼関係構築の支援を行う医療メディエーター（医療対話仲介者）の養成を行う。また、医療に関する裁判外紛争処理制度の検討を行う。</p> <p>・医療安全推進会議等で、全県立病院共通の医療安全対策の取組を検討し、重大事故の未然防止を図る。</p>	<p>・ヒヤリ・ハット事例、医療事故件数は、レベル0及びレベル1の増により、総数が前年度対比で増加したが、患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた事例（レベル4）や、患者が死亡する事例（レベル5）については、3年連続で発生はなかった。</p> <p>・医療安全対策ワーキンググループを5回開催（4月、5月、7月、10月、1月）し、各県立病院の医療事故等の事例報告、事故防止策、再発防止策を確認、検討し共有した。</p> <p>・院内での苦情、相談や事故後の初期対応への円滑な対応に関して、院内ADRの検討を行うため、平成25年5月に神奈川県立ADR検討会議を新たに設置し、会議を3回開催（7月、11月、2月）するとともに、研修を実施するなど、医療安全の一層の充実・強化に取り組んだ。</p> <p>研修日程 平成26年2月26日、27日 参加者 28名</p> <p>(参考) [ヒヤリ・ハット事例、医療事故のレベル別発生件数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ヒヤリ・ハット事例</td> <td>0</td> <td>1,150件</td> <td>1,128件</td> <td>1,273件</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5,611件</td> <td>5,899件</td> <td>6,065件</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>810件</td> <td>760件</td> <td>733件</td> </tr> <tr> <td>3a</td> <td>100件</td> <td>159件</td> <td>157件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">医療事故</td> <td>3b</td> <td>22件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,693件</td> <td>7,958件</td> <td>8,242件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1,128件	1,273件	1	5,611件	5,899件	6,065件	2	810件	760件	733件	3a	100件	159件	157件	医療事故	3b	22件	12件	14件	4	0件	0件	0件	5	0件	0件	0件	計	7,693件	7,958件	8,242件	<p>実績に対する評価</p> <p>・神奈川県立ADR検討会議を新たに設置し、会議の開催や研修の実施などにより、医療安全対策を推進した。</p> <p>・レベル0及びレベル1の報告件数が増加しており、どのような小さなことでも報告を行う意識付けや、報告しやすい環境を整えたことにより、医療安全への意識が向上し、積極的な報告に繋がった。</p>	A	A	<p>ヒヤリ・ハット事例について、レベル0及びレベル1の件数が上がってきたことは、以前は報告されなかったものが、意識が高まり上がってきたものと理解でき、必要なことを報告しやすい良い環境を整えてきた結果である。</p> <p>報告のあったことに対して、今後、どのように対応するかを検討することが大切である。</p>
区分	平成20年度																																																			
インシデント	6,574件																																																			
アクシデント	773件																																																			
計	7,347件																																																			
区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																	
ヒヤリ・ハット事例	0	1,150件	1,128件	1,273件																																																
	1	5,611件	5,899件	6,065件																																																
	2	810件	760件	733件																																																
	3a	100件	159件	157件																																																
医療事故	3b	22件	12件	14件																																																
	4	0件	0件	0件																																																
	5	0件	0件	0件																																																
計	7,693件	7,958件	8,242件																																																	

(参考) [医療安全に関する会議及び研修の実績]

平成25年度	医療安全 会議	リスクマネ ジャー会議	医療安全に 関する研修
	回数	回数	参加者数
足柄上病院	12回	12回	2,007人
こども医療センター	12回	6回	2,279人
芹香病院	12回	12回	951人
せりがや病院	11回	11回	195人
がんセンター	12回	12回	1,602人
循環器呼吸器病センター	11回	11回	1,399人
計	70回	64回	8,433人

[足柄上病院]

・有害事象・合併症報告について検討し、報告の目的・報告項目を明確にするとともに、e Power/CLIP（インシデント報告分析支援システム）の運用を開始した。

・薬剤の患者誤認防止対策として、点滴ラベルにチェックボックスを作成し6 R（正しい患者・正しい薬剤・正しい時間・正しい量・正しい経路・正しい速度）を確認しながら、チェックを実施するように周知をした。

・検体容器の適正管理について、医療安全巡回をし、適正な定数管理・期限の表示など改善提案を行った。

[こども医療センター]

・投与量が幅広い小児に対し、抗菌剤溶解基準を定め溶解濃度を標準化した。これにより薬剤量と薬液量が統一され、抗菌剤の過剰投与事故の防止につながった。

・重大医療事故につながる可能性のある警鐘事例を選定し、関連セクションへ再発防止策の検討と文書化を働きかけ、会議などを通じて周知を図った。

[精神医療センター]

・「デイケアの事故対策マニュアル」、「作業療法科事故対策マニュアル」の事故発生時の対応を見直すとともに、緊急時に速やかな対応ができるよう院内に周知した。また、誤嚥・窒息予防をテーマに栄養管理科と協力し、体験形式の事故防止研修会を開催し、食事場面と日常での患者支援についての学習会を行った。

・事故の再発防止のため、作業療法時に使用する折りたたみ式の机の開閉について職員のみが行うことや、転倒による受傷防止のための窓枠の保護などの安全対策を実施した。

課題

・今後も医療安全会議の開催やヒヤリ・ハット事例の分析などにより、医療事故の未然防止に努める必要がある。

・院内ADRの体制を整備する必要がある。

		<p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none">・患者誤認防止対策を強化するため、入院患者における放射線検査時にもバーコード認証システムを導入した。また、習慣的に行ってきた診察券の預かりを外来・病棟ともに廃止した。・医療安全研修は必須研修を2回実施することにより、全職員が同じテーマで研修を受講できるよう計画し、職員の受講機会を増やすことにつながった。また、ワーキングでは複数の職種を混じえ検討できるよう調整した。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none">・高侵襲な検査・治療・処置場面において、同意書の不備や処置部位の間違いをなくすことを目的に、手術時と同様に『タイムアウト確認書』により関係者（患者・医師・看護師・検査技師等）全員が一斉に手を止めて、確認事項の声出し・指差しにより確認を行うこととするよう定めた。				
--	--	--	--	--	--	--

小項目 3 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 2 安全で安心な医療の提供
- (3) 感染症対策の強化

中期目標

院内感染防止対策を強化するとともに、感染管理体制を充実することにより、感染症に関する取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>(3) 感染症対策の強化</p> <p>・院内感染防止対策を強化するため、感染防止会議の開催による対策の徹底や、新型インフルエンザの発生等を踏まえた院内感染防止マニュアルの見直しに取り組む。</p> <p>・新型インフルエンザ等の診療・治療を行うため、各病院の特性及び機能を生かした感染症に関する取組を推進する。</p>	<p>(3) 感染症対策の強化</p> <p>・神奈川県立病院感染防止対策会議で、感染症対策の共通課題を分析し、全県立病院標準マニュアルを作成する。また、感染管理教育の仕組み、方法等を検討する。</p> <p>・各病院において、感染防止会議の開催による対策の徹底、院内感染防止マニュアルの見直し等の取組を引き続き行う。</p> <p>・小児感染症、医療関連感染（BSI、SSI等）の発生状況を把握し、発生予防と拡大防止のための院内感染防止対策を強化する。</p> <p>・院内感染防止対策の強化を図るため、他の医療機関と連携した感染防止対策に関する合同カンファレンスを開催、参加するなどの取組を推進する。</p> <p>・子ども医療センターは、院内感染について各病棟、各診療科の検出菌の傾向及び耐性化状況を分析し、抗菌薬の適正使用などの感染症対策を強化する。</p>	<p>・神奈川県立病院感染防止対策会議を4回実施し、県立病院が共通した感染対策マニュアルの作成や、感染管理教育の仕組み、方法等について検討した。 また、感染防止対策会議専用のホームページを利用し、会議委員である各病院の感染管理者同士の迅速な情報共有や連携に努めた。</p> <p>・各病院において、院内ラウンドや研修会、また会議等の実施により、情報共有や職員の感染防止に対する意識の向上に努めるなど、発生防止や拡大防止策の強化に努めた。</p> <p>[足柄上病院、子ども医療センター、がんセンター、循環器呼吸器病センター]</p> <p>・各県立病院間の相互評価ラウンドを行い、特に子ども医療センター及びがんセンターにおいて、県立病院以外の病院との間で実施するなど、積極的に感染防止対策を推進した。</p> <p>・他の医療機関と連携した合同カンファレンス等を実施し、感染対策の情報共有、手指衛生サーベイランス等の取組を推進した。</p> <p>[子ども医療センター、がんセンター、循環器呼吸器病センター]</p> <p>・小児感染症、医療関連感染（BSI・SSI等）を把握し、院内ラウンドや抗菌剤の適正使用などの対策を実施した。</p> <p>[足柄上病院、子ども医療センター、循環器呼吸器病センター]</p> <p>・風疹の流行に対し、職員等の抗体値検査とワクチン接種を行い、院内感染の拡大防止に努めた。</p> <p>[子ども医療センター]</p> <p>・MRSAの保菌状況の把握を毎週行い、検出率の高い病棟にあつては感染対策の見直し、徹底を図った。また、診療科別の対応として、抗菌薬の使用届の提出の徹底を図り、主治医とのカンファレンスを行い、抗菌薬の適正使用を推進した。</p>	実績に対する評価	A	A	
			<p>・神奈川県立病院感染防止対策会議において、県立病院が共通した標準マニュアルを作成し、県立病院全体の感染防止対策を強化した。</p> <p>・子ども医療センター及びがんセンターにおいて県立病院以外の病院との間で相互評価ラウンドを行うなど、他病院と連携した感染防止対策を推進した。</p>			

(参考) [院内感染防止会議の開催実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	12回	12回	12回	12回
こども医療センター	11回	11回	12回	12回
芹香病院	11回	12回	12回	12回
せりがや病院	12回	12回	11回	11回
がんセンター	12回	12回	14回	12回
循環器呼吸器病センター	11回	12回	16回	11回
計	69回	71回	77回	70回

(参考) [感染症防止院内研修の開催実績]

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	10回	14回	20回
こども医療センター	7回	7回	5回
芹香病院	3回	3回	3回
せりがや病院	3回	3回	3回
がんセンター	19回	13回	12回
循環器呼吸器病センター	15回	16回	12回
計	57回	56回	55回

課題

今後も院内感染防止マニュアルの見直しや他病院との連携強化など、感染防止対策の取組みを推進していく。

小項目 3 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (4) 災害対策の推進

中期目標

災害発生等における災害医療拠点病院及び地域における災害時医療を担う病院としての役割を果たすこと。
また、災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			自己点数	評価点数	コメント																						
<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・災害発生等に備えて、医薬品等を備蓄するとともに、定期的に防災訓練等を実施する。また、大規模災害発生時に病院機能を確保、維持するため、建物の耐震化整備に努める。</p> <p><small>(参考) 防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,630人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時には、神奈川県地域防災計画の個別計画である神奈川県医療救護計画に基づき、県立病院救護班を編成し、被災地等に派遣する。特に、災害医療拠点病院である足柄上病院は、災害時の患者の受入れ等、県西地域医療圏における災害医療救護の中心的役割を担う。</p>	区分	平成20年度	防災訓練実施回数	14回	防災訓練参加者数	2,630人	<p>(4) 災害対策の推進</p> <p>・各病院で、災害発生時等に病院機能を確保、維持できるよう医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、施設の点検及び更新、定期的な防災訓練等を実施する。</p> <p>・がんセンターは、免震構造の新病院を11月に開棟する。</p> <p>・精神医療センターは、平成26年度中の新病院の開棟に向けて、免震構造による建物の建築工事を進める。</p> <p>・神奈川県における災害対策基本法等に規定する指定地方公共機関として、災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班を編成し、被災地等へ派遣する。</p>	<p>・各病院において、災害発生時に備え医薬品等を備蓄するとともに、防災訓練を実施した。</p> <p><small>(参考) [防災訓練実施回数及び防災訓練参加者数の実績]</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練実施回数</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>14回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>防災訓練参加者数</td> <td>2,316人</td> <td>1,649人</td> <td>1,537人</td> <td>1,442人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院]</p> <p>・DMAT体制強化のため、平成25年11月に新たに隊員1名を養成したほか、厚生労働省主催の広域医療搬送訓練に参加するなど実践的な訓練を実施した。(DMAT訓練)</p> <p>広域医療搬送訓練(和歌山) 平成25年8月 DMAT関東ブロック訓練(神奈川) 平成25年9月 ビッグレスキューかながわ 平成25年9月</p> <p>・DMAT活動に必要な医療機器として、携帯型超音波診断装置、自動体外式除細動器等4機器を整備した。</p> <p>・地域住民に対しDMATの役割や活動等について講演を行った。</p> <p>・県西地域の災害医療拠点病院として災害時対応の強化を図り、例年実施している防災訓練のほか、机上訓練を平成25年6月及び10月に実施した。また、発災初動時の行動指標(アクションカード)を各セクション毎に新たに作成し、訓練を通して見直しを行うとともに、初動時の行動について全職員への周知徹底を図った。</p>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	防災訓練実施回数	12回	14回	14回	15回	防災訓練参加者数	2,316人	1,649人	1,537人	1,442人	<p>実績に対する評価</p> <p>・各病院において、災害発生時に備え医薬品等を備蓄するとともに、様々な状況を想定した防災訓練を実施するなど、より効果的な防災訓練に取り組んだ。</p> <p>・足柄上病院は、神奈川DMAT指定病院及び災害医療拠点病院として、発災時の初動確認の訓練を行うとともに、国や関東ブロックレベルでの災害訓練に参加するなど、DMAT隊員の実践的な訓練を通して、大規模災害時等の発生に迅速かつ的確な対応ができる体制の強化に取り組んだ。</p>	A	A	<p>BCP(事業継続計画)を作成した場合は、ホームページ上で公開してもらえると、各病院は検討の際の参考になるので、その方向での対応を検討されたい。</p> <p>また、防災訓練の参加者数が減少してきているのは、より有効な訓練方法を検討し、対象者を限定したためであり、理解できる。</p>
区分	平成20年度																										
防災訓練実施回数	14回																										
防災訓練参加者数	2,630人																										
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																							
防災訓練実施回数	12回	14回	14回	15回																							
防災訓練参加者数	2,316人	1,649人	1,537人	1,442人																							

	<p>・足柄上病院は、神奈川県DMAT指定病院（平成25年2月県指定）として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMATを被災地に派遣し、トリアージや治療等の医療支援活動を行う。</p> <p>・足柄上病院は、県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時を想定した患者の受入れ訓練等を実施する。</p>	<p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定防災訓練、転入職員対象防災訓練といった目的や対象を明確にした防災訓練を実施した。 ・また、訓練内容も出火場所を秘匿とするなど、より実践的な訓練とした。 <p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出火時により迅速に情報伝達ができるように防災マニュアルを改定するとともに、改定したマニュアルに沿って防災訓練（芦香病院2回、せりがや病院2回）を実施し、検証を行った。 ・平成26年12月の新病院の開棟に向け、免震構造による建物の建築工事を進めた。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年11月に免震構造の新病院を開棟した。 ・がんセンター職員とSPC職員の合同による、スプリンクラー誤作動に対するバルブ閉鎖動作確認などの実技訓練を実施した。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合訓練、夜間想定訓練を各1回いずれも状況付与型訓練として実施した。特に総合訓練については、事前に各部署によるアクションカードの作成やワーキンググループでトリアージの実施方法の具体的な検討を行うなど、実効性のある訓練に取り組んだ。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、災害時に病院機能を確保、維持するための施設整備を推進するとともに、より実践的で実用的な防災訓練の実施を行う必要がある。 ・足柄上病院は、災害医療拠点病院として、災害発生時に迅速かつ的確に活動できるよう、連絡体制の整備や関係機関と連携した取組を推進していく必要がある。 			
--	--	---	---	--	--	--

小項目 3 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 2 安全で安心な医療の提供
 - (5) 情報セキュリティの強化

中期目標

個人情報の保護を徹底するため、情報システムにおけるセキュリティ対策を強化すること。
また、職員に対して情報セキュリティの必要性を周知徹底する等、個人レベルでの情報セキュリティのために必要な取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			自己点数	評価点数	コメント																												
(5) 情報セキュリティの強化 ・情報システムにおける個人情報漏えいを防ぐため、ネットワーク、電子メールサーバー等の情報基盤の整備に併せて、ウイルスチェック、不正アクセス対策を講じる等、セキュリティの向上を図る。 ・職員からの個人情報漏えいを防ぐため、情報セキュリティ研修の実施等、個人レベルでの情報セキュリティの意識を啓発する取組を進める。	(5) 情報セキュリティの強化 ・人事給与システムをはじめとした業務システム等の利用基盤となる、本部事務局及び各病院を結ぶ情報ネットワークの運用にあたり、セキュリティ対策を行う。 ・各所属に設置するファイルサーバのデータのバックアップを自動的に取得するとともに、定期的に遠隔地に保管する。 ・情報セキュリティポリシーに対する理解を深めるとともに、日常業務における情報管理のポイントや注意事項を周知するため、職員を対象に情報セキュリティ研修を実施する。	・神奈川県立病院機構独自のネットワークについて、ネットワークへの接続は予め登録した共通利用パソコン等に制限し、また、ウイルス対策ソフトは、常に最新の情報に更新するなど、セキュリティ対策を講じている。 ・災害等によるデータ損失を防止するため、各所属に設置したファイルサーバのデータ及び人事給与システム、財務会計システムのバックアップを自動取得するとともに、遠隔地への保管を引き続き実施している。 ・情報セキュリティポリシーに対する理解を深めるため、新採用及び転入職員、また、各所属においても情報セキュリティ研修を実施し、日常業務における情報管理、セキュリティ対策のポイントや注意事項を説明した。 (参考)「情報セキュリティ研修参加者数の実績」 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月5日</td> <td>新採用職員・転入職員向け</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>10月15日</td> <td>本部事務局</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>12月17日</td> <td>こども医療センター</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>1月16日</td> <td>足柄上病院</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>1月20日</td> <td>こども医療センター</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>2月5日</td> <td>精神医療センター</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>2月20日</td> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>570人</td> </tr> </tbody> </table> ・新たに幹部職員を対象として、情報セキュリティに関する研修を開催した。	実施日	対象	参加者数	4月5日	新採用職員・転入職員向け	231人	10月15日	本部事務局	26人	12月17日	こども医療センター	100人	1月16日	足柄上病院	65人	1月20日	こども医療センター	84人	2月5日	精神医療センター	38人	2月20日	循環器呼吸器病センター	26人		計	570人	実績に対する評価 ・情報ネットワークの運用にあたり、接続の制限及びウイルス対応ソフトを最新の状態に更新するなど、適切なセキュリティ対策を図った。 ・幹部職員向け情報セキュリティ研修を行うなど、情報セキュリティポリシーや情報管理について職員の意識向上を図った。	A	A	
			実施日	対象	参加者数																												
4月5日	新採用職員・転入職員向け	231人																															
10月15日	本部事務局	26人																															
12月17日	こども医療センター	100人																															
1月16日	足柄上病院	65人																															
1月20日	こども医療センター	84人																															
2月5日	精神医療センター	38人																															
2月20日	循環器呼吸器病センター	26人																															
	計	570人																															
			課題 情報ネットワークは病院運営を支える重要なシステムであるため、増加するコンピューターウイルスや情報漏えいなどの問題について、状況に対応した最新のセキュリティ対策を講じていく必要がある。																														

小項目 3 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 患者の視点に立った病院運営

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。

また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																		
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																		
<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>患者との相互理解を深める取組や病院、医療情報の提供、患者の利便性の向上を図る取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った病院運営を進める。</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・患者、家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進するとともに、クリティカルパスの適用範囲を拡大する。</p> <p><small>(参考) クリティカルパスの作成件数実績</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	48件	こども医療センター	22件	芹香病院	1件	がんセンター	23件	循環器呼吸器病センター	18件	<p>3 患者の視点に立った病院運営</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>・診療計画書を利用して治療内容を説明する等、患者への十分な説明と同意による医療（インフォームドコンセント）を推進する。</p> <p>・各病院においてクリティカルパスの適用拡大を推進する。</p>	<p>各病院において、患者及び家族が治療内容を理解した上で診療を受けられるよう、インフォームドコンセントを推進するとともに、質の高い医療を計画的に提供できるよう、クリティカルパスの実施状況を確認し、新規作成や見直しを行うなど、適用範囲の拡大に努めた。</p> <p><small>(参考) [クリティカルパスの件数実績]</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">平成22年度</th> <th rowspan="2">平成23年度</th> <th rowspan="2">平成24年度</th> <th colspan="4">平成25年度</th> <th rowspan="2">件数</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>改定(見直し)</th> <th>廃止</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>66件</td> <td>70件</td> <td>71件</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>3件</td> <td>73件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>28件</td> <td>29件</td> <td>89件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>88件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>50件</td> <td>32件</td> <td>37件</td> <td>10件</td> <td>13件</td> <td>0件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> <td>20件</td> <td>21件</td> <td>3件</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>167件</td> <td>157件</td> <td>225件</td> <td>25件</td> <td>37件</td> <td>12件</td> <td>238件</td> </tr> </tbody> </table> <p>[足柄上病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> クリティカルパス検討会議を7回開催し、平成25年度に「大腸内視鏡・粘膜切除」など新規のクリティカルパス5件を作成するとともに、「内視鏡的逆行性胆管膵管造影」等11件の見直しを行った。 <p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> クリティカルパス検討会議を2回開催し、「1泊2日用斜視手術パス」など5件作成した。 	病院名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度				件数	新規	改定(見直し)	廃止		足柄上病院	66件	70件	71件	5件	11件	3件	73件	こども医療センター	28件	29件	89件	5件	4件	6件	88件	芹香病院	3件	3件	3件	1件	0件	0件	4件	せりがや病院	2件	3件	4件	1件	2件	0件	5件	がんセンター	50件	32件	37件	10件	13件	0件	47件	循環器呼吸器病センター	18件	20件	21件	3件	7件	3件	21件	計	167件	157件	225件	25件	37件	12件	238件	実績に対する評価	A	A	<p>各病院において、クリティカルパス検討会議での適用状況の確認や、新規作成及び見直しを図るなど適用範囲の適正化を図り、治療内容の標準化を推進した。</p> <p>クリティカルパス検討会議等において、クリティカルパスの適用状況の確認及び見直しなどを行っていることは評価できる。</p> <p>なお、クリティカルパスについては、参考値として、新規入院患者に対する適用率も示して欲しい。</p>
	病院名	平成20年度																																																																																					
足柄上病院	48件																																																																																						
こども医療センター	22件																																																																																						
芹香病院	1件																																																																																						
がんセンター	23件																																																																																						
循環器呼吸器病センター	18件																																																																																						
病院名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度				件数																																																																															
				新規	改定(見直し)	廃止																																																																																	
足柄上病院	66件	70件	71件	5件	11件	3件	73件																																																																																
こども医療センター	28件	29件	89件	5件	4件	6件	88件																																																																																
芹香病院	3件	3件	3件	1件	0件	0件	4件																																																																																
せりがや病院	2件	3件	4件	1件	2件	0件	5件																																																																																
がんセンター	50件	32件	37件	10件	13件	0件	47件																																																																																
循環器呼吸器病センター	18件	20件	21件	3件	7件	3件	21件																																																																																
計	167件	157件	225件	25件	37件	12件	238件																																																																																

[芹香病院]
・救急病棟を中心に運用する予定で「統合失調症パス」を作成した。

[せりがや病院]
・クリティカルパス検討会議を3回開催し、実施状況等の確認を行うとともに、「保護室再入室クリティカルパス」を新たに作成した。

[がんセンター]
・クリティカルパス検討会議を10回開催し、「病棟一泊入室クリティカルパス」をはじめとして10件を新規に作成するとともに、13件の見直しを行った。

[循環器呼吸器病センター]
・クリティカルパス検討会議を6回開催し、新たに「気管支動脈造影・動脈塞栓術」ほか2件を作成するとともに、7件の見直しを行った。

課題

今後も患者が安心して治療を受けられるよう、クリティカルパスの適用状況の把握に努め、新規作成や見直しにより、適用の拡大を行っていく必要がある。

小項目 3 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中 期 目 標	<p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p> <p>(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供</p> <p>患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。</p> <p>また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。</p> <p>さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。</p>
----------------------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・患者、家族が安心して医療を受けられるよう、地域医療連携室等で医療、福祉についての多様な相談を実施する。</p> <p>また、がんセンターにおいては、都道府県がん診療連携拠点病院として、県民に対するがんの電話相談を充実する。</p> <p>(参考) がんセンターにおける電話相談件数実績 (平成21年度) 5,394件</p>	<p>・地域医療連携室等で、患者、家族が安心して医療を受けられるよう、医療、経済、福祉に関する多様な相談を受け、その妨げとなる不安解消のための情報提供及び助言を行う。</p> <p>・子ども医療センターは、小児がん相談支援室として、新たに「小児がん相談支援室」を設置し、地域と連携して在宅の患者の支援を強化するため、地域の医療・福祉機関からの相談に対応する。</p> <p>・子ども医療センターは、新たに認定遺伝カウンセラー等を配置した「新しい命のためのサポートセンター」を設置し、遺伝に係る心配・不安のある患者・家族、妊娠・出産・育児に不安のある人等に適切な遺伝情報や社会の支援体勢等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する。</p> <p>・子ども医療センターは、受診を検討中の患者・家族から院内見学の希望があった場合、院内を案内し、病院機能や施設を紹介することで不安の軽減を図る。</p>	<p>・各病院の地域医療連携室等において、医療関係のみならず、経済的・心理的な問題なども含めた多様な相談に対応し、患者、家族が不安を解消したうえで診療を受けられるように努めた。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・地域医療連携室、患者さん相談室において専門相談員が患者・家族との対面相談を行い、問題解決のための取組を実施した。</p> <p>[子ども医療センター]</p> <p>・従来の保健福祉相談室の機能を見直し、患者家族の相談支援に特化した医療福祉相談室と保健行政との連携に特化した母子保健推進室に再編整備した。</p> <p>・神奈川県から受託している小児救急電話相談(#8000)事業については、平成24年度比28件増の14,117件の相談に対応した。</p> <p>・平成25年4月に小児がん相談支援室を設置し、相談窓口、医師や小児看護専門看護師などが827件の相談に対応した。</p>	<p>・各病院において、患者や家族がより相談しやすい環境となるよう、相談体制の充実、整備を図り、多様な相談に対応した。</p> <p>・子ども医療センターにおいては、相談室の再編整備を行うとともに、「新しい命のためのサポートセンター」、「小児がん相談支援室」を設置する等、患者の状況に対応した相談体制を整備した。</p>	A	A	<p>それぞれの病院の特性にあわせて、よく取り組んできている。</p> <p>今後の病院運営では、病院に関する様々な相談を、一つの窓口で対応するワンストップサービス機能の提供が重要である。</p>

・がんセンター相談支援室及び神奈川県がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、がんに関する医療・福祉等の幅広い電話相談に応じる。
 (参考) がんセンターにおける電話相談件数実績(平成23年度) 5,660件

・がんセンターは、患者・家族のがんに対する不安や疑問に対応するため、新病院に相談個室、患者向けの情報コーナー、患者サロン等を設置し、がんに関する各種情報の提供や、患者と同じ経験を持つ者による支援(ピア・サポート)等に取り組む。

・がんセンターは、新たに、食材・料理を教材にした集団栄養教室等を開催するなど、在宅療養がん患者を支える栄養相談を充実させるとともに、栄養サポートチームによる栄養介入、栄養指導により治療前から治療後の切れ目のない適切な栄養管理を行うことで、手術、化学療法の良い術後経過とがん患者の生活の質の向上を図る。

[こども医療センター続き]

・「新しい命のためのサポートセンター」を設置し、平成25年6月から産婦人科、遺伝科などの医師や認定遺伝カウンセラーらが先天性の障がいや疾患に関する相談に応じ、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援した。

遺伝カウンセリング外来	93家族
妊娠前外来	33家族
胎児相談外来	19家族
胎児心臓病外来	延642人

・ボランティアと連携し、受診を検討中の患者・家族の不安を軽減するため、2組の患者・家族の見学希望に対応し、病院の機能や施設について紹介した。

[芹香病院]

・地域医療相談室において、救急、ストレスケアをはじめとした患者、家族からの各種相談に対応した。また、医療観察制度への対応においては、病棟専任スタッフによる体制作りを進め、患者や家族に対する制度の説明や相談に応じ、家族会を開催した。

[せりがや病院]

・心理・相談科において、依存症により生じた家族関係や就業・経済的問題など、社会的側面の問題を持つ患者・家族に対して相談に応じた。また、受診していない者の家族からの相談に着目して面接相談を行い、受診に繋げた。

[がんセンター]

・医療相談支援室及び神奈川県がん臨床研究・情報機構情報センターにおいて、看護師やソーシャルワーカーが、経済的問題及び家庭環境に係る医療福祉問題等幅広い相談に応じた。

・新病院に相談個室や患者向けの情報コーナーを設置し、患者や家族が抱える悩みへの対応やがんに関する各種情報の提供を行った。

・新たに化学療法患者を対象とした栄養・料理セミナーを2回実施したほか、管理栄養士による個別・集団栄養指導や栄養サポート外来、また、栄養サポートチーム(NST)による栄養管理の向上への取組など、患者の状況に合わせた適切な栄養療法により、生活の質の向上を図った。

課題

引き続き、相談体制の充実、整備を図り、患者や家族が不安や問題を解消し、安心して診療を受けられるように努める。

[循環器呼吸器病センター]

・地域連携室の看護師、ソーシャルワーカーが地域の医療機関を積極的に訪問し、連携を深めることにより、患者・家族が地域の医療サービスを安心して受けられるよう相談体制の充実を図った。

(参考) [相談件数実績 (地域医療連携室等への診療相談)]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	11,473件	11,264件	11,439件	10,793件
こども医療センター	24,130件	21,933件	27,137件	15,751件
芹香病院	4,593件	4,679件	4,817件	4,208件
せりがや病院	270件	391件	498件	453件
がんセンター	9,825件	9,354件	8,352件	10,874件
循環器呼吸器病センター	8,284件	11,416件	14,497件	13,786件
計	58,575件	59,037件	66,740件	55,865件

(参考) [がんセンターにおける相談件数 (内訳)]

平成25年度実績	医療相談支援室	がん臨床研究・情報機構	計
相談延件数	9,357件	1,517件	10,874件
うち電話	3,981件		3,981件

小項目 3 7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。

また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価	評価委員会の評価																																																					
			自己点数	評価点数	コメント																																																				
<p>・高度・専門医療を提供する医療機関として、セカンドオピニオンに積極的に取り組む。</p> <p>(参考) [セカンドオピニオン件数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>789件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成20年度	足柄上病院	3件	こども医療センター	40件	芹香病院	5件	がんセンター	789件	循環器呼吸器病センター	48件	<p>・患者がより良い治療方法を自己決定できるように、ホームページによる案内に努める等、セカンドオピニオンを推進する。</p>	<p>各病院において、患者がより適した治療方法を選択できるよう、院内掲示やホームページ上での案内など、セカンドオピニオンの推進に努めた。</p> <p>(参考) [セカンドオピニオン件数の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39件</td> <td>33件</td> <td>63件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>12件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>686件</td> <td>668件</td> <td>689件</td> <td>792件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>43件</td> <td>40件</td> <td>55件</td> <td>51件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>772件</td> <td>747件</td> <td>819件</td> <td>886件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	1件	2件	0件	0件	こども医療センター	39件	33件	63件	32件	芹香病院	2件	3件	12件	11件	せりがや病院	1件	1件	0件	0件	がんセンター	686件	668件	689件	792件	循環器呼吸器病センター	43件	40件	55件	51件	計	772件	747件	819件	886件	<p>実績に対する評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p style="text-align: center;">A</p>	
	病院名	平成20年度																																																							
足柄上病院	3件																																																								
こども医療センター	40件																																																								
芹香病院	5件																																																								
がんセンター	789件																																																								
循環器呼吸器病センター	48件																																																								
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																					
足柄上病院	1件	2件	0件	0件																																																					
こども医療センター	39件	33件	63件	32件																																																					
芹香病院	2件	3件	12件	11件																																																					
せりがや病院	1件	1件	0件	0件																																																					
がんセンター	686件	668件	689件	792件																																																					
循環器呼吸器病センター	43件	40件	55件	51件																																																					
計	772件	747件	819件	886件																																																					
			<p>課題</p> <p>今後も、患者が治療法を比較し、理解したうえで治療の選択をできるように、セカンドオピニオンに積極的に対応していく。</p>																																																						

小項目 38 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

中期目標

患者の視点に立った病院運営を進めるため、患者自らが理解して適切な医療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。

また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。

(1) 患者にとって分かりやすい医療の提供

患者・家族が治療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるような取組を進めること。また、患者や家族が安心して医療を受けられるよう、医療、福祉の多様な相談に対応すること。

さらに、患者満足度を調査し、意見の反映に努め、患者の視点に立った病院運営を目指すこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																															
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																															
<p>・県民の意見を反映し患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査等を実施する。</p>	<p>・県民の意見を反映し、患者の視点に立った病院運営を実現するため、各病院で患者満足度調査等を実施し、全体的な病院の評価（総合的な満足度）の結果を公表する。</p>	<p>・各病院において、病院の運営改善を図るとともに、多様化している患者等の意見を把握するため、入院・外来患者等を対象とした患者満足度調査を実施した。</p> <p>・患者満足度調査においては、共通項目として、「全体的にこの病院に満足している」の設問を設定しており、結果は次のとおりである。</p>	実績に対する評価																																																																																																																																	
			A	A	<p>各病院において患者満足度調査を実施し、結果を踏まえ課題への対応や改善を図るなど、患者サービスの向上に努めた。</p> <p>患者満足度調査については、調査をして終わりせず、調査の意見を反映していることも医療センターの取組や、芹香病院の職員全員への意識の共有化など、良い取組を行っている。</p> <p>患者満足度も、全体としては上がっており、評価できるが、今後は、各病院の特性を踏まえ何%であればよいのか、ベンチマークを検討する必要がある。</p>																																																																																																																															
<p>(参考) [満足度調査結果 (平成22年度)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">入院</th> <th colspan="2">外来</th> </tr> <tr> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>125人</td> <td>95.6%</td> <td>450人</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>216人</td> <td>79.0%</td> <td>1,180人</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>136人</td> <td>65.5%</td> <td>272人</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>44人</td> <td>66.5%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>285人</td> <td>91.5%</td> <td>787人</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>136人</td> <td>88.2%</td> <td>215人</td> <td>85.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p>			区分	入院		外来		回答総数	満足度	回答総数	満足度	足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%	こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%	芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%	せりがや病院	44人	66.5%	-	-	がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%	循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%	<p>(参考) [満足度調査結果 (平成24年度)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>93人</td> <td>98人</td> <td>94.9%</td> <td>200</td> <td>217人</td> <td>258人</td> <td>84.1%</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>135人</td> <td>158人</td> <td>85.4%</td> <td>313</td> <td>723人</td> <td>972人</td> <td>74.4%</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>69人</td> <td>111人</td> <td>62.2%</td> <td>127</td> <td>171人</td> <td>345人</td> <td>49.6%</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>33人</td> <td>43人</td> <td>76.7%</td> <td>52</td> <td>98人</td> <td>105人</td> <td>93.3%</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>284人</td> <td>311人</td> <td>91.3%</td> <td>378</td> <td>574人</td> <td>704人</td> <td>81.5%</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>163人</td> <td>185人</td> <td>88.1%</td> <td>400</td> <td>342人</td> <td>397人</td> <td>86.1%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p>				区分	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数	足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390	こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000	芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345	せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112	がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843	循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600																
区分	入院			外来																																																																																																																																
	回答総数	満足度	回答総数	満足度																																																																																																																																
足柄上病院	125人	95.6%	450人	51.0%																																																																																																																																
こども医療センター	216人	79.0%	1,180人	53.3%																																																																																																																																
芹香病院	136人	65.5%	272人	62.0%																																																																																																																																
せりがや病院	44人	66.5%	-	-																																																																																																																																
がんセンター	285人	91.5%	787人	83.1%																																																																																																																																
循環器呼吸器病センター	136人	88.2%	215人	85.6%																																																																																																																																
区分	入院				外来																																																																																																																															
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数																																																																																																																												
足柄上病院	93人	98人	94.9%	200	217人	258人	84.1%	390																																																																																																																												
こども医療センター	135人	158人	85.4%	313	723人	972人	74.4%	2,000																																																																																																																												
芹香病院	69人	111人	62.2%	127	171人	345人	49.6%	345																																																																																																																												
せりがや病院	33人	43人	76.7%	52	98人	105人	93.3%	112																																																																																																																												
がんセンター	284人	311人	91.3%	378	574人	704人	81.5%	843																																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	163人	185人	88.1%	400	342人	397人	86.1%	600																																																																																																																												
<p>(参考) [満足度調査結果 (平成23年度)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">入院</th> <th colspan="3">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>95人</td> <td>99人</td> <td>96.0%</td> <td>171人</td> <td>221人</td> <td>77.4%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>129人</td> <td>160人</td> <td>80.6%</td> <td>1,012人</td> <td>1,298人</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>79人</td> <td>125人</td> <td>63.2%</td> <td>156人</td> <td>301人</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>31人</td> <td>43人</td> <td>72.1%</td> <td>131人</td> <td>165人</td> <td>79.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>261人</td> <td>295人</td> <td>88.5%</td> <td>630人</td> <td>765人</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>183人</td> <td>210人</td> <td>87.1%</td> <td>365人</td> <td>412人</td> <td>88.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p>			区分	入院			外来			満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度	足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%	こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%	芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%	せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%	がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%	循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%	<p>(参考) [満足度調査結果 (平成25年度)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">入院</th> <th colspan="4">外来</th> </tr> <tr> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> <th>満足評価</th> <th>回答総数</th> <th>満足度</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>73人</td> <td>78人</td> <td>93.6%</td> <td>200</td> <td>187人</td> <td>226人</td> <td>82.7%</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>178人</td> <td>193人</td> <td>92.2%</td> <td>352</td> <td>723人</td> <td>913人</td> <td>79.2%</td> <td>1,717</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>82人</td> <td>121人</td> <td>67.8%</td> <td>158</td> <td>138人</td> <td>280人</td> <td>49.3%</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>30人</td> <td>35人</td> <td>85.7%</td> <td>39</td> <td>123人</td> <td>139人</td> <td>88.5%</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>313人</td> <td>332人</td> <td>94.3%</td> <td>344</td> <td>720人</td> <td>789人</td> <td>91.3%</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>161人</td> <td>178人</td> <td>90.4%</td> <td>300</td> <td>362人</td> <td>405人</td> <td>89.4%</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>「回答総数」は調査票を配付し有効な回答として回収した数をいう。 「満足度」は「満足・やや満足」と回答した割合をいう。</p>				区分	入院				外来				満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数	足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400	こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717	芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280	せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159	がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876	循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600
区分	入院			外来																																																																																																																																
	満足評価	回答総数	満足度	満足評価	回答総数	満足度																																																																																																																														
足柄上病院	95人	99人	96.0%	171人	221人	77.4%																																																																																																																														
こども医療センター	129人	160人	80.6%	1,012人	1,298人	78.0%																																																																																																																														
芹香病院	79人	125人	63.2%	156人	301人	51.8%																																																																																																																														
せりがや病院	31人	43人	72.1%	131人	165人	79.4%																																																																																																																														
がんセンター	261人	295人	88.5%	630人	765人	82.4%																																																																																																																														
循環器呼吸器病センター	183人	210人	87.1%	365人	412人	88.6%																																																																																																																														
区分	入院				外来																																																																																																																															
	満足評価	回答総数	満足度	配布数	満足評価	回答総数	満足度	配布数																																																																																																																												
足柄上病院	73人	78人	93.6%	200	187人	226人	82.7%	400																																																																																																																												
こども医療センター	178人	193人	92.2%	352	723人	913人	79.2%	1,717																																																																																																																												
芹香病院	82人	121人	67.8%	158	138人	280人	49.3%	280																																																																																																																												
せりがや病院	30人	35人	85.7%	39	123人	139人	88.5%	159																																																																																																																												
がんセンター	313人	332人	94.3%	344	720人	789人	91.3%	876																																																																																																																												
循環器呼吸器病センター	161人	178人	90.4%	300	362人	405人	89.4%	600																																																																																																																												

[足柄上病院]
 ・定期的なワックスがけでは落ちにくい外来ロビーや通路等の床面の汚れについて、剥離清掃を重点的に実施した。

[こども医療センター]
 <患者満足度調査の意見を反映した取組>
 ・待合ロビーにコーヒーショップを出店させたほか、施設内に患者用のテーブルや椅子を、屋外にパラソル付のテーブルを設置した。
 ・プレイルームや待合室の本やDVDの追加購入、入替を行った。

・病棟のトイレのオムツ入れを臭いの発生しにくい製品に更新した。

・食堂のテーブルと椅子を高級感のある家具に入れ替えた。

<その他患者サービス向上の取組>
 ・入院患者の栄養支援の強化を目的としたバイキング形式による食事会、患者が収穫した野菜を利用した昼食、おやつ時間の「お好み焼き」や「パンケーキ」作りなど、患者が楽しく食べられるための工夫を行った。

[芹香病院]
 ・新棟整備により病院入口から外来までの動線が長くなったため、外来看護師の定期的なラウンドを病院入口まで拡げて実施し、車の乗降などを補助した。

・満足度調査の結果について、職員全員が参加する報告会を開催し、意識の共有を図った。

[せりがや病院]
 ・病院入口や外来カウンターに四季折々の飾りを施し、不安を抱えながら来院する患者の気持ちを癒せるような環境作りを心がけた。

[がんセンター]
 ・新病院開院に伴い、コーヒーショップやコンビニエンスストア、レストラン、美容室を整備した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・施設の老朽化対応として、病室カーペット床の張替え、病棟浴室・トイレのリフォーム、待合ホールの照明LED化等の工事を実施した。

・患者の利便性向上のため、案内表示板、駐車場精算機等を更新した。

課題

満足度調査により、患者等のニーズを把握し、病院全体で課題や改善策を共有し対応していくことで、より一層の医療サービスの充実に繋げていく。

小項目 39 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (2) 県民への病院・医療情報提供の充実

中期目標

疾患・予防等に関する知識や県立病院が行う治療の方法と実績等を、広く県民に、分かりやすく情報発信し、普及・啓発を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																					
<p>(2) 県民への病院・医療情報提供の充実</p> <p>疾患・予防等に関する知識について、公開講座等を通じて、広く県民に普及・啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法と実績やがんセンターにおける都道府県がん診療連携拠点病院としての情報等について、ホームページや広報誌等を通じて、情報発信を行う。</p>	<p>(2) 県民への病院・医療情報提供の充実</p> <p>・県民に県立病院が身近なものとして感じられるよう公開講座等を通じて、疾患・予防等に関する知識の普及・啓発を行うとともに、県立病院が行う治療の方法や実績、がんの診断や治療に関する情報等を、ホームページや広報誌等を通じて提供する。</p> <p>【公開講座の実績と目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成25年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>13回</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>丹波病院</td> <td>7回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>8回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成23年度実績	平成25年度目標値	足柄上病院	13回	18回	こども医療センター	8回	8回	丹波病院	7回	12回	せりがや病院	2回	1回	がんセンター	3回	4回	循環器呼吸器病センター	8回	7回	<p>・正しい医療知識の取得や理解促進に向けた公開講座等を開催するとともに、各病院のホームページにおいて各診療科の対象疾患や治療方法を掲載するなど、県民に分かりやすい医療情報の提供に努めた。</p> <p>・ホームページの掲載内容について、文章だけではなく、写真やイラストなどを一緒に掲載するなど、見やすく印象に残るような構成のホームページの作成に努めた。</p> <p>また、全ページのアクセス数を調査し、必要としている情報をホームページ上の分かりやすい場所に配置するなど、構成の改善を図った。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・公開講座等の開催 医学講座「大地震、そのときの医療体制は？」 出前講座「食物アレルギーについて」 講演会「糖尿病について」 など</p> <p>・広報誌等の発行 病院情報誌「かけはし」の発行及びホームページへの掲載 年3回 発行部数 2,000部 タウンニュース掲載 医療レポート 年5回</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・公開講座等の開催 「学術集談会」「公開講座」「小児救急医療キッズセミナー」「心肺蘇生講習会」「小児がん相談支援室セミナー」 など</p> <p>・広報誌の発行 「地域連携室だより」年3回 発行部数 3,000部</p> <p>・ファシリティ・ドッグ「ベイリー」をはじめ、各診療科の医師や看護師がテレビ・新聞等の取材を受けたほか、毎週土曜日、FM戸塚のラジオ番組「ラジオの絆」で病院の様々な取組の紹介を行った。</p>	<p>各病院において、治療に関する情報のホームページへの掲載や公開講座の実施、また広報誌の発行などにより、医療情報の提供、発信に取り組んだ。</p>	A	A	
病院名	平成23年度実績	平成25年度目標値																									
足柄上病院	13回	18回																									
こども医療センター	8回	8回																									
丹波病院	7回	12回																									
せりがや病院	2回	1回																									
がんセンター	3回	4回																									
循環器呼吸器病センター	8回	7回																									

[精神医療センター]
 ・公開講座等の開催
 「職場結合性うつ病―病態と予防」など
 ・広報誌の発行
 センターだより 年1回発行 680部
 (芹香病院)
 リワークプログラム 1,000部
 ストレスケア病棟 2,500部
 (せりがや病院)
 せりがや通信 年4回発行 350部

[がんセンター]
 ・公開講座等の開催
 「新たながん放射線治療への挑戦」、「腫瘍内科における化学療法の実状」、「急性白血病とリンパ腫の最新治療」など
 ・広報誌の発行
 がんセンターだより 年3回発行 2,250部

[循環器呼吸器病センター]
 ・公開医療講座及び出張医療講座を定期的開催したほか、平成25年7月に神奈川県民ホールにおいて、患者、家族、医療関係者等を対象とした「間質性肺炎・肺線維症患者勉強会」を開催し(参加者329名)、病気や治療方法、生活上の注意点等についての情報提供による患者への支援を行った。

(参考) [公開講座の実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	12回	13回	19回	17回
こども医療センター	9回	8回	12回	19回
芹香病院	4回	7回	7回	15回
せりがや病院	1回	2回	1回	1回
がんセンター	6回	3回	4回	5回
循環器呼吸器病センター	10回	8回	9回	8回
計	42回	41回	52回	65回

課題

・今後も公開講座などにより、医療に関する情報を提供するとともに、より多くの方が参加できるように、方法を検討していく。

・ホームページによる分かりやすい情報提供に努め、引き続き掲載内容等を検討していく。

小項目 40 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 3 患者の視点に立った病院運営
 (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
 また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
(3) 患者の利便性の向上 ・診療、検査、支払等の待ち時間を短縮するための取組や、在院日数の適正化により待機患者の減少を図る取組を実施し、患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるようにする。	(3) 患者の利便性の向上 ・各病院において、待ち時間の実態調査を実施し、予約制度の運用の工夫、見直しなどによる待ち時間の改善や、患者に待ち時間を負担に感じさせない取組を引き続き行う。 ・がんセンターは、新たに、患者支援センターを設置し、会計、入院・検査予約、相談などの窓口の一元化を行い、患者の利便性の向上を図る。また、外来の診察が近づいたことを知らせる患者呼出機を新たに導入するとともに、情報コーナー等を設置し、外来患者が待ち時間を有効に利用できる工夫を図る。	・各病院において、待ち時間そのものの短縮を図るだけでなく、患者に与える負担感を軽減する取組を行った。 ・待ち時間に対する患者満足度調査を行っている足柄上病院及びこども医療センターでは、およそ7割の患者が「満足」から「どちらでもない」との回答であった。 ・各病院が行った待ち時間対策は次のとおり。 [足柄上病院] ・外来待合室のディスプレイに生活習慣病予防などの医療情報を提供した。 [こども医療センター] ・平成25年9月に待合ロビーへコーヒーストックを出店させたほか、患者が手術室入室後、家族が決まった場所にいなくともいいように、PHSを渡し、待ち時間を負担に感じさせない対応をとっている。 [芹香病院] ・院外処方推進し、待ち時間の短縮を図った。 [せりがや病院] ・効率よく情報収集するために患者の生活歴や病歴を記載するインテーク用紙を見直した。 [がんセンター] ・新病院開院に伴い、会計や入院・検査予約、相談などの窓口の一元化を図る患者支援センターを設置し、ワンストップサービスを開始した。また、情報コーナーを設置し、がんに関する各種の情報提供を提供するなど、待ち時間の有効活用に努めた。	実績に対する評価 患者の待ち時間に対する心理的な負担感を軽減する取組を行い、患者サービスの質の向上を図った。	A	A	待ち時間について、時間を短くするのはなかなか難しいが、待つ時間をどう過ごすかという視点は大切であり、負担感を軽減する取組は、意義があるものである。 また、院外処方の推進については、逆にここで待つようにならないかは留意する必要がある。 なお、患者は、待ち時間の目安の提示を希望すると思われるので、その対応に努めるとともに、更なる待ち時間の短縮に努められたい。
			課題 今後も待ち時間の短縮や、患者の心理的負担感を軽減する取組を行っていく必要がある。			

[がんセンター続き]
 ・外来を受診する際に、患者が院内を自由に移動できる呼出カードを用いたシステムを導入し、待ち時間の負担軽減を推進した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・外来待合室の長椅子を新しいものに入れ替えたほか、待合ホール等の照明をLED化し、明るくなるよう改善した。

(参考) [外来診療待ち時間実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	90分程度	60分程度	60分程度	60分程度
こども医療センター	35分程度	30分程度	30分程度	30分程度
芹香病院	35分程度	30分程度	20分程度	10分程度
せりがや病院	30分程度	20分程度	20分程度	20分程度
がんセンター	50分程度	50分程度	40分程度	40分程度
循環器呼吸器病センター	45分程度	60分程度	60分程度	50分程度

小項目 4 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 3 患者の視点に立った病院運営
 - (3) 患者の利便性の向上

中期目標

患者が治療に要する時間を短くして「時間の利益」を得られるよう、診療、検査、支払等の待ち時間の短縮や在院日数の適正化に努め、待機患者の減少を図ること。
また、診療費の支払方法の多様化等、患者の利便性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																	
・休日・時間外における支払窓口の開設やコンビニエンスストアやクレジットカードでの支払等に取り組む。	・支払方法の選択範囲を広げるとともに、支払待ち時間を短縮して患者等が診療終了後速やかに病院から帰れるようにするため、デビットカードサービスの利用、コンビニエンスストア収納、休日・時間外における支払窓口の開設等を引き続き行う。 ・子ども医療センターは、クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とし、患者の利便性の向上を図る。	・クレジットカード、デビットカード、コンビニエンスストア収納の利用状況は、次のとおりとなっている。 （参考）〔クレジットカード、デビットカード、コンビニ収納利用件数の実績〕 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">クレジットカード</th> <th colspan="4">デビットカード</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,886件</td> <td>4,993件</td> <td>5,194件</td> <td>6,360件</td> <td>18件</td> <td>28件</td> <td>39件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター</td> <td>8,926件</td> <td>8,947件</td> <td>9,649件</td> <td>10,798件</td> <td>118件</td> <td>107件</td> <td>102件</td> <td>102件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>2,068件</td> <td>1,724件</td> <td>2,029件</td> <td>1,130件</td> <td>175件</td> <td>96件</td> <td>131件</td> <td>84件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>247件</td> <td>447件</td> <td>472件</td> <td>577件</td> <td>2件</td> <td>8件</td> <td>1件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>25,692件</td> <td>25,773件</td> <td>29,763件</td> <td>35,347件</td> <td>1,202件</td> <td>1,702件</td> <td>1,189件</td> <td>1,415件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>9,708件</td> <td>9,505件</td> <td>10,572件</td> <td>12,031件</td> <td>52件</td> <td>234件</td> <td>221件</td> <td>181件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51,527件</td> <td>51,389件</td> <td>57,679件</td> <td>66,243件</td> <td>1,567件</td> <td>2,175件</td> <td>1,683件</td> <td>1,836件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">コンビニ収納</th> <th colspan="4">合計</th> </tr> <tr> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>960件</td> <td>850件</td> <td>801件</td> <td>611件</td> <td>5,864件</td> <td>5,871件</td> <td>6,034件</td> <td>7,018件</td> </tr> <tr> <td>子ども医療センター</td> <td>81件</td> <td>187件</td> <td>951件</td> <td>1,147件</td> <td>9,125件</td> <td>9,241件</td> <td>10,702件</td> <td>12,047件</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>977件</td> <td>834件</td> <td>1,601件</td> <td>769件</td> <td>3,220件</td> <td>2,654件</td> <td>3,761件</td> <td>1,983件</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>211件</td> <td>271件</td> <td>531件</td> <td>209件</td> <td>460件</td> <td>726件</td> <td>1,004件</td> <td>793件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>152件</td> <td>49件</td> <td>22件</td> <td>43件</td> <td>27,046件</td> <td>27,524件</td> <td>30,974件</td> <td>36,805件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>276件</td> <td>346件</td> <td>352件</td> <td>162件</td> <td>10,036件</td> <td>10,085件</td> <td>11,145件</td> <td>12,374件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,657件</td> <td>2,537件</td> <td>4,258件</td> <td>2,941件</td> <td>55,751件</td> <td>56,101件</td> <td>63,620件</td> <td>71,020件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	クレジットカード				デビットカード				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	4,886件	4,993件	5,194件	6,360件	18件	28件	39件	47件	子ども医療センター	8,926件	8,947件	9,649件	10,798件	118件	107件	102件	102件	芹香病院	2,068件	1,724件	2,029件	1,130件	175件	96件	131件	84件	せりがや病院	247件	447件	472件	577件	2件	8件	1件	7件	がんセンター	25,692件	25,773件	29,763件	35,347件	1,202件	1,702件	1,189件	1,415件	循環器呼吸器病センター	9,708件	9,505件	10,572件	12,031件	52件	234件	221件	181件	計	51,527件	51,389件	57,679件	66,243件	1,567件	2,175件	1,683件	1,836件	区分	コンビニ収納				合計				平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	960件	850件	801件	611件	5,864件	5,871件	6,034件	7,018件	子ども医療センター	81件	187件	951件	1,147件	9,125件	9,241件	10,702件	12,047件	芹香病院	977件	834件	1,601件	769件	3,220件	2,654件	3,761件	1,983件	せりがや病院	211件	271件	531件	209件	460件	726件	1,004件	793件	がんセンター	152件	49件	22件	43件	27,046件	27,524件	30,974件	36,805件	循環器呼吸器病センター	276件	346件	352件	162件	10,036件	10,085件	11,145件	12,374件	計	2,657件	2,537件	4,258件	2,941件	55,751件	56,101件	63,620件	71,020件	実績に対する評価 子ども医療センターにおいて、クレジットカードを使った新たな収納方法を開始したことにより、患者の利便性向上に寄与した。	A	A	支払い方法を増やし、患者の利便性を向上させた取組みは評価できる。
				区分	クレジットカード				デビットカード																																																																																																																																																													
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																																																																																																														
足柄上病院	4,886件	4,993件	5,194件	6,360件	18件	28件	39件	47件																																																																																																																																																														
子ども医療センター	8,926件	8,947件	9,649件	10,798件	118件	107件	102件	102件																																																																																																																																																														
芹香病院	2,068件	1,724件	2,029件	1,130件	175件	96件	131件	84件																																																																																																																																																														
せりがや病院	247件	447件	472件	577件	2件	8件	1件	7件																																																																																																																																																														
がんセンター	25,692件	25,773件	29,763件	35,347件	1,202件	1,702件	1,189件	1,415件																																																																																																																																																														
循環器呼吸器病センター	9,708件	9,505件	10,572件	12,031件	52件	234件	221件	181件																																																																																																																																																														
計	51,527件	51,389件	57,679件	66,243件	1,567件	2,175件	1,683件	1,836件																																																																																																																																																														
区分	コンビニ収納				合計																																																																																																																																																																	
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																																																																																																																														
足柄上病院	960件	850件	801件	611件	5,864件	5,871件	6,034件	7,018件																																																																																																																																																														
子ども医療センター	81件	187件	951件	1,147件	9,125件	9,241件	10,702件	12,047件																																																																																																																																																														
芹香病院	977件	834件	1,601件	769件	3,220件	2,654件	3,761件	1,983件																																																																																																																																																														
せりがや病院	211件	271件	531件	209件	460件	726件	1,004件	793件																																																																																																																																																														
がんセンター	152件	49件	22件	43件	27,046件	27,524件	30,974件	36,805件																																																																																																																																																														
循環器呼吸器病センター	276件	346件	352件	162件	10,036件	10,085件	11,145件	12,374件																																																																																																																																																														
計	2,657件	2,537件	4,258件	2,941件	55,751件	56,101件	63,620件	71,020件																																																																																																																																																														
		[子ども医療センター] ・クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とするサービスを平成26年2月から開始した。	課題				診療報酬の支払いについて、多用な方法を用意していることを、引き続き周知していく必要がある。																																																																																																																																																															

[がんセンター]

・呼出カードによる会計呼出の他、クレジットカード取扱可能な自動精算機を新病院の移転に合わせ1台から3台に増設するなど、患者の利便性の向上を図った。

小項目 4 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 3 患者の視点に立った病院運営
- (4) ボランティア・NPOとの協働

中期目標

様々な県民ニーズに対応したボランティア活動を行うボランティアやNPOの協力を得て、療養の支援を図る取組を進めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(4) ボランティア・NPOとの協働</p> <p>・ボランティアの協力の下、県立病院の案内業務や患者のレクリエーション活動等を実施する。</p> <p>・子ども医療センター入院患者の家族滞在施設の運営を支援する。</p>	<p>(4) ボランティア・NPOとの協働</p> <p>・ボランティアの協力を得て、案内業務、患者のレクリエーション活動、療養の支援等を行う。</p> <p>・通訳ボランティアによる外国籍患者への支援を進める。</p> <p>・子ども医療センターは、入院患者の家族滞在施設（リラのいえ）について、利用希望者等からの相談、紹介等を通じて運営の支援を行う。</p> <p>・子ども医療センターは、NPOから提供されたファシリテイドッグを活用した動物介在療法を実施する。</p> <p>・がんセンターは、患者の生活の質の向上、がん患者の不安や悩みの軽減を図るため、情報コーナー、患者サロンを設置し、患者団体、ボランティアとの協働によるピア・サポート等の取組を充実させる。</p>	<p>・各病院において、ボランティア団体等の協力により、コンサート、行動介助や作品展示など、患者の療養支援を図る多種多様な活動を推進した。</p> <p>・日本語を母国語としない患者の診療等の際に、患者と医療スタッフとのコミュニケーションを補助し、治療を円滑に行うことを目的として、通訳ボランティアの支援を受けた。 延べ利用件数：395件</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・ランパス、杉の子会、松田絵手紙の会、音楽ボランティア会、受付介助ボランティア会の各団体により、多岐にわたる活動や療養支援が行われた。</p> <p>[子ども医療センター]</p> <p>・患者の療養環境の向上や通院に対する恐怖感の軽減のため、27団体のボランティア団体（統括組織：オレンジクラブ、構成員341人）の協力により、各種活動（演奏会、遊び相手、生け花、園芸、装飾品の作成・展示等）や療養支援（介添え、院内誘導等）が行われた。</p> <p>・入院患者の家族滞在施設（リラのいえ・利用可能室8室）より、利用希望者等からの利用相談や紹介等を通じて、長期入院患者の家族に対する支援が行われた。 利用家族数：462家族、利用者数：4,505人 延べ宿泊数：2,455日</p> <p>・NPOから提供されたファシリテイドッグを活用し、こころの診療病棟の患者を対象に治療の補助として用いる動物介在療法を実施したほか、病棟のブレイルーム等における患者・家族との触れ合いによる動物介在活動を3,094回実施した。</p>	<p>ボランティアの支援・協力による多種多様な活動によって、患者や家族が精神的な安らぎを得るなど、療養環境の向上に寄与している。</p>	A	A	

[芹香病院]
 ・琴グループさくら、老寿会をはじめとしたボランティアの協力を得て、患者の社会性を養うことなどを目的としたデイケアプログラムを4回実施した。

[せりがや病院]
 ・依存症の患者や家族で構成する自助グループ（断酒会・AA）等の協力を得て、入院患者に対し、治療プログラムを実施した。

[がんセンター]
 ・患者サロンや患者会を通じたがん体験者の支援のほか、情報コーナーの活用など、ボランティアと協働した取組を推進した。

[循環器呼吸器病センター]
 ・ボランティア2団体の協力により、外来患者の案内、移動図書巡回、ミニコンサート・手品などの催し等を行った。また、結核病棟において絵葉書を作成するレクリエーションを行った。

(参考) [ボランティア団体数]

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	5	5	5
こども医療センター	25	26	27
芹香病院	2	2	7
せりがや病院	6	6	2
がんセンター	2	2	2
循環器呼吸器病センター	2	2	2
計	42	43	45

課題

今後も患者サービスの充実に向け、ボランティア等との連携・協働を推進し、患者や家族の多様なニーズに対応していく必要がある。

小項目 4 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (1) 医師の確保と育成

中期目標

医療を提供する基盤である医師や看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、人材の育成に向けた研修等の充実に努めること。

(1) 医師の確保と育成

質の高い医療を継続的に提供するため、優秀な医師の確保に努めること。

また、初期臨床研修医及び後期臨床研修医等を積極的に受け入れ、次代を担う若い医師を育成するとともに、医師の専門性の向上に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																				
<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>神奈川県における保健医療施策として求められる質の高い医療を継続的に提供するため、医師や看護師等の医療従事者の確保と育成に努めるとともに、勤務環境の改善や資質向上の機会の拡大等、医療従事者を支援する取組を推進する。</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く一般から優秀な人材を確保するため、医師の公募を行う。 ・初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、教育研修体制を強化するとともに、後期臨床研修医が研修に専念できるよう、待遇面等について充実を図る。 	<p>4 医療人材の確保と育成</p> <p>(1) 医師の確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークも活用して、優秀な人材を確保する。 ・専門性の向上につながる魅力的な教育・研修体制を充実させるなど、後期臨床研修医の積極的な受入れに努める。 	<p>・平成26年3月31日時点で、後期臨床研修医を除く医師の必要数314人のところ、現員数が293人（3月31日付退職者を含む。）、充足率は93.3%である。</p> <p>・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基本としつつ、それ以外の手法（公募や人的ネットワークの活用）による採用と合わせ、平成25年度は73人（前年度比3人増）を採用した。</p> <p>・後期臨床研修医については、こども医療センター41人（前年度比1人減）、がんセンター30人（同1人減）及び循環器呼吸器病センター7人（増減なし）と合計78人を受け入れた。</p> <p>(参考)[後期臨床研修医の採用数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>43人</td> <td>43人</td> <td>42人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>31人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78人</td> <td>78人</td> <td>83人</td> <td>78人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	2人	2人	2人	0人	こども医療センター	43人	43人	42人	41人	精神医療センター	0人	0人	1人	0人	がんセンター	28人	28人	31人	30人	循環器呼吸器病センター	5人	5人	7人	7人	計	78人	78人	83人	78人	<p>実績に対する評価</p> <p>・質の高い医療を継続的に提供するため、柔軟かつ弾力的に医師を確保できる環境を整え、医療環境の変化等に着実に対応できる人員配置が可能となった。</p> <p>・こども医療センターでは、慶應義塾大学との間の小児医療人材の育成に関する協定を新たに締結するなど、医師の育成体制の強化に努めた。</p>	A	A	一般採用、経験採用、幹部採用で分けて取り組んでいるのは評価できる。
			区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																		
足柄上病院	2人	2人	2人	0人																																					
こども医療センター	43人	43人	42人	41人																																					
精神医療センター	0人	0人	1人	0人																																					
がんセンター	28人	28人	31人	30人																																					
循環器呼吸器病センター	5人	5人	7人	7人																																					
計	78人	78人	83人	78人																																					
			<p>課題</p> <p>後期臨床研修医については、他の医療機関との競争性や医療の高度専門化に対応できる人材の育成を引き続き進める必要がある。</p>																																						

	<p>・こども医療センターは、横浜市立大学との連携に加え、県内外を問わず、人材の確保・育成、臨床研究の発展に資する大学と新たな連携大学院の協定を締結し、医師の育成体制を強化する。</p> <p>・こども医療センターは、県内医療機関が相互に連携して小児医療臨床研修を実施し、小児専門医を育成する「神奈川小児医療専門医研修ネットワーク（仮称）」を新たに発足させ、各病院で採用した研修医が、ネットワーク内の協定締結病院において研修医として勤務できる制度を創設する。</p> <p>・がんセンターは、医師主導の臨床研究を推進するとともに、医師の専門医・認証医の取得を支援する。</p>	<p>[こども医療センター]</p> <p>・横浜市立大学との連携大学院協定に基づき、医師5人が横浜市立大学大学院の客員教授として講義を行ったほか、横浜市立大学大学院生1人を研修医として受入れ、また、医師4人が大学院に就学した。</p> <p>さらに、平成25年11月に慶應義塾大学医学部・大学院医学研究科と小児医療人材を育成するための連携協力に関する協定を締結した。</p> <p>・県内医療機関が相互に連携して小児医療臨床研修を実施し、小児専門医を育成する「神奈川小児医療専門医研修ネットワーク」の発足に向けた検討を行った。</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・がん専門医・認定医の育成に努め、平成25年度に専門医6名、認定医1名が取得した。</p>				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 4 4 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (2) 看護師の確保と育成

中期目標

質の高い看護を継続的に提供するため、看護師の確保に努めるとともに、看護師の能力を向上させるための研修を実施し、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師の資格取得を促進すること。また、看護学生の実習を積極的に受け入れ、看護師の育成に寄与すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																			
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																			
<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・質の高い看護を継続的に提供するため、看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保を図る。</p> <p>・看護師の看護教育に関する能力等を向上させるため、キャリアパスによるキャリア開発とその支援を行うための研修を実施するとともに、専門性を向上させるため、専門看護師及び認定看護師を、その資格が活用できる職場に積極的に配置する。</p>	<p>(2) 看護師の確保と育成</p> <p>・各病院の看護局長を副院長に登用し、看護局長が有する知識や経験をより効果的に病院運営に生かすとともに、看護職のモチベーションアップを図る。</p> <p>・県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け説明会を実施し、受験を促進するとともに、採用試験の毎月実施等により、7対1看護体制取得に向けて看護師確保を図る。</p> <p>〔看護師採用必要数〕</p> <table border="1"> <tr> <td>平成25年4月1日看護師数(見込)</td> <td>1,524人</td> </tr> <tr> <td>欠員数(要補充)(A)</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度退職見込数(過去3年の平均)(B)</td> <td>142人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度必要数(C)</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度採用必要数(A+B+C)</td> <td>230人</td> </tr> </table> <p>(注) この必要数は、中期計画策定時の目標病床利用率に基づき、がんセンターの新病院や7対1看護体制を取得するために必要な人員を全て常勤職員で確保すると仮定した場合のものである。</p> <p>・看護師等の養成施設に在学する学生に修学資金を貸付けることで、その学生の修学を容易にし、病院機構の病院に勤務する環境を整えることを目的とした修学資金貸付制度を実施する。</p> <p>・看護師の教育・研修体制の充実、プリセプターシップの実施等により、看護師の育成とその定着を図る。</p>	平成25年4月1日看護師数(見込)	1,524人	欠員数(要補充)(A)	24人	平成25年度退職見込数(過去3年の平均)(B)	142人	平成25年度必要数(C)	64人	平成25年度採用必要数(A+B+C)	230人	<p>・各病院の看護局長を副院長に登用し、看護職のモチベーションアップを図った。</p> <p>・全病院を対象とする採用試験を5回実施した。また、採用時にはその病院に配属する配属確定型試験を6回実施した。合わせて11回の採用試験の実施により、平成26年4月1日現在で165人を採用した。</p> <p>・修学資金の借受生は27人であり、平成25年度の卒業生20名を希望する病院に配属した。</p> <p>(参考) 〔修学資金借受生の内訳〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">卒業年度</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定例上病院</td> <td>8人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・1年目の新人看護師にはプリセプターシップをはじめとするきめ細かな研修を実施するとともに、経験年数に従って5段階のステップで能力開発を行うキャリア形成体系に基づき、院内外において研修を実施した。</p> <p>(参考) 〔平成25年度 看護職研修の実績(本部実施分)〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース種類</th> <th>専門コース</th> <th>専門コースⅡ</th> <th>管理コースⅠ</th> <th>管理コースⅡ</th> <th>管理コースⅢ</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">(参考)平成24年度</th> </tr> <tr> <th>医療安全</th> <th>ベーシックアドバンス</th> <th>キャリア形成</th> <th>リーダーシップ</th> <th>労務管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>13人</td> <td>22人</td> <td>18人</td> <td>14人</td> <td>20人</td> <td>14人</td> <td>101人</td> <td>72人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	卒業年度				合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	定例上病院	8人	2人	0人	0人	10人	こども医療センター	2人	0人	1人	1人	4人	精神医療センター	1人	0人	0人	0人	1人	がんセンター	6人	2人	0人	0人	8人	循環器呼吸器病センター	3人	0人	0人	0人	3人	未定	0人	1人	0人	0人	1人	合計	20人	5人	1人	1人	27人	コース種類	専門コース	専門コースⅡ	管理コースⅠ	管理コースⅡ	管理コースⅢ	計	(参考)平成24年度	医療安全	ベーシックアドバンス	キャリア形成	リーダーシップ	労務管理	参加者数	13人	22人	18人	14人	20人	14人	101人	72人	<p>実績に対する評価</p> <p>A</p> <p>・質の高い看護を継続的に提供するため、学生向けの説明会を精力的に開催することなどにより、平成26年4月1日現在で前年同等の看護師数(1,526人)を確保した。</p> <p>・新卒看護師の離職については、研修教育プログラムの充実等に取り組んだ結果、目標を達成した。</p>	<p>A</p> <p>eラーニングは、非常に良い取組であり、今後は、これが生きた形で活用されていくことを期待したい。</p>
		平成25年4月1日看護師数(見込)	1,524人																																																																																					
欠員数(要補充)(A)	24人																																																																																							
平成25年度退職見込数(過去3年の平均)(B)	142人																																																																																							
平成25年度必要数(C)	64人																																																																																							
平成25年度採用必要数(A+B+C)	230人																																																																																							
区分	卒業年度				合計																																																																																			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																																																																				
定例上病院	8人	2人	0人	0人	10人																																																																																			
こども医療センター	2人	0人	1人	1人	4人																																																																																			
精神医療センター	1人	0人	0人	0人	1人																																																																																			
がんセンター	6人	2人	0人	0人	8人																																																																																			
循環器呼吸器病センター	3人	0人	0人	0人	3人																																																																																			
未定	0人	1人	0人	0人	1人																																																																																			
合計	20人	5人	1人	1人	27人																																																																																			
コース種類	専門コース	専門コースⅡ	管理コースⅠ	管理コースⅡ	管理コースⅢ	計	(参考)平成24年度																																																																																	
	医療安全	ベーシックアドバンス	キャリア形成	リーダーシップ	労務管理																																																																																			
参加者数	13人	22人	18人	14人	20人	14人	101人	72人																																																																																

区 分	平成23年度実績	平成25年度目標値
病院機構の新卒看護師採用人数	122人	—
病院機構の新卒看護師退職人数	14人	—
病院機構の新卒看護師離職率	11.5%	9.5%未満
神奈川県の新卒看護師平均離職率	8.8%	—
全国の新卒看護師平均離職率	7.5%	—

(注) 神奈川県及び全国の新卒看護師平均離職率は、公益社団法人日本看護協会の「2012年病院における看護職員需給状況調査」結果速報の公表値とする。

・eラーニングによる研修制度を開始し、日々の業務手順の確認に活用するとともに、特に新卒看護師に対しては、業務における不安の解消に役立てることに、定着率の向上を図った。

・新卒看護師の離職率は、平成25年度は5.4%となり、目標値の9.5%未満を達成した。

課題

看護師の定着対策について、引き続き新卒看護師の指導方法に工夫を重ねるほか、中堅職員の負担軽減などを図る必要がある。

[新卒看護師離職率の実績と目標値]

区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
病院機構の新卒看護師採用人数	—	93人	—	122人	—	127人	—	112人
病院機構の新卒看護師退職人数	—	8人	—	14人	—	7人	—	6人
病院機構の新卒看護師離職率	—	8.6%	9.5%未満	11.5%	9.5%未満	5.5%	9.5%未満	5.4%
神奈川県の新卒看護師平均離職率	—	8.8%	—	8.8%	—	8.8%	—	—
全国の新卒看護師平均離職率	—	8.1%	—	7.5%	—	7.9%	—	—

・専門看護師及び認定看護師の資格を有する看護師を積極的に活用するなど、その専門能力の向上を図る取組を促進する。

・平成25年度には、新たに専門看護師2人、認定看護師4人を増員し専門看護師等の有資格者は合計90人（前年度比7人増）となり、専門能力が発揮できるよう配置を行った。

(参考) 専門看護師等の有資格者数実績

区分	平成23年度実績
専門看護師	15人
認定看護管理者	3人
認定看護師	51人
精神科認定看護師	5人
計	74人

(参考) [専門看護師等の有資格者数実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
専門看護師	10人	15人	21人	23人
小児看護	4人	5人	6人	6人
がん看護	6人	7人	11人	12人
家族看護	0人	2人	2人	2人
慢性疾患看護	0人	1人	1人	1人
精神看護	0人	0人	1人	2人
認定看護管理者	4人	3人	5人	2人
認定看護師	53人	51人	52人	56人
皮膚・排泄ケア	5人	6人	6人	6人
集中ケア	8人	8人	8人	8人
がん性疼痛看護	17人	16人	15人	16人
がん化学療法	3人	3人	4人	4人
乳がん看護	1人	1人	1人	1人
緩和ケア	7人	6人	4人	4人
感染管理	7人	7人	7人	8人
糖尿病看護	1人	0人	2人	2人
小児救急看護	2人	2人	2人	2人
新生児集中ケア	2人	2人	2人	2人
救急看護	0人	0人	1人	1人
摂食・嚥下障害看護	0人	0人	0人	1人
慢性心不全看護	0人	0人	0人	1人
精神科認定看護師	5人	5人	5人	9人
計	72人	74人	83人	90人

・看護専門学校等と看護学生の受入れについて連携を図るとともに、より一層の看護学生の実習受入れに努める。

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の実習受入れ拡大を図る。

(参考) 看護実習受入実績

区分	平成23年度
保健福祉大学	160人
衛生看護専門学校	197人
よこはま看護専門学校	613人
平塚看護専門学校	75人
その他	489人
計	1,534人

・こども医療センターは、神奈川県立保健福祉大学との間で、実習生の受入れ、職員の講師派遣等に関する協定を新たに締結し、県内の看護師やメディカルの小児医療人材の育成を図る。

・看護専門学校等との連携の下に、看護学生の実習を平成25年度合計1,584人（前年度比22人減）受け入れた。

(参考) [看護実習受入実績]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
保健福祉大学	139人	160人	306人	338人
衛生看護専門学校	241人	197人	203人	231人
よこはま看護専門学校	501人	613人	321人	328人
平塚看護専門学校	93人	75人	155人	99人
その他	682人	489人	621人	588人
計	1,656人	1,534人	1,606人	1,584人

[こども医療センター]

・神奈川県立保健福祉大学と小児看護・栄養分野での教育・研究で連携する協定を締結し、実習生の受け入れ、職員の講師派遣等について従来からの連携を一層強化するとともに、職員が在籍したまま保健福祉大学大学院へ進学することが可能となった。

なお、平成26年度から看護師が1人進学し、NICUでの母子ケアなどを研究することが決定した。

小項目 4 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (3) コメディカル職員等の確保と研修の充実

中期目標

コメディカル職員等について、必要な職員の確保に努めるとともに、研修の充実に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・必要な職員を迅速に確保するため、各病院の状況に応じて、採用時期や試験方法等を適切に設定して試験を実施する。</p> <p>・コメディカル職員の資質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を効果的に実施するとともに、実施に当たっては、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>(3) コメディカル職員等の確保と研修の充実</p> <p>・採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を適時確保する。</p> <p>・職員の質の向上を図るため、病院の実態や職員の能力・経験等を踏まえた研修を実施する。</p> <p>・研修の実施に当たっては、専門的な知識を得られるよう内部研修だけでなく、研修に要するコスト、時間、人的リソース、ノウハウ等を踏まえて、県機関、学会等が実施する外部研修を活用する。</p>	<p>・コメディカル職員については、年齢が30歳までの一般採用区分と医療機関等での勤務経験3年以上の者を対象とする経験者採用区分を設けることで、平成26年4月1日現在で前年同期比6人増となる311人を確保した。</p> <p>・福祉職については、職場の実態に即し、相談・心理・介護の分野ごとに試験区分を設け、業務に応じた職員の確保に努めた。</p> <p>・コメディカル職員等の資質の向上のため、県機関、各種学会等が実施する外部研修に参加させ、専門性の向上を図るとともに、チームワーク力強化研修を実施し、コミュニケーション能力の向上を図った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・コメディカル職種については、各病院の年齢構成等を踏まえ、一般採用試験と経験者採用試験を併せて実施し、職員の確保に努めた結果、平成26年4月1日現在で前年同期比6人増員した。</p> <p>・経験者採用試験を引き続き積極的に行ったことにより、即戦力として業務に従事することができる人材や将来性豊かな人材を確保した。</p>	A	A	<p>コメディカル職員については、一般採用試験と経験者採用試験を併せて上手く対応している。</p> <p>また、県立保健福祉大学との連携は、職員にとってもインセンティブとなり、良い取組である。</p>

(参考) 【福祉職・コメディカル職種の採用数の実績】

区分	平成23年度採用			平成24年度採用			平成25年度採用			平成26年度採用		
	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計
福祉職	3人	3人	6人	1人	9人	10人	-	7人	7人	-	6人	6人
薬剤師	5人	4人	9人	6人	3人	9人	8人	3人	11人	4人	3人	7人
診療放射線技師	2人	1人	3人	2人	4人	6人	2人	5人	7人	-	3人	3人
臨床検査技師	6人	-	6人	-	8人	8人	-	4人	4人	3人	-	3人
理学療法士	1人	-	1人	-	1人	1人	-	2人	2人	2人	-	2人
臨床工学技士	1人	-	1人	-	1人	1人	-	1人	1人	-	-	-
保育士	1人	-	1人	1人	-	1人	-	2人	2人	-	-	-
管理栄養士	-	2人	2人	-	2人	2人	-	-	-	-	-	-
栄養管理科長	-	1人	1人	-	1人	1人	-	1人	1人	-	-	-

	<p>・こども医療センターは、神奈川県立保健福祉大学との間で、実習生の受入れ、職員の講師派遣等に関する協定を新たに締結し、県内の看護師やコメディカルの小児医療人材の育成を図る。</p> <p>・がんセンターは、平成27年中の重粒子線治療開始に向け、重粒子線治療を行っている施設へ診療放射線技師を先行して派遣し、人材育成を行う。</p>	<p>[こども医療センター]</p> <p>・神奈川県立保健福祉大学と小児看護・栄養分野での教育・研究で連携する協定を締結し、実習生の受け入れ、職員の講師派遣等について従来からの連携を一層強化するとともに、職員が在籍したまま、保健福祉大学大学院へ進学することが可能となった。</p> <p>なお、平成26年度から栄養士が1人進学し、病児の栄養などを研究することが決定した。</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・円滑な重粒子線治療施設の運営を行うため、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師を先行して重粒子線治療を行っている施設へ研修のため派遣するなどにより、計画的な人材育成を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>コメディカルの確保については、採用試験の広報や採用時期を適切に設定する等、各病院の状況に応じて必要な職員を迅速に確保する必要がある。</p>			
--	---	---	--	--	--	--

小項目 4 6 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- 4 医療人材の確保と育成
- (4) 勤務環境の改善

中期目標

看護師等を安定的に確保するため、ワークライフバランスをとりやすい多様な勤務形態を検討・実施する等、医療従事者が安心して働くことができるよう勤務環境の改善に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>(4) 勤務環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 医療従事者宿舎の整備、民間アパートの借上げ等、各病院の実情に応じた取組により医療従事者公舎の充実を図る。 ワークライフバランスを取りやすい多様な勤務形態の導入を検討する。 	<p>(4) 勤務環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者が安心して子育てし、働き続けることができるよう、院内24時間保育を実施する。 職員のワークライフバランスの確保に資するため、現行の時差出勤制度の見直しの検討や、年次有給休暇の取得促進に向けた取組を行う。 各病院の業務の実態に応じた時間外勤務の縮減を図るなど、労働時間の適正化に向け、業務見直しを進めるとともに、職員の意識啓発やタイムマネジメントの研修を開催するなどの取組を行う。 短時間勤務常勤職員や夜間専従常勤職員など、ワークライフバランスを充実するための多様な勤務形態の導入について検討する。 これまで骨髄移植のみであったドナー休暇について、末梢血幹細胞移植のための末梢血幹細胞の提供に係る必要な期間も取得できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師など医療従事者の多様な勤務形態に合わせた保育を実施するため、保育時間の延長や週2日程度の24時間保育を引き続き実施した。 年次休暇を取得しやすくするような職場環境の整備のため、看護局長会議や事務局長会議などを通じて職員の年次休暇取得促進に向けた取組を行った。 <p>(参考)[職員1人当たりの年休平均取得日数の実績]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.4日</td> <td>8.7日</td> <td>9.6日</td> <td>8.9日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 業務の見直しや効果的・効率的な業務執行を進めるスキルを習得するため、「問題解決手法」や「コミュニケーション手法」に関する研修を実施した。 新規採用職員等を対象としたメンタルヘルスに関する研修を実施し、ワークライフバランスの重要性について理解を深めた。 ワークライフバランスを充実するため、短時間勤務常勤職員や夜間専従常勤職員などの多様な勤務形態の導入に向けた検討を行った。 平成25年4月より、それまで骨髄移植のみであったドナー休暇について、末梢血幹細胞移植のための末梢血幹細胞の提供に係る必要な期間も休暇を取得できるようにした。 平成26年1月より、子の看護休暇の取得日数を1年につき従来の5日から6日とした（子を1人養育する場合）。 ワークライフバランスの一層の充実を図るため、リフレッシュ休暇の対象職員に周知を図った。 <p>(参考)[リフレッシュ休暇取得率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成22年</th> <th>平成23年</th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44%</td> <td>34%</td> <td>39%</td> <td>49%</td> </tr> </tbody> </table>	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	8.4日	8.7日	9.6日	8.9日	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	44%	34%	39%	49%	<p>実績に対する評価</p> <p>仕事と生活の調和を図れるよう、業務見直し等に係る研修の実施、休暇制度の充実、年次休暇取得促進に向けた取組等を推進した。</p>	A	A	<p>年休消化率の更なる向上に努められたい。</p> <p>また、多様な勤務体制を適用した結果として、普通勤務の職員に負担が生じることのないように留意する必要がある。</p> <p>なお、職員満足度調査を含むその他の指標も検討されたい。</p>
			平成22年	平成23年	平成24年	平成25年																
8.4日	8.7日	9.6日	8.9日																			
平成22年	平成23年	平成24年	平成25年																			
44%	34%	39%	49%																			
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間保育の実施回数等について、利用状況を踏まえて引き続き検討する。 ワークライフバランスを充実するため、引き続き短時間勤務職員や夜間専従常勤職員などの多様な勤務形態の導入に向けた検討を行う必要がある。 																						

小項目 4 7 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 業務運営体制の確立

中期目標

地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を整備するとともに、地方独立行政法人制度の利点を生かして、より一層効率的・効果的な業務運営を行い、経営改善を図ること。

1 業務運営体制の確立

病院経営に関する意思決定を主体的に行い、迅速に実行に移すため、理事会及び本部事務局の体制を整備するとともに、効率的・効果的な業務運営を行うための体制を整備すること。
また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる取組の実現に向けた体制を整備すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>地方独立行政法人として、自律的、機動的な病院経営を行うための業務運営体制を確立する。 また、人事・予算等を弾力的に運用できる地方独立行政法人制度の利点を生かして、効率的・効果的な業務運営を行うとともに、収益を確保し、費用を削減するための経営改善の取組を推進する。</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>効率的・効果的な業務運営を行うため、病院経営に関する意思決定を、理事長、副理事長及び理事で構成する理事会で行うとともに、各病院に適切な権限移譲を行い、病院の長の経営責任を明確にする。 また、病院の経営企画機能を強化し、中期目標等に掲げる取組の実現に向けた体制を整備するため、本部事務局及び各病院に経営企画機能を担う部署を設置する。 さらに、中期目標等に掲げる組織目標の達成に向けて、各病院が自律的に取り組むため、年度計画に病院ごとの収支計画等の経営目標を明示する。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会による法人の運営体制の下に、各病院の理事が与えられた権限を適切に行使することにより、各病院の自律性を発揮した医療機能の充実及び経営改善に向けた取組をより一層進め、法人全体の経営基盤の強化を図る。 ・各病院に医療職及び看護職の副院長を置き、合理的な病院経営を進める。 ・経営戦略会議で、各病院の経営状況の情報の共有化を図るとともに、月次決算及び四半期ごとの執行状況を踏まえた経営分析等を行い、経営改善に向けた取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会において機構の運営方針等に関する意思決定を行うとともに、経営戦略会議において各病院の患者データや予算執行状況を踏まえた経営分析を行うなど、より一層の経営改善に向けた取組を実施した。 ・各病院に医療職及び看護職を副院長に登用し、職員への経営状況の周知を効率的に行い、職員の経営意識の向上に努めるなど、病院の合理的な運営を行った。 ・経営戦略会議で、月次決算及び四半期ごとの予算執行状況を踏まえた経営分析等を行い、計画の達成に向けた取組を進めた。また、各病院で経営改善に取り組んだ事例の発表を行い、他病院で参考とした。 	<p>実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の達成に向けて進捗状況の管理をすることができた。 ・理事会をはじめとする会議等において、経営状況の共有や分析により、経営改善に向けた取組を進め、経営基盤の強化を推進した。 	A	A	<p>月次決算は、病院の場合は難しい点があるのも事実だが、なるべく正確なものになるべく早くということに努める必要はある。 また、看護職を副院長に登用したことのメリットを活かすことが重要である。特に、経営に看護職が意識を持つという点に効果があると思う。</p>

	<p>・経理事務における意思決定の迅速化及び執行の効率化のため、決裁権限の見直しを行うとともに、本部事務局による共同購入等の拡大を行う。</p>	<p>・会計規程及び契約事務取扱規程を見直し、予算執行及び契約締結に係る権限の一部を病院事務局長等から副事務局長等に移管し、意思決定の迅速化及び事務執行の効率化を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>包括的な経営分析だけにとどまらず、個別目標の達成に向けた進捗管理を行っていく必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 4 8 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 - (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標	ア 人事・予算の弾力的運用 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 医療ニーズの質の変化や患者動向に迅速に対応するため、職員の採用や医師等スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等を行う。	2 効率的・効果的な業務運営と経営改善 (1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用 中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。 (7) 診療体制・人員配置の弾力的運用 正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、契約職員や非常勤職員等、正規職員以外の雇用形態を含む多様な医療専門職の活用等を行う。	一般採用試験と経験者採用試験を併せて実施する等の取組により効果的に正規職員を確保しつつ、医師等医療スタッフの配置を弾力的に行った。 また、必要に応じて、契約職員・非常勤職員・短期非常勤職員・再雇用職員など多様な勤務形態の職員を活用することにより、医療ニーズや医療環境等の変化に的確に対応できる体制を整えた。	実績に対する評価 多様な勤務形態の職員を効果的に活用しつつ、医療ニーズに迅速に対応するための弾力的な職員配置を行った。	A	A	課題 引き続き医療ニーズや医療環境等の変化に即応できる採用方法を引き続き検討する必要がある。

小項目 4 9 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

ア 人事・予算の弾力的運用
 人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用し、中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応し、医師等の配置を弾力的に行うことや、予算を効率的・効果的に運用すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			自己点数	評価点数	コメント		
<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化</p> <p>中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行う。</p>	<p>2 効率的・効果的な業務運営と経営改善</p> <p>(1) 効率的・効果的な業務運営 ア 人事・予算の弾力的運用</p> <p>中期目標及び中期計画の枠の中で、医療ニーズに迅速に対応するため、人事・予算等を弾力的に運用できる制度を活用した取組を行う。</p> <p>(イ) 予算執行の弾力化</p> <p>・中期計画の枠の中で、予算科目間、節間及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用し、医療ニーズに迅速に対応した予算執行を行う。</p> <p>・予算の策定にあたり、各病院の経営成績等に応じた編成を進める。</p>	<p>・備品購入費の配当において、病院毎の経営成績を反映した配分方法を導入した。</p> <p>【通常備品の配分基準】</p> <p>・機能保持のため基礎的に配分する額（資産規模に応じた配分）：総額のうち3分の1について通常備品保有金額の割合を基礎として配分。</p> <p>・老朽化した備品の更新を促すため配分する額（通常備品のうち購入後10年超の機器の割合に応じた配分）：総額のうち3分の1について10年超の通常備品の保有金額の割合を基礎として配分。</p> <p>・経常利益の計画達成率により配分する額（経営成績を反映した配分）：総額のうち3分の1について年度計画における経常利益の達成率を基礎として配分。</p>	実績に対する評価	A	A	<p>備品購入費の配当に関して、毎年よく検討してきており、基礎的配分等を確保しながら、モチベーションを高めるため病院毎の経営成績を反映するなど、配分方法はよく工夫されている。</p>	
			課題				
							予算のより一層の効率的執行に向けた運用を検討する必要がある。

小項目50 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

イ 事務職員の専門性の向上
 県立病院機構で独自に事務職員を採用することにより、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成し、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>イ 事務職員の専門性の向上</p> <p>・診療報酬事務等、病院特有の事務や病院経営に関する知識・経験を有する人材等の採用を計画的に進める。</p> <p>・経営企画機能を強化し、高度な専門性を有する事務職員を育成するため、診療報酬事務等の専門研修を実施する。</p>	<p>イ 事務職員の専門性の向上</p> <p>・病院経営や診療報酬等の病院特有の事務を効果的・効率的に推進するため、一般の採用試験とは別に、経験者を対象とした採用試験を実施する。</p> <p>・事務職員については、業務を通じて専門的な知識を習得するとともに、診療報酬事務、会計事務及び病院経営に係る企画・経営分析能力の向上を図る研修を実施し、その専門能力の高い職員を養成する。</p>	<p>・一般採用試験に加え、医療機関や民間会社などの職務経験があり、即戦力となる社会人経験者を対象とする経験者採用試験を行い、9人の事務職員を採用し、平成26年4月1日付で本部事務局、各病院（総務課、医事課、経営企画課）に配置した。</p> <p>・病院経営に係る基礎能力等の向上や各病院毎の経営状況・類似病院との比較分析を目的とした簿記研修を実施した。</p> <p>また、病院経営に係る基礎能力等の向上を目的に、独立行政法人制度に関する研修等も実施した。</p> <p>・配属所属以外の病院等において業務を体験又は経験することを通じて、幅広い視野を持ち、自らの業務の改善に役立てることを目的に、病院等での現場研修を実施した。</p> <p>・病院経営に係る基礎能力、応用能力、企画能力及び経営分析能力等を養成、強化する取組として、病院経営に関する問題解決能力強化研修を実施した。</p> <p>・医療制度の動向や病院経営のあり方等を通して、業務改善（改革）等を考える上での必要な知識の習得を図るとともに、自らの病院や担当業務の経営上の位置付けについて認識を深めるため、医療経営研修を実施した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・経験者枠の採用区分で採用した職員は、その者の業務実績等を考慮し、即戦力として相応の部門に配置した。</p> <p>・職員の幅広い視野や実務能力の向上を図る研修や幹部職員向けの研修を新たに実施するなど、研修の充実・強化を図り、計画的に実施した。</p>	A	A	<p>事務職員について、将来展望をどう示していくか、また、事務職で他職種にもマルチに対応できることへのインセンティブなどを検討する必要がある。</p> <p>なお、民間会社経験者の職員採用は、職員の多様性を生み、よい刺激を与えることが期待できる。</p>
			<p>課題</p> <p>職員が多様な業務経験を通じて病院経営に必要な能力を習得・発揮できるよう、人事ローテーションを工夫し、本部事務局及び各病院へバランスの取れた配属を行うとともに、専門性の高い職員を育成していく必要がある。</p>			

小項目 5 1 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

- ウ 職員の経営参画意識の向上
 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するための取組を行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
ウ 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員一人ひとりの「問題の認識と共有」による業務改善を推進するため、表彰制度の実施や、医療機器の整備等に要する予算を病院の経営実績を反映して傾斜配分する等経営改善の成果を病院に還元する仕組みを整備する。	ウ 職員の経営参画意識の向上 ・病院経営に係る企画・経営分析能力等の向上を図る研修を充実することにより、職員の経営参画意識の醸成を図る。 ・経営に対する職員の意識を高め、経営への参加を促すため、業務改善、経営の効率化、増収・経費節減等に関する職員提案を行い、優良な取組について理事長表彰を行う。 ・職員一人ひとりの意識改革と病院間連携の強化を図るため、病院の横断的な職員交流を促進し、各病院の有する優良・改善事例などの情報を共有化することにより、病院運営の効率化を推進する。 ・医療機器の整備に係る予算の各病院への配分にあたり、経営成績に応じた傾斜配分を行うことにより、経営意識の向上を図る。	・幹部職員向けの研修として、情報セキュリティに関する研修を開催した。 ・診療報酬改定を踏まえた病院経営に関する研修を開催した。 ・前年度決算について、他病院との比較を含めた講義形式での解説を行い、経営状況に係る認識の共通化を図った。 ・質の高い医療の提供や安全で安心な医療の提供等をテーマとして、職員が実施する業務についての改善や工夫のあった取組について、理事長表彰を実施した。また、表彰された取組が所属を超えて連携・拡大し、病院機構全体として、更なる質の高い医療の提供等に資することを目的に、新たに受賞者発表会を実施した。 理事長表彰件数 38件（37団体及び個人1人） 発表件数 6件（団体6件） ・事務職員を対象に医療制度の動向や、病院経営のあり方等を通して、業務改善（改革）等を考える上での必要な知識の習得を図るとともに、自らの病院や担当業務の経営上の位置づけについて認識を深めるため、経営意識の醸成を図る医療経営研修を実施した。 ・事務職員を対象に病院経営に係る基礎能力・応用能力、企画能力、経営分析能力等を養成、強化する取組として、病院経営に関する問題解決能力強化研修を実施した。 ・備品購入費の配当において、病院毎の経営成績を反映した配分方法を導入した。	実績に対する評価 ・職員の能力を養成、強化する研修の実施や、各病院において講演会を実施するなど、経営参画意識向上のための取組を、毎年度改善を図りながら継続したことにより、計画額を上回る利益の確保に寄与した。 ・階層別に研修を行うことにより研修効果を高め、意識啓発や知識・技術の向上を図ることができた。	A	A	理事長表彰は、表彰だけでなく、受賞者発表会も行っていることは良い取組である。
			課題 ・研修内容を検証し、経営参画意識や知識・技術の向上に向けて充実を図る必要がある。 ・全ての職種、部門で経営意識を醸成するよう、経営実績を反映した予算の配分について引き続き検討を行う必要がある。			

小項目 5 2 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標

エ ITの活用による効率的な医療提供の推進
 ITを活用することにより医療の情報化の推進に努めるとともに、症例データの蓄積と迅速な分析を可能とすることによって、医療内容の標準化を図り、効率的な医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 医療情報の共有化を進め、集積したデータを分析し、その結果を医療の質の向上や標準化に活用するため、トータルオーダーリングシステムを適切に更新するとともに、電子カルテシステムや画像情報ネットワークシステム（PACS）を導入する。	エ ITの活用による効率的な医療提供の推進 ・子ども医療センターは、医療の質の改善を行うことを目的に、小児医療に特化した「診療の質(QI)」の指標作りを行う。 ・精神医療センターは、平成26年度中の新病院の開棟にあわせた電子カルテシステムの導入に向けて、仕様書の策定、業者選定等を行う。 ・循環器呼吸器病センターは、平成27年中のオーダーリングシステムの更新に合わせた電子カルテシステムの導入に向け、仕様書の策定等を行う。	[子ども医療センター] ・電子カルテシステムを活用するなどして、小児医療に特化した41項目の「診療の質(QI)」に係る指標を作成し、公表した。 [精神医療センター] ・精神医療センターにおいて、平成26年の新病院開院に伴う電子カルテシステムの構築に着手した。 [循環器呼吸器病センター] ・平成27年1月のオーダーリングシステムの更新に向けて、電子カルテをはじめとした新たな医療情報システム導入のための仕様書の策定等の取組を進め、企画提案審査を実施してシステム開発事業者を決定した。	実績に対する評価 効率的な医療の提供を目指して、電子カルテシステムの導入や更新などの医療情報の共有化を推進した。	A	A	足柄上病院の電子カルテ導入を早急に進めるべきである。
			課題 ・今後、各病院が連携した効率的な病院運営について検討を行う必要がある。 ・子ども医療センターは、「診療の質(QI)」の他病院との比較を踏まえた評価を行う必要がある。			

小項目 5 3 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (1) 効率的・効果的な業務運営

中期目標
 オ 効率的な事務執行の推進
 効率的な事務執行を推進するため、契約事務の簡素化や多様な契約形態をとるとともに、物品調達を集約化を図ること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
オ 効率的な事務執行の推進 ・契約事務の簡素化、複数年契約の適用範囲の拡大等、多様な契約形態の活用、物品調達の集約化により、効率的な事務執行を推進する。 ・売買、請負等の契約については、情報の公開と競争による選定を基本とし、透明性・公平性を確保する。 ・委託契約については、最低制限価格の適用業務の拡大により、提供される委託業務の質を確保する。	オ 効率的な事務執行の推進 ・経理事務における意思決定の迅速化及び執行の効率化のため、決裁権限の見直しを行う。 ・医薬品の共同あっせん入札及び消耗品の共同購入に係る品目数を拡大し、事務執行を効率化する。 ・建物総合保守管理業務委託及び警備業務委託について、入札執行における最低制限価格を設けることにより、業務の質を担保する。	・会計規程及び契約事務取扱規程を改定し、予算執行及び契約締結に係る権限の一部を病院事務局長等から副事務局長等に移管し、意思決定の迅速化及び事務執行の効率化を図った。 ・医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あっせん調達を実施した。また、診療材料については新たに神奈川県リハビリテーション事業団を含めて調達を行いスケールメリットを生かした入札を進めた。 医薬品値引き率 上期：12.1% 下期：12.4% ・消耗品の共同購入について、採用品目を40品目から54品目に拡大した。 ・医療機器について、シリンジポンプの共同購入も行うことで、経費の節減を図るとともに、事務執行を効率化した。 ・循環器呼吸器病センターで、診療材料管理運営業務及び滅菌消毒業務についてSPD方式を導入した。 ・電力の購入に際し、各病院で入札を実施し、足柄上病院、精神医療センター芦香病院及び循環器呼吸器病センターでPPS（特定規模電気事業者）と契約を締結した。 ・こども医療センターで、委託業務等の見直しに関するコンサルタントを導入し、経費の縮減を図った。	実績に対する評価 ・医薬品や消耗品に加え新たに医療機器の共同購入を進め、品目拡大及び参画病院の増を図ることで、廉価購入への取組及び事務の効率化を進めた。	A	A	節電などは、数値目標を挙げて取り組むことが効果的である。削減額等については、具体的な数値を上げて欲しい。
			課題 ・医療機器も含めた共同購入対象品目の拡大を図っていくとともに、コンサルタントの導入拡大も含め、効率的な事務執行への取組を進める必要がある。			

小項目54 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																												
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																																																																											
<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 ・効率的・効果的な病院運営を行い、より多くの県民に県立病院の医療を提供することにより、医業収益の確保の機会を拡大するため、クリティカルパスの適用範囲の拡大、病病・病診連携の強化、病床管理の弾力化等の取組を実施する。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>5,900人以上</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.0%以上</td> <td>14.5日以下</td> <td>7,200人以上</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>85.0%以上</td> <td>(93日)</td> <td>300人以上</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>130.0日以下</td> <td>700人以上</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>80.0%以上</td> <td>80.0日以下</td> <td>330人以上</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.0%以上</td> <td>16.0日以下</td> <td>8,050人以上</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>82.0%以上</td> <td>13.5日以下</td> <td>4,000人以上</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>70.0%以上</td> <td>(61日)</td> <td>250人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】上表に記載する病床利用率の達成を目指すとともに、最終年度において上表に記載する平均在院日数の短縮及び入院実患者数の増加を目指す。 なお、こども医療センター児童福祉施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p> <p>(参考) 病床利用率・平均在院日数・入院実患者数(平成20年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>77.7%</td> <td>13.0日</td> <td>5,743人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>85.2%</td> <td>14.5日</td> <td>7,067人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>88.8%</td> <td>92.1日</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>80.1%</td> <td>143.0日</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>70.7%</td> <td>64.1日</td> <td>322人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>81.8%</td> <td>17.5日</td> <td>7,073人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>84.0%</td> <td>14.5日</td> <td>3,781人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>67.5%</td> <td>61.6日</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上	こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上	(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上	芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上	せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上	がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上	循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上	センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人	こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人	(施設)	88.8%	92.1日	280人	芹香病院	80.1%	143.0日	640人	せりがや病院	70.7%	64.1日	322人	がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人	循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人	センター(結核)	67.5%	61.6日	240人	<p>(2) 経営改善の取組 ア 収益の確保 より多くの県民に県立病院の医療を提供するため、地域の医療機関との連携の強化に取り組み紹介患者などの入院実患者数を確保するとともに、クリティカルパスの適用範囲の拡大、ベッドコントロール等による病床管理の弾力化等の取組により、平均在院日数の短縮及び病床利用率の向上を図る。</p> <p>【病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値(平成25年度)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院実患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>78.5%</td> <td>12.1日</td> <td>6,370人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター(病院)</td> <td>83.1%</td> <td>14.7日</td> <td>7,070人</td> </tr> <tr> <td>(施設)</td> <td>83.6%</td> <td>(83.2日)</td> <td>390人</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>78.6%</td> <td>134.9日</td> <td>796人</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>65.0%</td> <td>53.6日</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>79.4%</td> <td>14.0日</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病(一般)</td> <td>83.2%</td> <td>12.4日</td> <td>4,497人</td> </tr> <tr> <td>センター(結核)</td> <td>61.1%</td> <td>(65.6日)</td> <td>235人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) こども医療センター障害児入所施設及び循環器呼吸器病センター結核病棟については、施設の目的から平均在院日数の短縮に取り組むべき施設ではないため、その目標値は設定しない。</p>	病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数	足柄上病院	78.5%	12.1日	6,370人	こども医療センター(病院)	83.1%	14.7日	7,070人	(施設)	83.6%	(83.2日)	390人	芹香病院	78.6%	134.9日	796人	せりがや病院	65.0%	53.6日	400人	がんセンター	79.4%	14.0日	8,000人	循環器呼吸器病(一般)	83.2%	12.4日	4,497人	センター(結核)	61.1%	(65.6日)	235人	<p>平成25年度の患者数の実績については次のとおり。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>平均在院日数を短縮して患者負担の軽減を進めたが、入院実患者数が目標値を達成しなかったことと併せて病床利用率が目標値を下回った。</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>評価委員会の評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<p>平均在院日数は、概ね全体として短くなってきており、努力が見られる。引き続き、在院日数を下げながら、病床利用率を上げる努力が必要である。</p> <p>なお、芹香病院は、もともと長期の側面が強い特性などの事情があることを考慮する必要がある。</p>
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																														
足柄上病院	80.0%以上	13.5日以下	5,900人以上																																																																																																														
こども医療センター(病院)	85.0%以上	14.5日以下	7,200人以上																																																																																																														
(施設)	85.0%以上	(93日)	300人以上																																																																																																														
芹香病院	80.0%以上	130.0日以下	700人以上																																																																																																														
せりがや病院	80.0%以上	80.0日以下	330人以上																																																																																																														
がんセンター	85.0%以上	16.0日以下	8,050人以上																																																																																																														
循環器呼吸器病(一般)	82.0%以上	13.5日以下	4,000人以上																																																																																																														
センター(結核)	70.0%以上	(61日)	250人以上																																																																																																														
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																														
足柄上病院	77.7%	13.0日	5,743人																																																																																																														
こども医療センター(病院)	85.2%	14.5日	7,067人																																																																																																														
(施設)	88.8%	92.1日	280人																																																																																																														
芹香病院	80.1%	143.0日	640人																																																																																																														
せりがや病院	70.7%	64.1日	322人																																																																																																														
がんセンター	81.8%	17.5日	7,073人																																																																																																														
循環器呼吸器病(一般)	84.0%	14.5日	3,781人																																																																																																														
センター(結核)	67.5%	61.6日	240人																																																																																																														
病院名	病床利用率	平均在院日数	入院実患者数																																																																																																														
足柄上病院	78.5%	12.1日	6,370人																																																																																																														
こども医療センター(病院)	83.1%	14.7日	7,070人																																																																																																														
(施設)	83.6%	(83.2日)	390人																																																																																																														
芹香病院	78.6%	134.9日	796人																																																																																																														
せりがや病院	65.0%	53.6日	400人																																																																																																														
がんセンター	79.4%	14.0日	8,000人																																																																																																														
循環器呼吸器病(一般)	83.2%	12.4日	4,497人																																																																																																														
センター(結核)	61.1%	(65.6日)	235人																																																																																																														
			<p>課題</p> <p>入院実患者数の増加に向けた取組を進めていく必要がある。</p>																																																																																																														

[病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の目標値]

区分	病床利用率				平均在院日数				入院実患者数			
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	80.2%	77.6%	78.0%	78.5%	13.1日	12.5日	12.3日	12.1日	5,900人	6,000人	6,100人	6,370人
こども医療センター（病院） （施設）	85.1%	82.8%	85.8%	83.1%	14.6日	14.1日	15.4日	14.7日	7,000人	7,030人	6,687人	7,070人
	85.0%	81.1%	84.9%	83.6%	(93.0日)	(95.8日)	(89.7日)	(83.2日)	300人	280人	311人	390人
芹香病院	83.0%	76.8%	79.9%	78.6%	133.3日	100.1日	126.4日	134.9日	700人	870人	613人	796人
せりがや病院	80.0%	73.3%	70.9%	65.0%	70.8日	70.7日	67.0日	53.6日	330人	300人	309人	400人
がんセンター	85.4%	77.1%	77.8%	79.4%	16.2日	14.7日	14.4日	14.0日	8,000人	7,900人	8,000人	8,000人
循環器呼吸器病（一般） センター（結核）	81.4%	82.8%	82.9%	83.2%	13.6日	13.5日	13.5日	12.4日	3,900人	4,010人	4,000人	4,497人
	74.8%	65.6%	62.8%	61.1%	(64.0日)	(60.0日)	(62.0日)	(65.6日)	250人	240人	220人	235人

[病床利用率・平均在院日数・入院実患者数の実績]

区分	病床利用率				平均在院日数				入院実患者数			
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
足柄上病院	76.2%	74.5%	78.7%	74.8%	12.3日	11.9日	12.2日	11.5日	5,968人	6,215人	6,384人	6,243人
こども医療センター（病院） （施設）	82.6%	82.8%	82.6%	83.0%	14.7日	15.4日	14.3日	14.2日	6,757人	6,736人	7,180人	7,257人
	85.2%	85.6%	84.5%	89.2%	(69.1日)	(77.9日)	(77.5日)	(101.1日)	405人	429人	434人	365人
芹香病院	74.8%	65.9%	62.9%	69.7%	122.6日	123.5日	115.5日	132.5日	686人	797人	802人	781人
せりがや病院	65.9%	61.2%	55.8%	49.2%	60.1日	52.3日	42.7日	45.9日	320人	386人	426人	355人
がんセンター	76.0%	72.2%	77.8%	77.0%	14.9日	14.3日	14.0日	13.4日	7,753人	7,967人	8,703人	8,749人
循環器呼吸器病（一般） センター（結核）	84.7%	80.0%	77.0%	78.5%	13.1日	13.0日	12.2日	12.2日	4,211人	4,157人	4,188人	4,320人
	64.5%	61.4%	58.1%	58.8%	(58.6日)	(64.5日)	(66.1日)	(71.1日)	241人	241人	274人	204人

小項目 5 5 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価	評価委員会の評価																							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																					
<p>・診療報酬の改定に対して迅速に対応するとともに、各病院の特性に応じて、診療報酬上の新たな施設基準を取得する。</p>	<p>・各病院の特性に応じた施設基準の効果的な取得のため、各病院の査定状況の情報を共有化することにより、審査機関による査定への対策を強化する。</p>	<p>・診療報酬改定を見据え、研修会の開催や参加を積極的に進めた。</p> <p>・中央社会保険医療協議会の議論について情報収集に努め、平成26年度予算に反映した。</p> <p>・こども医療センターにおいて、診療報酬請求の精度調査を委託し、経営改善の参考とした。</p> <p>・幹部職員で構成される経営戦略会議及び経営会議において査定状況の情報共有を図った。 各病院の査定率については次のとおり。</p> <p>(参考)[審査機関による査定率の実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>0.220%</td> <td>0.300%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>0.580%</td> <td>0.570%</td> </tr> <tr> <td>芹香病院</td> <td>0.055%</td> <td>0.046%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>0.009%</td> <td>0.051%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>0.170%</td> <td>0.180%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>0.320%</td> <td>0.450%</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度に新たに取得した施設基準</p> <p>[足柄上病院] ・栄養サポートチーム加算 ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 ・対外衝撃波腎・尿管結石破砕術</p> <p>[こども医療センター] ・緩和ケア診療加算 ・退院調整加算 ・外来緩和ケア管理料 ・ロービジョン検査判断料 ・皮下連続式グルコース測定 ・小児入院医療管理料1(クリーン病棟) ・外来化学療法加算1</p>	区分	平成24年度	平成25年度	足柄上病院	0.220%	0.300%	こども医療センター	0.580%	0.570%	芹香病院	0.055%	0.046%	せりがや病院	0.009%	0.051%	がんセンター	0.170%	0.180%	循環器呼吸器病センター	0.320%	0.450%	<p>実績に対する評価</p> <p>診療報酬改定に向けた情報収集を行うことにより、適正な診療報酬確保に向けた取組を進めた。 また、査定状況について、院内だけでなく会議等を通じて、各病院間での情報共有に取り組んだ。 さらに、各病院の特性に応じた的確に施設基準を取得するとともに、既存の施設基準についても見直しを行った。</p> <p>課題</p> <p>診療報酬改定の効果が得られるよう、今後も適切な運営体制を確保していく必要がある。</p>	A	A	
区分	平成24年度	平成25年度																									
足柄上病院	0.220%	0.300%																									
こども医療センター	0.580%	0.570%																									
芹香病院	0.055%	0.046%																									
せりがや病院	0.009%	0.051%																									
がんセンター	0.170%	0.180%																									
循環器呼吸器病センター	0.320%	0.450%																									

		<p>[がんセンター] ・栄養サポートチーム加算 ・組織拡張器による再建手術 ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・心臓ペースメーカー指導管理料植込型除細動器移行期加算</p>				
--	--	--	--	--	--	--

小項目56 業務実績報告（自己評価）

＜評価の大項目＞

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- ア 収益の確保
 効率的・効果的な医療を提供することによって、より多くの県民に医療を提供すること。
 また、各病院の特性に応じて適正な診療報酬を確保し、医業収益の確保に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																				
			自己点数	評価点数	コメント																																				
<p>・適正な診療報酬を確保するため、患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、早期の回収、診療報酬請求漏れの防止に取り組む。</p>	<p>・分べん介助料及びセカンドオピニオンに係る料金について、各病院が負担しているコスト（経費）や診療報酬と均衡する金額に改定する。</p> <p>・患者の状況に応じたきめ細かな相談や督促・催告の実施等による未収金の発生防止、医事課と相談部門との連携による回収、未収金回収専門員による出張回収、診療報酬請求漏れの防止等、適正な診療報酬を確保するための総合的な取組を実施する。</p> <p>・こども医療センターは、クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とし、未収金の発生防止に取り組む。</p>	<p>・分べん介助料について、平成26年1月1日より時間内は18万円（改定前：12万円）、時間外は21万6千円（改定前：14万9千円）に改定した。</p> <p>（参考）【分べん介助料改定に伴う実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">4月～12月</th> <th colspan="2">1月～3月</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>一件あたり単価</th> <th>件数</th> <th>一件あたり単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>94件</td> <td>463,490円</td> <td>24件</td> <td>494,885円</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>70件</td> <td>469,761円</td> <td>23件</td> <td>523,388円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通分べんのみ計上</p> <p>・セカンドオピニオンに係る料金について平成25年4月1日より基本料金を13,130円（改定前：7,440円）に改定した。</p> <p>（参考）【セカンドオピニオン件数の実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>886件</td> <td>11,633,180円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>819件</td> <td>6,093,360円</td> </tr> </tbody> </table> <p>（参考）【年度末個人未収金の状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度末</td> <td>303,562,357円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度末</td> <td>287,125,368円</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>16,436,989円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	4月～12月		1月～3月		件数	一件あたり単価	件数	一件あたり単価	足柄上病院	94件	463,490円	24件	494,885円	こども医療センター	70件	469,761円	23件	523,388円	区分	件数	金額	平成25年度	886件	11,633,180円	平成24年度	819件	6,093,360円	区分	合計	平成25年度末	303,562,357円	平成24年度末	287,125,368円	差引	16,436,989円	A	A	<p>・分べん介助料及びセカンドオピニオンの料金について改定を行い、収益を確保した。</p> <p>・定期的な督促や債権回収会社の活用等を行ったものの、平成24年度末から平成25年度にかけて未収金が増加した。</p>
				区分	4月～12月		1月～3月																																		
			件数		一件あたり単価	件数	一件あたり単価																																		
足柄上病院	94件	463,490円	24件	494,885円																																					
こども医療センター	70件	469,761円	23件	523,388円																																					
区分	件数	金額																																							
平成25年度	886件	11,633,180円																																							
平成24年度	819件	6,093,360円																																							
区分	合計																																								
平成25年度末	303,562,357円																																								
平成24年度末	287,125,368円																																								
差引	16,436,989円																																								
実績に対する評価																																									
課題					<p>未収金の発生防止に引き続き取り組み、今後も未収金額の縮減に努める必要がある。</p>																																				

		<p>[こども医療センター] クレジットカードによる入院費用支払保証書の提出を受け、月初や退院時の会計手続を不要とするサービスを平成26年2月から開始した。</p> <p>[がんセンター] ・新病院開院により、有料個室の病床割合を増やし、療養環境の向上及び収益の確保を図った。 有料個室数：旧病院：30床→新病院：63床</p>				
--	--	--	--	--	--	--

小項目57 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の節減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																							
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント																																																						
<p>イ 費用の削減</p> <p>・医薬品に係る経費の節減とともに、患者の経済的負担の軽減にも資するため、後発医薬品の使用拡大を図る。</p> <p><small>【後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績と目標値】</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成20年度実績</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>11.3%</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>3.1%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成20年度実績	平成26年度目標値	後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%	後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%	<p>イ 費用の削減</p> <p>・後発医薬品について、情報の収集に医薬品管理システムを活用するとともに、利用状況の把握と有効な代替方策の検討により、使用拡大を図る。</p> <p><small>【後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績】</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成23年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬品の購入価格の決定については、他病院等の購入価格を比較できるベンチマークシステムの活用等により、可能な限り廉価で購入する。</p> <p>・消耗品等の調達について、共同購入の品目を拡大する。</p>	区分	平成23年度実績	後発医薬品の品目採用率	12.8%	後発医薬品の金額採用率	5.7%	<p>・医薬品・検査試薬・診療材料について、共同あつせん調達を実施し、入札時の予定価格策定においてはベンチマークシステムの活用により、他医療機関と比較した適切な価格を設定するよう留意した。また、診療材料については、新たに神奈川県リハビリテーション事業団を含めて調達を行い、スケールメリットを生かした入札を進めた。 医薬品値引き率 上期：12.1% 下期：12.4%</p> <p>・消耗品の共同購入について採用品目を40品目から54品目に拡大した。</p> <p>・医療機器について、シリンジポンプの共同購入を行うことで、経費の節減を図るとともに、事務執行を効率化した。</p> <p><small>（参考）【後発医薬品の品目採用率及び金額採用率の実績】</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品の品目採用率</td> <td>12.2%</td> <td>12.8%</td> <td>13.4%</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の金額採用率</td> <td>5.6%</td> <td>5.7%</td> <td>5.1%</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>（参考）【病院別の後発医薬品の採用率の内訳】</small></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>品目数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>12.7%</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>6.2%</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>芦香病院</td> <td>12.8%</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>せりがや病院</td> <td>14.4%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>12.4%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>15.2%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14.3%</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%	13.4%	14.3%	後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%	5.1%	5.1%	区分	品目数	金額	足柄上病院	12.7%	11.5%	こども医療センター	6.2%	2.5%	芦香病院	12.8%	5.6%	せりがや病院	14.4%	5.2%	がんセンター	12.4%	5.3%	循環器呼吸器病センター	15.2%	5.3%	合計	14.3%	5.1%	<p>実績に対する評価</p> <p>・神奈川県リハビリテーション事業団との連携や品目の拡大、新規取組により、経費の節減及び事務執行の効率化を進めた。</p> <p>・後発医薬品の導入については、品目ベースで毎年度採用率が向上している。</p>	A	A	<p>後発医薬品の品目採用率の更なる向上に努められたい。また、後発医薬品の品目採用率は、後発医薬品があるものを分母とした数値を示すことも必要である。</p>
区分	平成20年度実績	平成26年度目標値																																																										
後発医薬品の品目採用率	11.3%	15.0%																																																										
後発医薬品の金額採用率	3.1%	5.0%																																																										
区分	平成23年度実績																																																											
後発医薬品の品目採用率	12.8%																																																											
後発医薬品の金額採用率	5.7%																																																											
区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度																																																								
後発医薬品の品目採用率	12.2%	12.8%	13.4%	14.3%																																																								
後発医薬品の金額採用率	5.6%	5.7%	5.1%	5.1%																																																								
区分	品目数	金額																																																										
足柄上病院	12.7%	11.5%																																																										
こども医療センター	6.2%	2.5%																																																										
芦香病院	12.8%	5.6%																																																										
せりがや病院	14.4%	5.2%																																																										
がんセンター	12.4%	5.3%																																																										
循環器呼吸器病センター	15.2%	5.3%																																																										
合計	14.3%	5.1%																																																										
			課題																																																									
			<p>後発医薬品及び共同購入対象品目の拡大に引き続き取り組んでいく必要がある。</p>																																																									

小項目 58 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 2 効率的・効果的な業務運営と経営改善
 (2) 経営改善の取組

中期目標

- イ 費用の削減
 材料費や経費の削減に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>・定型的な事務や院内保育業務等の業務の委託化を拡大し、経費の節減を図る。</p>	<p>・医療機器・設備の保守点検業務等の委託契約の見直し、費用の削減を図る。</p> <p>・足柄上病院、芹香病院及び循環器呼吸器病センターにおいて、P P S（特定規模電気事業者）からの電力調達を図るとともに、診療に支障のない範囲内で節電対策を行う等、電気料金の節減に向けた取組を進める。</p> <p>・循環器呼吸器病センターにおいて S P D・滅菌消毒等業務委託を導入する等、物流管理の見直しや物品の適正な在庫管理に努めることにより、費用の削減を図る。</p> <p>・県財政の危機的な状況等を踏まえ、役員の報酬及び職員の給料等の減額措置を講ずる。</p>	<p>・電力の購入に際し、各病院で入札を実施し、足柄上病院、精神医療センター芹香病院及び循環器呼吸器病センターでは P P S（特定規模電気事業者）と契約を締結した。</p> <p>・神奈川県との給与減額措置を踏まえ、平成25年4月1日から平成26年3月31日の間、職員の給料の減額措置を実施した。</p> <p>[こども医療センター] ・総合保守管理業務委託や警備業務委託について仕様を見直したほか、成功報酬契約のコンサルタントを導入し、現行契約単価について見直しを行い、委託経費の節減を図った。</p> <p>[精神医療センター] ・医療観察法病棟の通年化に伴い光熱水費が増加したことから、所内会議において節電の徹底を図った。</p> <p>・病院内の各所管繕工事において、管理委託業者へ必要な消耗品を支給し、修繕することなどにより、専門業者への発注件数を削減し、経費削減を図った。</p> <p>[がんセンター] ・新病院に移転するにあたり、不要となったフィルムや旧病院の不用品処分において積極的に売却を行った結果、廃棄処分費用を削減するとともに収入を得た。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・S P D（診療材料の調達・管理運営業務）及び滅菌消毒等業務について平成25年4月より業務委託し、業務の効率化・合理化を図るとともに、物品の適正な在庫管理に取り組み、費用の削減を図った。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・足柄上病院、芹香病院及び循環器呼吸器病センターにおいて、P P S（特定規模電気事業者）からの電力調達を行った。</p> <p>・診療に支障のない範囲内で節電対策を行う等、電気料金の節減に向けた取組を行ったものの、足柄上病院と循環器呼吸器病センターでは電気使用量が増加した。</p>	A	A	<p>費用の削減は、数値目標を挙げて取り組むことが効果的である。</p>
			<p>課題</p> <p>事務の執行にあたっては、業務の効率化だけでなく費用節減に今後も努めていく必要がある。また、電気量の使用量抑制の指標となる目標値を設定するよう検討を進める。</p>			

小項目 59 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第3 財務内容の改善に関する事項

中期目標

県立病院の医療機能を充実し、県民負担の軽減に努めながら、新たな課題に対応できる経営基盤を確保するため、健全な病院経営を行い、県立病院機構全体の財務内容の改善を図ること。
 経営目標
 業務運営の改善及び効率化を進め、より一層の経営改善に取り組むことにより、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。
 また、医業収支比率を133%以下とするよう努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、収支計画において、中期目標期間を累計した経常収支比率を100%以上、医業収益に対する給与費の比率を70%以下とする。また、医業収支比率を133%以下とする。</p> <p>1 予算（22年度～26年度） 省略</p> <p>2 収支計画（22年度～26年度） 省略</p>	<p>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（25年度） 2 収支計画（25年度）</p> <p>(1) 県立病院機構全体 経常収支比率 99.5% 医業収益に対する給与費の比率 65.4% 医業収支比率 125.1%</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 99.4% 医業収益に対する給与費の比率 71.6% 医業収支比率 125.7%</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 105.0% 医業収益に対する給与費の比率 66.7% 医業収支比率 121.5%</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 99.0% 医業収益に対する給与費の比率 115.5% 医業収支比率 160.4%</p>	<p>・別冊「平成25年度 業務実績報告書」の「Ⅱ 3 病院ごとの取組状況」を参照</p> <p>・県立病院機構全体の経常収支比率は101.2%となった。 なお、医業収益に対する給与費の比率は64.7%、医業収支比率は124.1%となった。</p> <p>[決算状況] (1) 県立病院機構全体 経常収支比率 101.2% 医業収益に対する給与費の比率 64.7% 医業収支比率 124.1% 総損益 △1,928百万円</p> <p>(2) 足柄上病院 経常収支比率 98.3% 医業収益に対する給与費の比率 71.1% 医業収支比率 128.0% 総損益 △112百万円</p> <p>(3) こども医療センター 経常収支比率 103.4% 医業収益に対する給与費の比率 69.8% 医業収支比率 124.8% 総損益 489百万円</p> <p>(4) 芹香病院 経常収支比率 102.6% 医業収益に対する給与費の比率 120.8% 医業収支比率 165.8% 総損益 100百万円</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・収益増のための取組や経費の抑制等により、県立病院機構全体で経常収支比率、給与費比率及び医業収支比率とも目標を達成した。各病院の評価は次のとおり。</p> <p>・足柄上病院は、給与費の減により給与費比率については目標を達成した。しかし入院及び外来患者数の減少により総損失は112百万円となり、前年度より拡大した。</p> <p>・こども医療センターは、病床利用率の伸びにより入院収益が増加したほか、院外処方の推進により薬品費を縮減したため、総利益489百万円を確保した。</p> <p>・芹香病院は、医療観察法病棟の通年稼働や院外処方の推進による薬品費の減少等の取組により、経常収支比率の目標を達成し、また総利益100百万円を確保した。</p> <p>・せりがや病院は、外来収益の増があった一方で材料費の増等があったため、給与費の減による給与費比率の目標を達成したものの総損失が大幅に拡大した。</p>	A	A	<p>前年に対して努力が見られ、県立病院を独立行政法人化したことによる効果を確認できる。</p> <p>なお、病院全体としてだけでなく、個別病院ごとの評価を行うよう工夫すべきである。</p>

(5)せりがや病院

経常収支比率 96.5%
医業収益に対する給与費の比率 118.2%
医業収支比率 165.9%

(5)せりがや病院

経常収支比率 92.2%
医業収益に対する給与費の比率 116.7%
医業収支比率 177.4%
総損益 △67百万円

(6)がんセンター

経常収支比率 94.6%
医業収益に対する給与費の比率 53.2%
医業収支比率 122.9%

(6)がんセンター

経常収支比率 101.5%
医業収益に対する給与費の比率 48.2%
医業収支比率 114.0%
総損益 △2,259百万円

(7)循環器呼吸器病センター

経常収支比率 108.9%
医業収益に対する給与費の比率 49.7%
医業収支比率 109.4%

(7)循環器呼吸器病センター

経常収支比率 102.7%
医業収益に対する給与費の比率 52.6%
医業収支比率 120.1%
総損益 175百万円

3 資金計画（22年度～26年度）

省略

3 資金計画

省略

(参考) [収支計画]

区分	経常収支比率				医業収益に対する給与費の比率				医業収支比率			
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
県立病院機構全体	100.2%	100.8%	101.4%	99.5%	70.5%	70.6%	69.4%	65.4%	131.5%	128.1%	126.4%	125.1%
足柄上病院	94.0%	95.8%	98.6%	99.4%	78.8%	78.5%	77.9%	71.6%	138.0%	138.8%	130.1%	125.7%
こども医療センター	105.3%	102.1%	103.9%	105.0%	71.4%	74.8%	69.9%	66.7%	129.1%	131.1%	124.9%	121.5%
芦香病院	95.8%	96.5%	98.9%	99.0%	120.8%	119.0%	134.5%	115.5%	168.9%	165.3%	182.9%	160.4%
せりがや病院	94.3%	94.6%	95.2%	96.5%	138.6%	133.7%	132.4%	118.2%	188.9%	184.3%	181.7%	165.9%
がんセンター	99.6%	103.6%	103.0%	94.6%	56.1%	54.8%	54.5%	53.2%	121.7%	115.7%	115.1%	122.9%
循環器呼吸器病センター	99.7%	106.9%	107.4%	108.9%	60.6%	53.1%	52.3%	49.7%	128.2%	116.4%	113.0%	109.4%

(参考) [決算状況]

区分	経常収支比率				医業収益に対する給与費の比率				医業収支比率			
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
県立病院機構全体	103.2%	100.1%	102.1%	101.2%	67.9%	71.8%	69.2%	64.7%	126.1%	129.2%	125.4%	124.1%
足柄上病院	99.2%	96.6%	98.4%	98.3%	78.0%	80.9%	76.1%	71.1%	135.5%	136.3%	129.4%	128.0%
こども医療センター	107.5%	103.2%	101.7%	103.4%	70.7%	73.0%	72.4%	69.8%	126.0%	128.9%	128.7%	124.8%
芦香病院	98.7%	90.4%	97.2%	102.6%	116.6%	133.5%	139.3%	120.8%	167.7%	184.9%	193.7%	165.8%
せりがや病院	100.2%	102.2%	99.3%	92.2%	129.4%	125.0%	125.9%	116.7%	182.8%	176.0%	180.7%	177.4%
がんセンター	104.0%	101.1%	107.9%	101.5%	53.6%	57.9%	52.2%	48.2%	114.3%	119.1%	109.1%	114.0%
循環器呼吸器病センター	104.0%	105.0%	103.3%	102.7%	51.7%	54.6%	55.1%	52.6%	120.1%	118.0%	119.4%	120.1%

・がんセンターは、新病院開院に伴う外来患者数の増や患者単価の伸びにより大幅な収益増となり、経費等の増があったものの経常収支比率、給与費比率及び医業収支比率とも目標を達成した。

・循環器呼吸器病センターは、外来患者数の増加等により収益が増加したものの、委託料や光熱水費等の増加により、いずれの目標も未達成となった。

課題

県立病院機構全体では目標値を達成したものの、所属間で経営成績に差があることから、今後も着実に収益確保や経費削減のための取組を推進し、所属ごとでも目標値を達成する必要がある。

小項目 60 業務実績報告（自己評価）

<評価の大項目>

第7 その他業務運営に関する重要事項
人事に関する事項

中期
目標

- (1) 適切な職員配置
経営効率の高い業務執行体制を構築するため、定型的な業務について委託を進めること等により、適切な職員配置に努めること。
また、医療ニーズの変化に適切に対応した看護師等、医療従事者の迅速・柔軟な採用・配置を行い、新たな政策課題に対しては、必要な医療従事者を適切に配置すること。
- (2) 的確な人事管理
職員の実績等を的確に反映した人事管理を行うため、より病院にふさわしい人事評価の仕組みを確立すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置</p> <p>・事務部門については、専門性を高めるとともに、経営企画機能の強化を図る。また、定型的な業務については委託化を進める。</p> <p>・医療従事者については、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応し、効果的な人員配置を行うため、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等を行う。</p> <p>・安全で安心な医療を支える手厚い看護を実施するため、がんセンター及び循環器呼吸器病センターにおいて、7対1看護基準を取得する。</p> <p>・がんセンター総合整備をはじめとした新たな政策課題を実現するため、必要な医療従事者を適切に配置する。</p>	<p>その他業務運営に関する重要事項 人事に関する事項 (1) 適切な職員配置</p> <p>・事務職員については、その専門性を高めるとともに、法人、病院の経営企画機能の強化を目指した職員配置を行う。</p> <p>・医療従事者については、医師等スタッフの配置の弾力化、多様な雇用形態の活用等により、医療ニーズの変化及び患者動向に適切に対応した効果的な人員配置を行う。</p> <p>・精神医療センターの総合整備に向けて、必要な人員配置を行う。</p> <p>・がんセンターの重粒子線治療施設について、平成27年中の治療開始に向けた計画的な人員配置を行う。</p>	<p>・平成25年4月1日に採用した事務職員については、本部事務局では総務企画課1人、財務課1人の計2人を配置したほか、各病院の診療報酬等の医業収益確保を図るため医事課に5人、企画部門の機能強化を図るため経営企画課に4人、管理部門の体制強化を図るため総務課等に9人を配置した。</p> <p>・精神医療センターの総合整備やがんセンターの重粒子線治療装置の導入に向けた体制の充実など、医療ニーズや医療環境の変化等に的確に対応するとともに、円滑な病院運営を行うために、平成25年度中に正規職員300人（医師73人、看護師164人、コメディカル職種27人、事務等36人）を採用した。</p>	<p>患者ニーズや医療環境の変化等に柔軟かつ効果的に対応できるように、経験者区分での採用や、年度途中での臨時試験の実施などにより、引き続き適正な職員配置に努めた。</p>	A	A	

<p>(2) 的確な人事管理 医師や看護師等医療従事者の職務の実態を踏まえた人事評価システムについて、検討する。</p>	<p>(2) 的確な人事管理 平成24年度から実施した病院に相応しい新たな人事評価システムについて、職員がよりステップアップした能力開発や活用に繋げていくものとなるよう、適切な運用を行う。</p>	<p>・評価者研修の実施などにより人事評価システムの適切な運用に努めるとともに、人事評価実施に伴う職員への面談などを通して、職員の能力開発や人材育成への活用を図った。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>新たな人事評価制度について、職員の能力開発や活用に繋がるものとなるよう適切な運用を図るとともに、必要に応じて内容の見直しを行っていく。</p>			
--	--	---	---	--	--	--